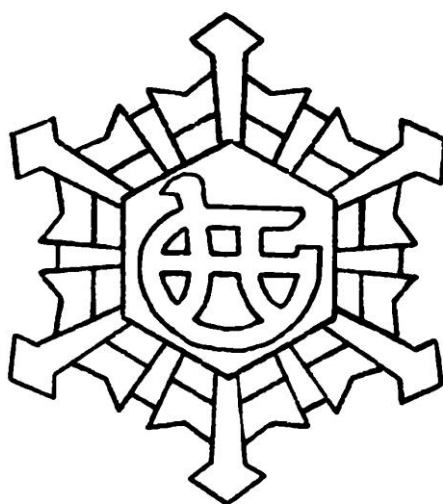


# 消 防 年 報

平成25年版



鳥取県西部広域行政管理組合

## 消 防 局

(平成26年刊行)

# は じ め に

この消防年報は、鳥取県西部広域行政圏の消防現勢並びに、平成25年における消防行政の執行状況を広く一般に紹介し、今後の消防行政の運営に資するため編さんしたものです。

なお、予算については会計年度を用い、その他の表についてはそれぞれに記載する年月日で表したものです。

平成26年12月

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

# 目 次

鳥取県西部広域行政管理組合管内の概況	1
組合管内全図	2
管内常備消防の沿革	3
歴代の管理者・議長・消防(局)長	15
鳥取県西部広域行政管理組合消防局組織図	16
消防機関の出動状況	17
相互応援協定	18
事務分掌	19
消 防 職 員	
(1)職員配置状況	22
(2)職員在職年数	24
(3)職員年齢構成	25
(4)職員研修状況	26
(5)職員採用試験	27
消防予算の状況	
(1)平成25年度当初予算額の対前年度比較	28
(2)平成25年度当初予算額の財源内訳	29
(3)平成24年度決算額	29
消 防 施 設 等 の 状 況	
(1)消防庁舎の位置・構造	30
(2)消防吏員待機宿舎概要	30
(3)消防車両等配置数	31
(4)消防車両概況	32
(5)救急・救助	
(5-1)救急隊配置場所	34
(5-2)高規格救急車積載一覧	35
(5-3)救助隊配置場所	36
(5-4)高度救助用資機材一覧	36
(5-5)救助工作車(Ⅲ型)積載一覧	37
(6)通信施設	38
予 防	
(1)防火対象物の現況	41
(2)各種届出事務処理の状況	42
(3)防火対象物の用途別査察状況	42
(4)建築同意の用途別事務処理状況	43
(5)危険物製造所等の地区別施設件数	44
(6)危険物製造所等の事務処理件数	44
(7)危険物施設査察状況	45
(8)火薬類取締法関係	45
(9)液化石油ガス法関係	45
火 災 概 況	
火災概況	
1 火災の現況と最近の動向	
別図 I - 1 火災の推移と傾向図	46
別表 I - 1 火災概況比較表	47
2 出火状況	
別図 I - 2 火災種別ごとの件数と構成比率	48
別図 I - 3 月別の火災種別ごと出火件数	48
別図 I - 4 市町村別火災件数と構成比	49

3 火災による死傷者の状況	
別表Ⅰ-2 火災種別死傷者発生状況	49
4 出火原因	
別図Ⅰ-5 火災種別ごとの主な火災原因	50
別表Ⅰ-3 市町村別火災状況	51
別表Ⅰ-4 過去5年間の市町村別火災件数	52
救急・救助概況	
救急概況	
別図Ⅱ-1 事故種別救急出動状況	54
別図Ⅱ-2 事故種別救急搬送状況	54
別図Ⅱ-3 過去5年間の救急推移	55
別図Ⅱ-4 市町村別救急活動状況	55
別図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況	56
別図Ⅱ-6 年齢別搬送状況	56
別図Ⅱ-7 署所別救急活動状況	57
別図Ⅱ-8 月別救急活動状況	57
別図Ⅱ-9 現場到着所要時間	58
別図Ⅱ-10 収容所要時間	58
別図Ⅱ-11 応急手当実施状況	59
別図Ⅱ-12 高度救命処置状況	59
別図Ⅱ-13 医師引き継ぎ時の状況	59
別図Ⅱ-14 過去5年間の救急講習件数推移	60
別図Ⅱ-15 過去5年間の救急講習人員推移	60
別表Ⅱ-1 応急手当指導員・普及員の養成	60
別表Ⅱ-2 過去5年間の市町村別救急件数	61
救助概況	
別図Ⅲ-1 事故種別救助出動状況	63
別図Ⅲ-2 事故種別救助活動状況	63
別図Ⅲ-3 事故種別救助人員状況	64
別図Ⅲ-4 管轄別救助活動状況	64
別図Ⅲ-5 市町村別救助活動状況	65
別図Ⅲ-6 月別救助活動状況	65
119番着信概況	
119番着信概況	
別表Ⅳ-1 119番着信件数の推移	67
別表Ⅳ-2 月別119番着信状況	67
別表Ⅳ-3 電話種別による119番着信件数の推移	68
別表Ⅳ-4 電話種別による通報状況	68
別表Ⅳ-5 携帯電話からの着信状況	69
別表Ⅳ-6 携帯電話の消防機関別転送状況	69
別図Ⅳ-1 時間帯別着信状況	69
消防団・水利・大火災記録	
消防団の人員と装備	70
水利状況	71
大火災記録	72
関係団体	
〔米子地区防火安全協会〕	74
〔境港市消防保安協会〕	76



## 鳥取県西部広域行政管理組合管内の概況

### 位置と地勢

当組合は、鳥取県の西部に位置し、中海を抱く米子市・境港市を中心として西伯郡・日野郡の2市2郡（9市町村）で構成されている。

米子市は、この地域における行政・交通・教育・文化など多面的な中枢機能をもつ山陰有数の商業都市であり、それと隣接する境港市は、日本海に面する重要港湾境港により海外貿易の門戸として、また沖合漁業の基地として知られ、弓浜半島の先端部に位置している。

米子市の南部、法勝寺川の流域平野部に南部町（西伯郡）があり、西域は島根県境と接しており、また名峰「大山」を臨む東部日本海沿岸部には日吉津村・大山町（西伯郡）があり、平坦部には肥沃な農地が拓け、沿岸漁業も盛んである。

一級河川日野川の流域、遠く岡山・広島県境に至る中国山地に日南・日野・江府の各町（日野郡）が位置し、日野路への進入路には米子市と隣接して伯耆町（西伯郡）がある。

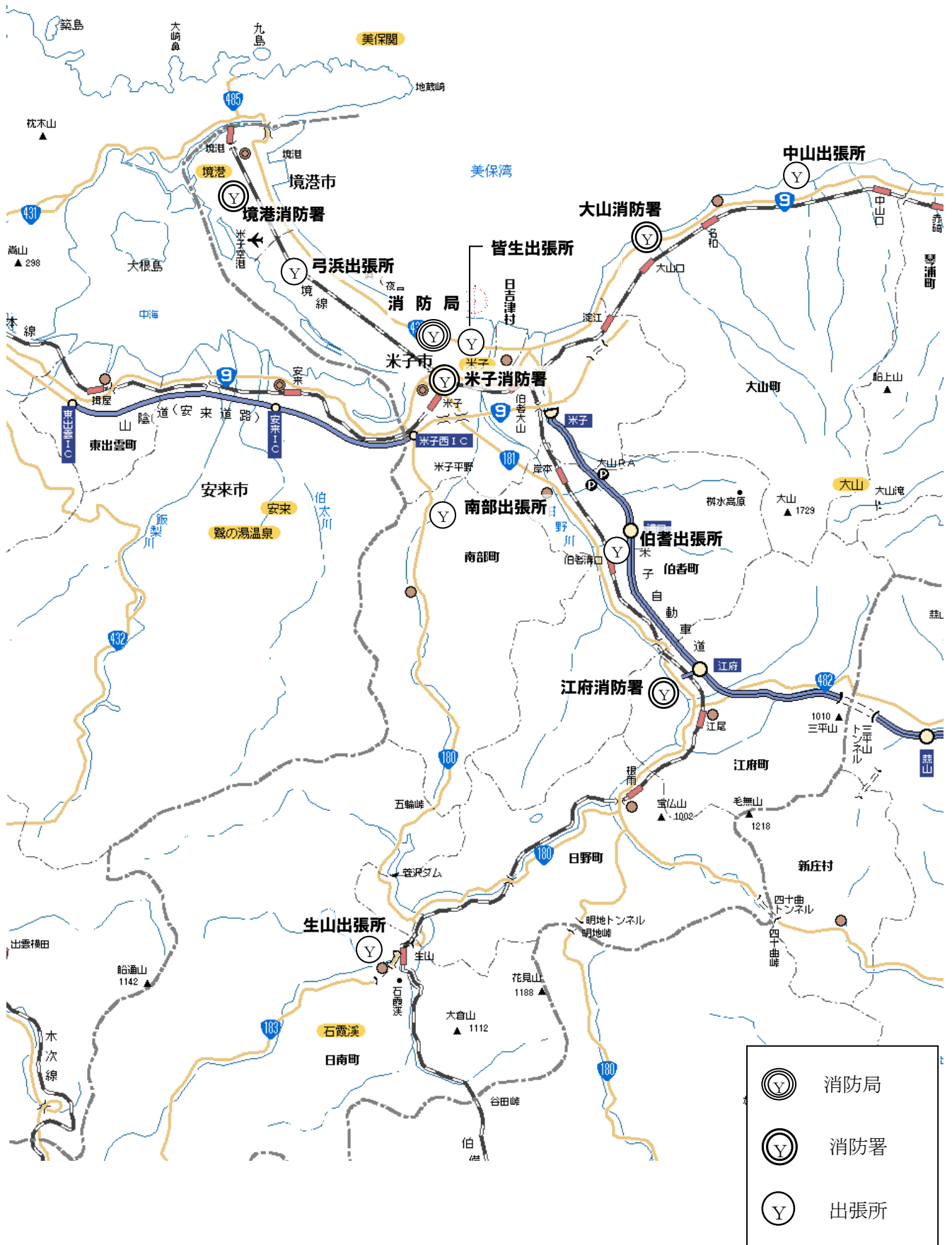
### 人口・世帯数・面積

平成26年4月1日現在

構成市町村	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km <sup>2</sup> )
米子市	147,972	59,270	132
境港市	34,488	12,955	29
日吉津村	3,435	1,154	4
大山町	16,613	5,234	189
南部町	11,158	3,468	114
伯耆町	11,142	3,586	139
日南町	4,987	1,978	341
日野町	3,420	1,314	134
江府町	3,103	1,035	125
合計	236,318	89,994	1,207

(鳥取県市町村別推計人口による)

# 組合管内全図



# 管内常備消防の沿革

## 1. 米子市の消防

明治 26 年 3 月	米子町消防条例を制定し、定員21名、消防ポンプ2台(機種不明)をもって消防組を編成
昭和 2 年 4 月	市制実施
昭和 6 年 4 月	消防ポンプ自動車1台購入配置、森田式タービンポンプ4気筒A型フォード製
昭和 9 年	米子市公設消防組設置、消防ポンプ自動車1台、消防夫20名の常備制をとり、詰所を市役所内に配置
昭和 14 年 4 月	警防団令の施行によって、米子市警防団を結成し、消防組は警防団の消防部として配置
昭和 18 年 4 月	消防部の詰所を富士見町2丁目126番地に移転
昭和 22 年 4 月	消防団令が公布されて、警防団は解散し、新しく米子市消防団が結成されたが、消防部は市の常備消防部として配置
昭和 23 年 9 月	消防組織法の施行により米子市消防本部及び米子市消防署が設置され、消防職員24名、消防ポンプ自動車3台で業務開始、初代吉村泰之消防長就任(収入役兼務)
昭和 24 年 7 月	小型消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 24 年 9 月	小型消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 25 年 10 月	消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 26 年 4 月	消防職員43名となる。(内2人は本庁兼務)
昭和 28 年 4 月	消防職員46名( 〃 )
昭和 30 年 11 月	消防庁舎を増改築した。木造瓦葺2階建延面積464. 477㎡、消防職員定数54名
昭和 30 年 11 月	消防ポンプ自動車1台を購入配置
昭和 31 年 5 月	第2代船越照郷消防長就任
昭和 31 年 7 月	消防本部係制実施(庶務、予防第一、予防第二、消防、機械の5係)
昭和 32 年 11 月	消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 33 年 4 月	指揮車(ジープ型)1台購入配置
昭和 34 年 4 月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け配置(損保号)
昭和 37 年 11 月	消防ポンプ自動車1台を購入配置(2号車)
昭和 38 年 7 月	第3代戸田勇消防長就任
昭和 40 年 4 月	第4代吉村純一郎消防長就任
昭和 40 年 9 月	第5代松田宏消防長就任
昭和 40 年 9 月	広報車1台購入配置(日本消防協会配車)
昭和 41 年 9 月	消防ポンプ自動車1台購入配置(1号車)
昭和 42 年 6 月	消防本部に課制実施(警防課、総務課)
昭和 42 年 7 月	消防職員定員65名
昭和 42 年 12 月	救急自動車1台、化学車1台購入配置
昭和 42 年 12 月	富士見地区区画整理事業実施により富士見町1丁目103番地1に新庁舎を新築移転(鉄筋コンクリート造3階建延総面積13,207㎡)

昭和43年2月	救急業務開始
昭和43年3月	水そう付消防ポンプ自動車1台購入配置(速消車)
昭和43年11月	消防ポンプ自動車1台購入配置(6号車)
昭和44年3月	屈折梯子付消防ポンプ自動車購入配置(スノーケル車)
昭和44年4月	第6代植田実消防長就任
昭和45年3月	消防ポンプ自動車1台購入配置(5号車)
昭和45年11月	日本損害保険協会から水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受けた。(火災保険号)
昭和47年4月	消防職員の定数70名
昭和47年5月	指揮車を購入し更新配置した。(指揮1号)
昭和48年4月	消防職員の定数72名
昭和48年12月	救急自動車1台を購入配置(救急2号)
昭和49年1月	小型トラック1台を購入配置(作業車)
昭和49年6月	広報車1台購入配置(広報2号)
昭和50年3月	消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和50年4月	西伯郡7町村(西伯、岸本、会見、淀江、大山、名和町及び日吉津村)から救急業務を受託して業務開始、消防職員定数77名
昭和50年7月	東京海上火災保険株式会社から広報車1台の寄贈を受け配置(広報1号)
昭和50年8月	鳥取県共済農業協同組合から救急自動車1台の寄贈を受け配置(救急3号)
昭和50年9月	日本消防協会から救急自動車1台の寄贈を受け配置(救急1号)
昭和51年1月	第7代名和義則消防長就任
昭和51年4月	皆生1661番地に皆生出張所を開設し、分遣隊による業務開始。鉄筋コンクリート造平屋建延面積391.957㎡、消防職員定数79名

## 2. 境港市の消防

昭和31年5月	境港市消防本部設置(市制施行に伴う) 西村清美団長 団員定数150名(6ヶ分団) 消防ポンプ自動車 6台
昭和31年5月	境港市消防団常備部開設 常備部長 西村清美団長 中嶋登美夫主任 常備部定員14名 消防ポンプ自動車A2級1台(S28.2購入) 消防専用中短波無線電話 基地局1、移動局2 庁舎 木造瓦葺2階建(延106.38㎡) (第1分団(境)の消防車庫を改築し、待機室、仮眠室増設) 所在地、境港市上道町1,703番地
昭和31年10月	常備部定員18名となり、4名増員
昭和33年9月	全市内に上水道消火栓が敷設される。初年度92ヶ所
昭和34年7月	境港市消防本部・消防署設置 林 義人消防長(署長兼務) 署員定数19名

昭和 36 年 5 月	消防庁舎新築(延353. 17㎡) 所在地 境港市上道町1, 600番地
昭和 36 年 11 月	消防署員10名増員 署員定数 29名
昭和 37 年 7 月	消防ポンプ自動車(A2級)1台配置(損害保険協会より寄贈を受ける)
昭和 39 年 4 月	救急業務開始。救急車(ジープ型)1台配置(日赤鳥取支部より貸与)
昭和 40 年 3 月	救急車(セドリック)更新(日赤貸与)
昭和 42 年 10 月	第2代梶野利雄消防長 (市総務課長兼務)
昭和 42 年 12 月	第3代景山善次郎消防長 (市収入役兼務) 化学消防ポンプ自動車(1型)1台配置 境港市消防保安協会より購入費一部(100万円)採納、購入額4, 345千円
昭和 43 年 3 月	消防専用超短波無線電話設置(中短波を更新)5基(固定局1、基地局4)
昭和 43 年 4 月	消防署組織改編。庶務、警防、予防3係設置
昭和 43 年 9 月	第4代中嶋登美夫消防長 (専任、署長兼務)
昭和 44 年 12 月	消防ポンプ自動車(A1級)1台配置。購入額2, 386千円
昭和 45 年 1 月	救急車(ニッサンB型)1台配置(消防庁より寄贈)
昭和 45 年 4 月	水そう付消防ポンプ自動車(1型、A1級)1台配置。購入額3, 180千円
昭和 46 年 5 月	広報連絡車(三菱ギャラン)1台配置(日本消防協会より寄贈)
昭和 46 年 12 月	消防専用超短波無線電話(移動局)2基増設
昭和 48 年 1 月	消防ポンプ自動車(A2級)1台増配置。購入額2, 705千円
昭和 48 年 3 月	消防専用超短波無線電話、周波数改正により更新(周波数152. 08MC) 基地局1基、移動局2基
昭和 49 年 3 月	消防専用超短波無線電話、移動局3基更新(周波数改正)
昭和 50 年 4 月	消防本部組織改編、課制施行。消防課、庶務係、警防係、予防係、1課3係
昭和 50 年 9 月	救急車(2B型)1台増配置。(日本消防協会より寄贈)
昭和 50 年 9 月	救急車(セドリック)1台廃棄。(日赤鳥取支部より貸与分)

### 3. 鳥取県西部広域行政管理組合の消防

昭和 51 年 5 月 “鳥取県西部広域消防発足”  
鳥取県西部地域における常備消防体制の確立をはかるため、鳥取県西部広域行政管理組合(米子市、境港市、西伯町、会見町、岸本町、日吉津村、淀江町、大山町、名和町、中山町、日南町、日野町、江府町及び溝口町の2市12町村で構成)においては、昭和51年4月13日政令指定を受け、組合において消防業務を処理することになり、昭和51年5月1日組合消防本部、米子消防署、境港消防署を開庁して業務を開始し、全面業務開始の昭和51年10月1日に向け、庁舎の建設、人員、器材の整備充足を図ることになった。  
発足時の消防勢力は、消防職員数112人、消防ポンプ自動車8台、水そう付ポンプ自動車3台、化学消防自動車2台、屈折はしご付消防ポンプ自動車1台、救急自動車5台、指揮車1台、査察広報車3台、作業車1台  
火災出場は、米子市、境港市の区域とし、救急出場は、米子市、境港市及び西伯郡の区域とする。  
初代名和義則消防長就任

昭和 51 年 6 月 2 日	住友生命相互会社から救急自動車(無線機付)1台の寄贈を受け配置
昭和 51 年 7 月 1 日	消防職員31名を採用
昭和 51 年 7 月 16 日	広報車1台を購入(日本消防協会配車)
昭和 51 年 8 月 1 日	松江地区消防組合及び安来市能義郡消防組合との間に中海消防相互応援協定を締結
昭和 51 年 9 月 25 日	消防ポンプ自動車2台を購入した。(江府、大山出張所配置)
昭和 51 年 9 月 30 日	広報車1台を購入
昭和 51 年 10 月 1 日	米子消防署大山出張所及び江府出張所を開設し、管内全域において業務運用開始
昭和 51 年 10 月 2 日	救急指令装置完成
昭和 51 年 11 月 13 日	40m級梯子付消防自動車を購入し、米子消防署に配備
昭和 51 年 11 月 15 日	日本損害保険協会から救急自動車1台の寄贈を受け、大山出張所に配置
昭和 52 年 2 月 22 日	消防ポンプ自動車4台を購入(西伯、溝口、生山、中山出張所配置)
昭和 52 年 3 月 14 日	消防ポンプ自動車1台を購入(弓浜出張所配置)
昭和 52 年 3 月 29 日	古峠山無線中継局が完成
昭和 52 年 4 月 1 日	消防職員の定数208名 消防職員67名を採用し、彦名小学校跡において彦名消防研修所を開設して初任研修を開始
昭和 52 年 4 月 26 日	広報車1台を購入(中山出張所配置)
昭和 52 年 5 月 1 日	退職職員の補充として消防職員4人を採用
昭和 52 年 5 月 17 日	指揮車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 52 年 6 月 30 日	彦名消防研修所の研修を修了し、閉所
昭和 52 年 7 月 1 日	米子消防署西伯出張所、同溝口出張所、同生山出張所、同中山出張所の庁舎が完成し、それぞれ業務を開始 境港市小篠津町668番地の仮庁舎で、境港消防署弓浜出張所を開設し、業務を開始
昭和 52 年 9 月 17 日	日本消防協会から救急自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 52 年 10 月 4 日	鳥取県共済生活協同組合から広報車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 52 年 11 月 1 日	境港消防署弓浜出張所庁舎の工事が完成し、米子市大篠津町2, 913番地1の新庁舎において業務を開始し、仮庁舎を閉所
昭和 52 年 12 月 9 日	消防ポンプ自動車(CD-I)7台を購入し、江府、大山、西伯、溝口、生山、中山、弓浜の各出張所に配置
昭和 53 年 2 月 6 日	株式会社菊屋から救急自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 53 年 3 月 31 日	中部広域行政管理組合との間に西部、中部地区消防相互応援協定を締結
昭和 53 年 5 月 1 日	退職職員の補充として消防職員2名を採用
昭和 53 年 5 月 30 日	日本損害保険協会から水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 53 年 6 月 1 日	退職職員の補充として、消防職員1名を採用
昭和 53 年 6 月 9 日	指揮広報車2台を購入し、西伯出張所及び溝口出張所に配置
昭和 53 年 11 月 27 日	消防ポンプ自動車(CD-I)2台を購入し、米子消防署及び皆生出張所に配置

昭和 53 年 11 月 28 日 日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置

昭和 54 年 2 月 20 日 救助工作車1台を購入し、米子消防署に配置

昭和 54 年 4 月 1 日 消防職員の定数220名  
消防職員12名を採用

昭和 54 年 6 月 5 日 指令広報車1台を購入し、境港消防署弓浜出張所に配置

昭和 54 年 6 月 11 日 指揮車1台を購入し、米子消防署に配置

昭和 54 年 10 月 1 日 本部総務課に教養係を設け、本部予防課指導係を廃して危険物係、建築係とし、境港消防署に機械係を新設

昭和 54 年 10 月 13 日 境港美保ライオンズクラブから救急車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置

昭和 54 年 10 月 17 日 水そう付消防ポンプ自動車1台を購入し、米子消防署に配置

昭和 54 年 10 月 27 日 消防ポンプ自動車(BD-I型)1台を購入し、境港消防署に配置

昭和 54 年 11 月 1 日 山陰酸素工業株式会社から広報車1台の寄贈を受け米子消防署に配置

昭和 54 年 12 月 1 日 指令広報車1台を購入し、境港消防署に配置

昭和 55 年 3 月 26 日 合資会社キョートスポーツから救急車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置

昭和 55 年 4 月 1 日 消防職員の定数232名  
消防職員14名を採用

昭和 55 年 7 月 1 日 中山出張所及び生山出張所救急業務を開始

昭和 55 年 8 月 27 日 日本消防協会から救急車1台の寄贈を受け、中山出張所に配置

昭和 55 年 8 月 29 日 日本消防協会から司令広報車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置

昭和 55 年 10 月 29 日 中山地区前進基地局開局(消防無線呼出名称西部消防中山)

昭和 55 年 11 月 7 日 消防ポンプ自動車(BD-1型)1台を購入し、米子消防署に配置

昭和 55 年 11 月 25 日 水そう付消防ポンプ自動車1台を購入し、境港消防署に配置

昭和 55 年 12 月 5 日 鳥取県消防設備保安協会より原動機付自転車2台及び和文タイプライター1台の寄贈を受け、米子消防署に配置

昭和 55 年 12 月 26 日 化学消防自動車1台を購入し、米子消防署に配置

昭和 56 年 1 月 20 日 救急車(3B型)1台を購入し、米子消防署に配置

昭和 56 年 4 月 1 日 消防職員の定数242名  
消防職員14名採用

昭和 56 年 7 月 24 日 空気呼吸器充填用高圧コンプレッサーを皆生出張所に配備

昭和 56 年 9 月 30 日 日本消防協会から小型工作車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置

昭和 56 年 11 月 30 日 水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、皆生出張所に配置

昭和 57 年 4 月 1 日 消防職員の定数246名  
消防職員9名採用  
消防本部の機構の一部改正(1本部、4署、6出張所)  
大山消防署、江府消防署開設(米子消防署大山、江府出張所をそれぞれ消防署に昇格)  
第2代仲田末男消防長就任

昭和 57 年 5 月 31 日 指揮車1台更新(米子消防署)

昭和 57 年 6 月 1 日	防火基準適合表示制度(「表示マーク」交付)実施
昭和 57 年 7 月 16 日	小型動力ポンプB2級2台を購入し米子、大山消防署に配置
昭和 57 年 11 月 16 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ型)1台更新(米子消防署)
昭和 58 年 3 月 31 日	中山地区救急波前進基地局新設
昭和 58 年 4 月 1 日	鳥取県消防学校開校 教官として2名の職員を派遣
昭和 58 年 8 月 31 日	日本消防協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け境港消防署に配置
昭和 59 年 2 月 24 日	小型動力ポンプB2級2台を購入し西伯、中山出張所に配置
昭和 59 年 3 月 9 日	日本損害保険協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け大山消防署 中山出張所に配置
昭和 59 年 7 月 1 日	第3代西田英二消防長就任
昭和 59 年 7 月 20 日	消防本部庁舎に冷房設備を設置
昭和 59 年 12 月 25 日	無線施設空中線塔の改修工事
昭和 60 年 3 月 10 日	境港消防署庁舎に冷暖房設備を設置
昭和 60 年 3 月 20 日	大山消防署中山出張所移転新築落成。中山町松河原弓ノ木880 (起工 昭和59年8月7日)
昭和 60 年 8 月 15 日	境港消防署第2消防車庫新築落成 (起工 昭和60年5月20日)
昭和 60 年 8 月 21 日	日本消防協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け米子消防署に配置
昭和 61 年 5 月 22 日	指令車1台を購入し、消防本部に配置
昭和 61 年 9 月 27 日	山陰酸素工業株式会社から連絡車1台の寄贈を受け、消防本部に配置
昭和 61 年 11 月 25 日	山之内製薬株式会社より救急車1台の寄贈を受け、大山消防署に配置
昭和 62 年 7 月 25 日	指揮車1台を購入し、消防本部に配置
昭和 62 年 8 月 19 日	江府消防署及び生山出張所の冷暖房設備改修工事
昭和 62 年 9 月 3 日	日本消防協会より電源照明車1台の寄贈を受け、皆生出張所に配置
昭和 63 年 3 月 23 日	日本損害保険協会より救急車1台の寄贈を受け、江府消防署に配置
昭和 63 年 4 月 1 日	退職職員の補充として、消防職員3名を採用 定数246名
昭和 63 年 6 月 29 日	大山消防署の冷暖房設備の改修工事
昭和 63 年 7 月 4 日	広報車1台更新(皆生出張所)
昭和 63 年 8 月 2 日	日本消防協会から救急車(2B型)1台の寄贈を受け皆生出張所に配置
昭和 63 年 9 月 1 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(BD-Ⅰ型)1台の寄贈を受け米子 消防署に配置
昭和 63 年 11 月 15 日	消防ポンプ自動車[(CD-Ⅰ型)電動ホースカー付]1台を購入
平成 元年 2 月 25 日	消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)1台更新(境港消防署)
平成 元年 3 月 30 日	消防本部の受水槽設備の改修及び米子消防署の車庫排気ダクト 設備の工事
平成 元年 4 月 1 日	第4代岩佐弘志消防長就任 消防職員定数253名 消防職員11名採用
平成 元年 5 月 22 日	広報車2台更新(江府、大山消防署配置)
平成 元年 9 月 25 日	超短波無線電話装置の設置
平成 元年 10 月 1 日	溝口出張所に救急隊設置
平成 元年 10 月 25 日	溝口出張所庁舎の増築、改修工事



平成元年10月27日	15m級梯子付消防自動車1台を購入、皆生出張所に配置
平成元年10月30日	救助用資機材(ホルマトロ)一式を購入、米子消防署に配置
平成元年11月2日	作業車1台更新(米子消防署)
平成元年12月25日	溝口出張所に救急自動車(2B型4WD)1台配置
平成2年4月1日	消防職員定数258名 消防職員7名採用
平成2年4月1日	米子消防署皆生出張所に特別救助隊を設置し、業務を開始
平成2年6月23日	広報車3台を購入、皆生、中山、生山出張所に配置
平成2年7月31日	梯子車分解整備、西伯出張所ホース乾燥塔補強
平成2年8月21日	(有)日本消防協会から携帯無線機10台、拡声器2台を寄贈
平成2年8月21日	(有)日本消防協会から指令広報車1台寄贈、境港消防署に配置
平成2年9月6日	救急車(2B型4WD)を購入、生山出張所に配置
平成2年9月18日	日本防火協会から防火広報車1台寄贈、消防本部に配置
平成2年11月21日	生山出張所改装工事
平成2年11月30日	超短波無線電話装置消防波10W2台、救急波10W3台購入
平成2年12月14日	消防ポンプ自動車2台購入、大山、江府消防署に配置
平成2年12月21日	消防本部防水及び外壁改装工事
平成3年1月21日	危険物第4類試験装置一式購入
平成3年2月6日	安田生命保険相互会社から救急自動車(日産2B型)1台寄贈、境港消防署に配置
平成3年3月20日	江府消防署敷地拡幅造成工事
平成3年3月25日	米子消防署仮眠室空調機取替修繕
平成3年3月27日	油圧切断機1台購入
平成3年4月1日	消防職員定数262名 消防職員12名採用
平成3年4月25日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台寄贈、境港消防署に配置
平成3年7月12日	査察用軽自動車2台購入 米子消防署、溝口出張所に配置
平成3年8月20日	西伯出張所冷暖房改修工事
平成3年9月5日	(有)日本消防協会から救急車1台寄贈、米子消防署に配置
平成3年10月1日	大山消防署敷地拡幅造成工事
平成3年10月22日	消防本部新庁舎建設用地取得
平成3年11月27日	超短波無線電話装置購入 消防波10W2台、救急波1台
平成4年1月10日	消防ポンプ自動車2台購入、中山、生山出張所に配置
平成4年1月11日	消防本部庁舎新築工事着工
平成4年3月2日	空気呼吸器5基、軽量ボンベ9本購入
平成4年5月4日	救急救命士誕生
平成4年7月11日	消防本部主訓練塔新築工事着工 消防本部緊急通信指令施設設置工事着工 消防無線設備改修工事着工 (消防本部・古峠山中継所・日南前進基地・中山前進基地)

平成 4 年 9 月 16 日 (財)日本消防協会から防火広報車寄贈、消防本部配置

平成 4 年 10 月 1 日 消防本部に指令課を新設

平成 4 年 12 月 21 日 高規格救急車1台購入、米子消防署配置  
啓発広報車1台購入、消防本部配置

平成 5 年 1 月 22 日 米子消防署救急救命隊発足・業務開始

平成 5 年 2 月 28 日 消防本部庁舎新築工事完成

平成 5 年 3 月 20 日 消防本部主訓練塔新築工事完成

平成 5 年 3 月 26 日 消防本部緊急通信指令施設設置工事完成  
消防無線設備改修工事完成  
(消防本部・古峠山中継所・日南前進基地・中山前進基地)

平成 5 年 4 月 1 日 消防本部移転、名称も消防本部から消防局に改名  
消防職員12名採用

平成 5 年 5 月 24 日 査察用軽自動車2台購入  
中山、生山出張所に配置

平成 5 年 6 月 3 日 広報車2台更新(西伯、溝口出張所)

平成 5 年 8 月 30 日 (財)日本消防協会から防火広報車寄贈、消防局に配置

平成 5 年 10 月 1 日 西伯出張所に救急隊設置

平成 5 年 11 月 15 日 西伯出張所の増築・改修工事完成

平成 5 年 1 月 26 日 消防ポンプ自動車2台購入、皆生、西伯出張所に配置

平成 6 年 2 月 26 日 山之内製薬株式会社より救急車1台寄贈、中山出張所に配置

平成 6 年 4 月 1 日 消防職員定員284名  
消防職員11名採用

平成 6 年 5 月 10 日 査察用軽自動車2台購入(皆生出張所・西伯出張所に配置)

平成 6 年 5 月 25 日 広報車2台更新(消防局・弓浜出張所に配置)

平成 6 年 9 月 29 日 弓浜出張所庁舎の増築・改修・車庫の新築工事完成

平成 6 年 10 月 1 日 弓浜出張所に救急隊配備

平成 6 年 10 月 13 日 大山消防署救急車の更新

平成 7 年 1 月 17 日 阪神・淡路大震災、救助・救急隊災害派遣(1次～4次)

平成 7 年 2 月 10 日 溝口出張所1号車の更新

平成 7 年 3 月 27 日 (財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、境港消防署に配置  
(弓浜出張所1号車更新)

平成 7 年 4 月 1 日 第5代石上洋二消防局長就任  
消防職員3名採用

平成 7 年 4 月 3 日 境港消防署、救急救命隊発足・業務開始

平成 7 年 12 月 23 日 境港消防署、新庁舎完成

平成 8 年 1 月 22 日 消防ポンプ自動車3台購入(米子消防署・大山消防署・江府消防署  
に配置)

平成 8 年 2 月 26 日 米子市から連絡車寄贈、消防局に配置

平成 8 年 3 月 26 日 消防ポンプ自動車1台購入、生山出張所に配置

平成 8 年 3 月 28 日 救助工作車(Ⅲ型)1台購入

平成 8 年 4 月 1 日	消防職員定員287名
平成 8 年 4 月 25 日	救助工作車(Ⅲ型)皆生出張所に配置
平成 8 年 5 月 1 日	西部広域消防発足20周年記念式典開催
平成 8 年 12 月 19 日	25m級梯子車1台購入、境港消防署に配置
平成 8 年 12 月 25 日	査察用軽自動車1台購入、弓浜出張所に配置
平成 9 年 1 月 31 日	消防ポンプ自動車2台購入(西伯出張所・溝口出張所に配置)
平成 9 年 4 月 1 日	消防職員5名採用
平成 9 年 8 月 20 日	日本宝くじ協会から消火通報指導車寄贈、消防局に配置
平成 9 年 9 月 16 日	高規格救急車1台購入、大山消防署に配置
平成 9 年 10 月 1 日	大山消防署、救急救命隊業務開始
平成 9 年 11 月 7 日	タンク車及び消防ポンプ自動車各1台購入、弓浜出張所・中山出張所に配置
平成 9 年 11 月 25 日	皆生出張所庁舎の増築・改修工事完成
平成 9 年 12 月 25 日	資機材搬送車1台購入、米子消防署に配置
平成 10 年 4 月 1 日	消防職員1名採用
平成 10 年 7 月 1 日	境港消防署に水難救助隊を設置し、業務を開始
平成 10 年 7 月 6 日	鳥取県消防防災航空隊の運用を開始した。3名の職員を派遣
平成 10 年 11 月 30 日	江府消防署庁舎の増築・改修工事完成
平成 11 年 1 月 14 日	高規格救急車1台購入、江府消防署に配置
平成 11 年 1 月 25 日	消防ポンプ自動車2台購入(米子消防署・境港消防署に配置)
平成 11 年 1 月 25 日	タンク車1台購入、米子消防署に配置
平成 11 年 2 月 1 日	江府消防署、救急救命隊業務開始
平成 11 年 3 月 10 日	現場指揮車1台購入、米子消防署に配置
平成 11 年 3 月 31 日	境海上保安部と鳥取県西部消防局との消防業務協定
平成 11 年 4 月 1 日	消防職員1名採用
平成 11 年 5 月 7 日	鳥取県西部圏域危険物等事故対策協議会設立総会開催
平成 11 年 8 月 19 日	鳥取県西部圏域危険物等事故対策協議会合同訓練会
平成 11 年 12 月 31 日	Y2K越年警戒体制
平成 12 年 1 月 24 日	消防ポンプ自動車1台購入、米子消防署に配置
平成 12 年 1 月 24 日	タンク車1台購入、境港消防署に配置
平成 12 年 1 月 31 日	大山消防署庁舎の増築・改修工事完成
平成 12 年 2 月 21 日	救助工作車(Ⅱ型)1台購入、境港消防署に配置
平成 12 年 3 月 23 日	(財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、米子消防署に配置 米子救急救命車を更新
平成 12 年 3 月 27 日	大山消防署敷地拡幅
平成 12 年 10 月 6 日	鳥取県西部地震発生(13時30分・マグニチュード7.6)
平成 13 年 1 月 15 日	高規格救急車1台購入、生山出張所に配置
平成 13 年 1 月 16 日	40m級梯子車1台購入、米子消防署に配置
平成 13 年 2 月 1 日	生山出張所、救急救命隊業務開始
平成 13 年 2 月 28 日	化学消防自動車1台購入、境港消防署に配置
平成 13 年 4 月 1 日	第6代清水 隆消防局長就任
平成 13 年 4 月 1 日	消防職員7名採用、防災支援要員4名配置
平成 13 年 4 月 1 日	鳥取県防災監危機管理課に職員1名を派遣

平成 13 年 11 月 19 日	高規格救急車1台購入、中山出張所に配置
平成 13 年 12 月 1 日	中山出張所、救急救命隊業務開始
平成 14 年 1 月 31 日	(財)日本損害保険協会からタンク車寄贈、皆生出張所に配置
平成 14 年 1 月 31 日	中山出張所改築改修工事完成
平成 14 年 4 月 1 日	第7代廣谷耕史消防局長就任
平成 14 年 4 月 1 日	消防職員3名採用
平成 14 年 4 月 1 日	大山消防署特殊災害隊発足
平成 14 年 12 月 20 日	広報車1台購入、皆生出張所に配置
平成 15 年 1 月 21 日	救助工作車(Ⅱ型)1台購入、江府消防署に配置
平成 15 年 3 月 20 日	指揮車1台購入、境港消防署に配置
平成 15 年 4 月 1 日	消防職員3名採用
平成 15 年 4 月 1 日	鳥取県防災局消防課に職員1名を派遣
平成 15 年 10 月 15 日	広報車2台購入(米子消防署・大山消防署に配置)
平成 15 年 11 月 17 日	高規格救急車1台購入、西伯出張所に配置
平成 15 年 12 月 1 日	西伯出張所、救急救命隊業務開始
平成 16 年 3 月 5 日	広報車2台購入(中山出張所・生山出張所に配置)
平成 16 年 3 月 17 日	指揮車2台購入(大山消防署・江府消防署に配置)
平成 16 年 4 月 1 日	消防職員1名採用
平成 16 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名を派遣
平成 16 年 10 月 1 日	西伯町と会見町が合併し、南部町が誕生
平成 16 年 10 月 1 日	米子消防署西伯出張所を米子消防署南部出張所に名称変更
平成 16 年 11 月 29 日	高規格救急車1台購入、溝口出張所に配置
平成 16 年 12 月 15 日	溝口出張所、救急救命隊業務開始
平成 17 年 1 月 1 日	岸本町と溝口町が合併し、伯耆町が誕生
平成 17 年 1 月 1 日	江府消防署溝口出張所を米子消防署伯耆出張所に名称変更
平成 17 年 1 月 12 日	消防ポンプ自動車1台購入、境港消防署に配置
平成 17 年 2 月 23 日	高規格救急車1台購入、弓浜出張所に配置
平成 17 年 3 月 9 日	弓浜出張所、救急救命隊業務開始
平成 17 年 3 月 28 日	大山町・名和町・中山町が合併し、大山町が誕生
平成 17 年 3 月 31 日	指令設備を更新し、高機能指令システムを導入
平成 17 年 3 月 31 日	米子市と淀江町が合併し、米子市が誕生
平成 17 年 4 月 1 日	第8代中田正男消防局長就任
平成 17 年 4 月 1 日	消防職員定員292名
平成 17 年 4 月 1 日	消防職員8名採用
平成 17 年 11 月 20 日	高規格救急車1台購入、米子消防署に配置
平成 17 年 12 月 1 日	皆生出張所、米子消防署救急2分隊高規格救急車を使用し 救急救命隊業務開始
平成 17 年 12 月 21 日	(財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、皆生出張所に配置
平成 18 年 2 月 28 日	タンク車1台購入、伯耆出張所に配置
平成 18 年 4 月 1 日	消防職員2名採用
平成 18 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 18 年 11 月 24 日	米子市危険物保安協会から広報車1台寄贈、消防局に配置

平成 19 年 2 月 23 日	タンク車1台購入、大山消防署に配置
平成 19 年 4 月 1 日	米子消防署 新庁舎完成
平成 19 年 4 月 1 日	消防職員2名採用
平成 19 年 11 月 28 日 ～ 29 日	平成19年度中国・四国ブロック 緊急消防援助隊合同訓練
平成 19 年 12 月 24 日	化学車1台購入、米子消防署に配置
平成 19 年 12 月 31 日	消防無線基幹改良工事
平成 20 年 1 月 31 日	高規格救急車1台購入、大山消防署に配置
平成 20 年 4 月 1 日	第9代浦木 昇消防局長就任
平成 20 年 4 月 1 日	消防職員3名採用
平成 20 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 21 年 1 月 28 日	消防ポンプ自動車1台購入、生山出張所に配置
平成 21 年 2 月 19 日	高規格救急車1台購入、米子消防署に配置
平成 21 年 4 月 1 日	消防職員5名採用
平成 21 年 11 月 2 日	高度救助隊発足
平成 21 年 12 月 9 日	国際消防救助隊編成協力市町村の登録
平成 22 年 1 月 26 日	高規格救急車1台購入、江府消防署に配置
平成 22 年 2 月 15 日	消防ポンプ自動車1台購入、皆生出張所に配置
平成 22 年 3 月 26 日	高規格救急車1台購入、境港消防署に配置
平成 22 年 4 月 1 日	第10代桑名 強消防局長就任
平成 22 年 4 月 1 日	消防職員定員304名となる。
平成 22 年 4 月 1 日	消防職員14名採用
平成 22 年 4 月 1 日	国際消防救助隊員6名登録
平成 23 年 1 月 14 日	支援車 I 型を総務省より無償使用、消防局に配置
平成 23 年 2 月 24 日	消防ポンプ自動車2台購入、弓浜出張所・中山出張所に配置
平成 23 年 3 月 7 日	高規格救急車1台購入、生山出張所に配置
平成 23 年 3 月 12 日 ～ 21 日	東日本大震災により、宮城県南三陸町へ緊急消防援助隊鳥取県隊として出動
平成 23 年 4 月 1 日	消防職員定員313名
平成 23 年 4 月 1 日	消防職員20名採用
平成 23 年 7 月 2 日	消防救急デジタル無線 一部運用開始(救急業務のみ)
平成 23 年 12 月 9 日	伯耆出張所庁舎改修
平成 23 年 12 月 19 日	消防ポンプ自動車2台購入、伯耆出張所・南部出張所に配置
平成 23 年 12 月 21 日	作業車1台購入、消防局に配置
平成 23 年 12 月 22 日	南部出張所庁舎改修
平成 23 年 3 月 21 日	屈折梯子車1台購入、皆生出張所に配置
平成 24 年 4 月 1 日	消防職員定員322名
平成 24 年 4 月 1 日	消防職員18名採用
平成 24 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 24 年 4 月 13 日	鳥取西部農業協同組合から高規格救急車1台寄贈、中山出張所に配置
平成 24 年 12 月 17 日	消防ポンプ自動車3台購入、境港消防署・大山消防署・江府消防署に配置
平成 25 年 2 月 13 日	化学車1台購入、境港消防署に配置
平成 25 年 2 月 21 日	弓浜出張所庁舎改修
平成 25 年 2 月 28 日	生山出張所庁舎改修
平成 25 年 3 月 11 日	人員搬送車を総務省より無償使用、消防局に配置
平成 25 年 4 月 1 日	第11代武本和之消防局長就任
平成 25 年 4 月 1 日	消防職員定員327名
平成 25 年 4 月 1 日	消防職員15名採用

平成 26 年 2 月 20 日	機動連絡車を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
平成 26 年 2 月 25 日	消防ポンプ自動車1台購入、米子消防署に配置
平成 26 年 3 月 6 日	江府消防署庁舎改修、車庫新設
平成 26 年 3 月 13 日	救助工作車Ⅲ型1台購入、皆生出張所に配置
平成 26 年 3 月 14 日	高規格救急車1台購入、南部出張所に配置
平成 26 年 4 月 1 日	総務省消防庁に職員1名派遣
平成 26 年 4 月 1 日	消防職員定員319名
平成 26 年 4 月 1 日	消防職員20名採用

## 歴代の管理者・議長・消防長

### 歴代管理者

米子市長	河合弘道	(S47. 4. 30～S58. 4. 29)
”	松本徹	(S58. 4. 30～H 3. 4. 29)
”	森田隆朝	(H 3. 4. 30～H15. 4. 29)
”	野坂康夫	(H15. 4. 30～ )

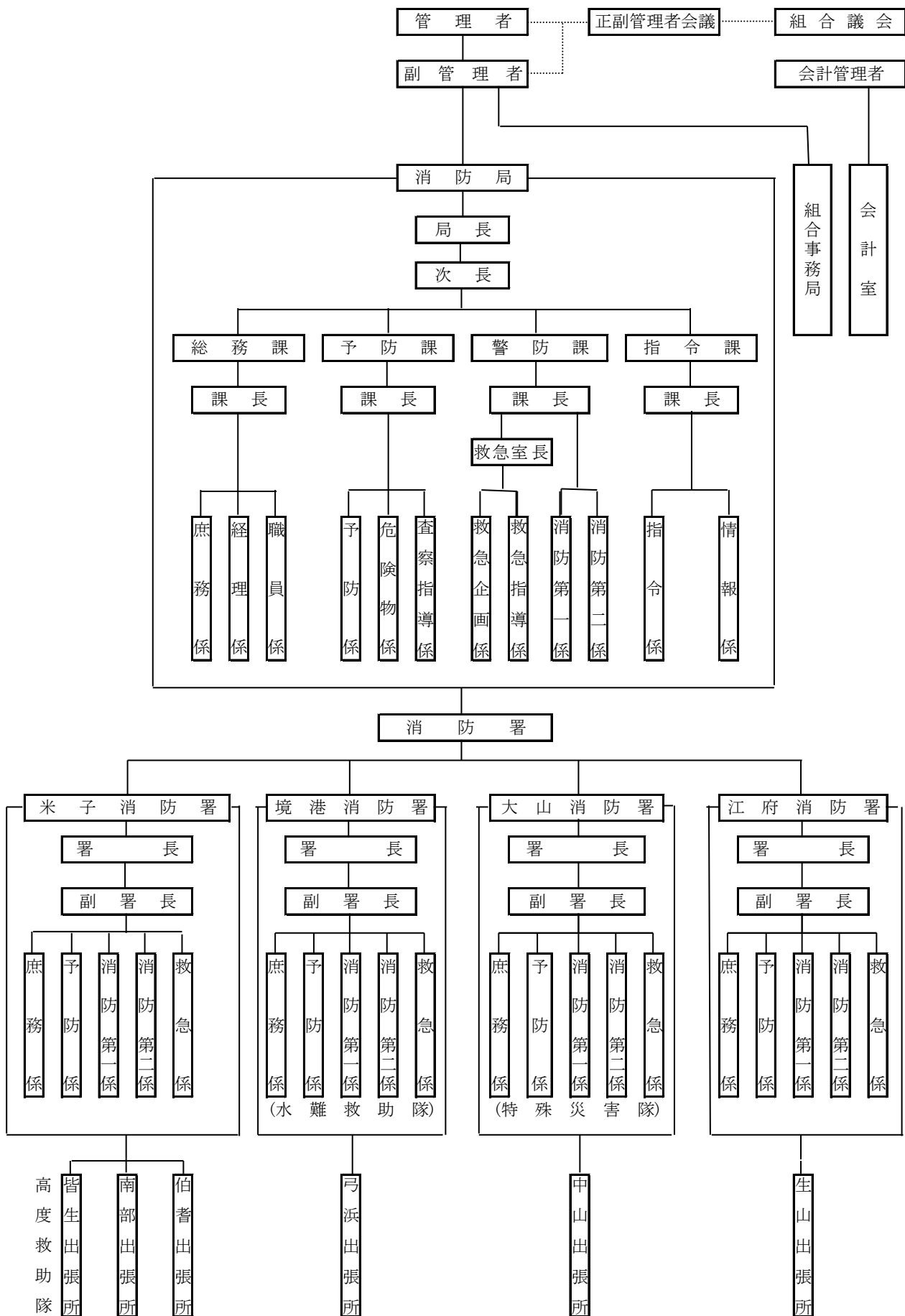
### 歴代議長

初代	足立六郎	(米子市) S47. 8.16～S50. 4.30
二代	田丸喜久治	( ” ) S50. 7.28～S54. 4.30
三代	安達昭男	( ” ) S54. 6. 2～S56. 6.29
四代	田村繁夫	( ” ) S56.10.16～S57.12. 9
五代	福谷清	( ” ) S58. 1.31～S58. 4.30
六代	広江弑	( ” ) S58. 6.10～S59. 7.19
七代	国尾茂	( ” ) S59.10. 8～S61. 7.17
八代	茅野恒治	( ” ) S61. 9. 5～S62. 4.30
九代	種原敏彦	( ” ) S62. 6.11～H元. 6.23
十代	塚田喜美	( ” ) H元. 6.23～H 3. 4.30
十一代	福谷清	( ” ) H 3. 6.13～H 5. 6.25
十二代	足芝孝幸	( ” ) H 5.10.25～H 7. 4.30
十三代	間瀬庄作	( ” ) H 7. 7.13～H11. 4.30
十四代	平田賢	( ” ) H11. 7.29～H13. 6.22
十五代	中本実夫	( ” ) H13. 7.12～H15. 4.30
十六代	生田薫	( ” ) H15. 7.28～H17. 3.30
十七代	生田薫	( ” ) H17. 4.15～H18. 6.30
十八代	吉岡知己	( ” ) H18. 7.20～H20. 7.10
十九代	中村昌哲	( ” ) H20. 7.25～H22. 6.30
二十代	渡辺照夫	( ” ) H22. 8.24～H24. 6.29
二十一代	松井義夫	( ” ) H24. 6.29～H26. 6.30
二十二代	渡辺穰爾	( ” ) H26. 8.28～

### 歴代消防長・消防局長

初代消防長	名和義則	S51. 5. 2～S57.3.31
第二代消防長	仲田末男	S57. 4. 1～S59.6.30
第三代消防長	西田英二	S59. 7. 1～H元. 3.31
第四代消防長	岩佐弘志	H元. 4. 1～H 7.3.31
第五代消防局長	石上洋二	H 7. 4. 1～H13.3.31
第六代消防局長	清水隆	H13. 4. 1～H14.3.31
第七代消防局長	廣谷耕史	H14. 4. 1～H17.3.31
第八代消防局長	中田正男	H17. 4. 1～H20.3.31
第九代消防局長	浦木昇	H20. 4. 1～H22.3.31
第十代消防局長	桑名強	H22. 4. 1～H25.3.31
第十一代消防局長	武本和之	H25. 4. 1～

# 鳥取県西部広域行政管理組合消防局組織図





# 消防機関の出動状況

[平成25年中(平成25年1月1日～平成25年12月31日)]

区 分		種 別	計	火 災	救 急 業 務	救 助 活 動
			(ア)～(ス)	(ア)	(イ)	(ウ)
消・ 防署 局所	出 動 回 数		15,891	129	10,018	129
	出 動 延 人 員		55,549	1,662	32,738	2,189

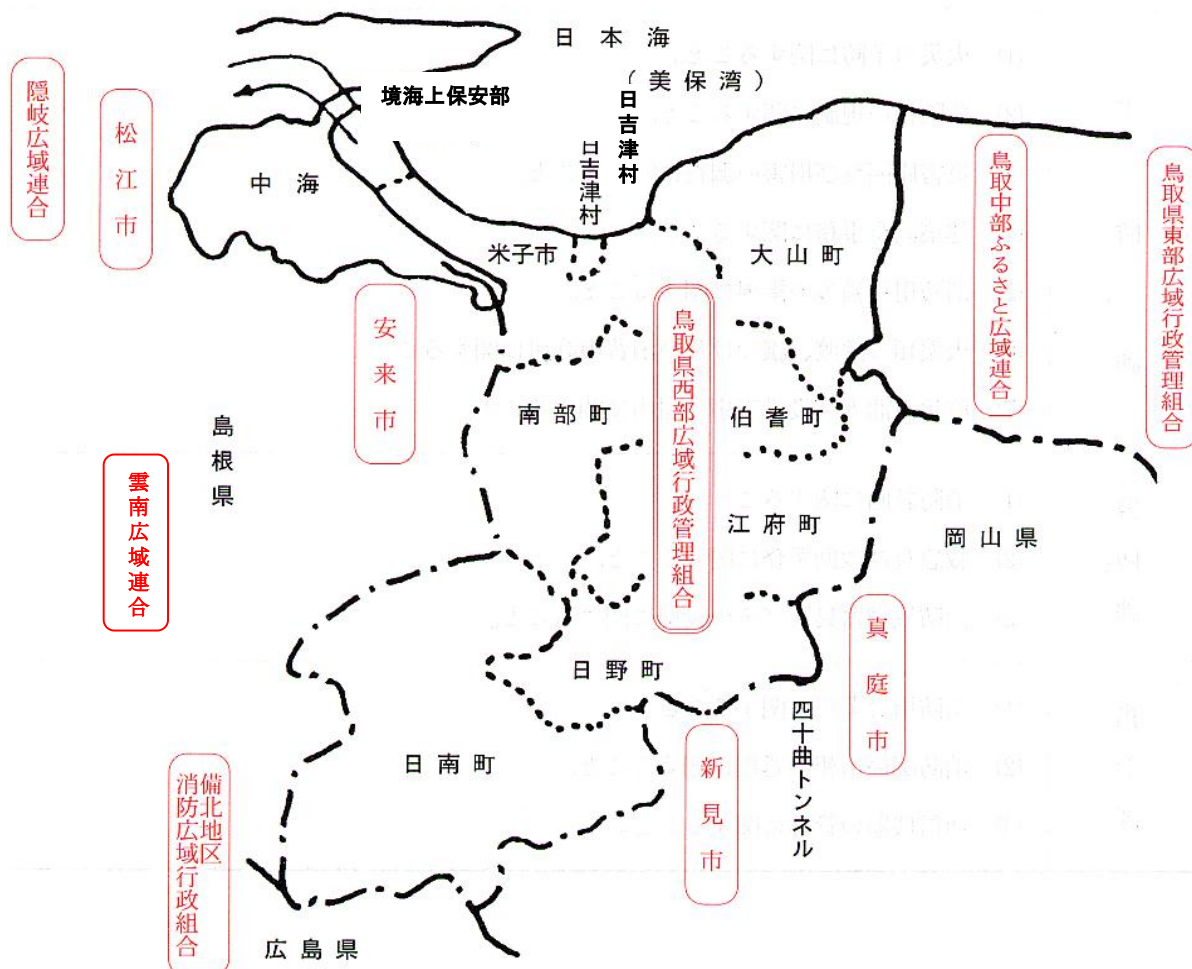
風水害等の災害 (エ)	演 習 訓 練 (オ)	訓 練 ・ 指 導 (カ)	警 防 調 査 (キ)	火 災 原 因 調 査 (ク)
0	53	261	200	138
0	220	1,705	343	1,104

特 別 警 戒 (ケ)	捜 索 (コ)	予 防 査 察 (サ)	誤 報 等 (シ)	そ の 他 (ス)
20	0	4,020	18	905
85	0	9,246	309	5,948

## 相互応援協定

平成26年4月1日現在

名 称	協 定 団 体	締結・改訂年月日
中海地区消防相互応援協定	松江市 (島根県) 安来市 ( " )	平成24年 3月14日 (改)
隠岐島の救急業務の共同処理	松江市 (島根県) 出雲市 ( " ) 隠岐広域連合 ( " )	平成14年 1月 1日 (改)
高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線における消防相互応援に関する協定	真庭市 (岡山県)	平成17年10月 1日 (改)
山陰道(米子西～安来)における消防相互応援に関する協定	安来市 (島根県)	平成24年 3月14日
鳥取県下広域消防相互応援協定	鳥取県東部広域行政管理組合 鳥取中部ふるさと広域連合	平成19年 4月30日 (改)
鳥取県西部広域行政管理組合と備北地区消防広域行政組合の消防相互応援協定	備北地区消防広域行政組合 (広島県)	平成12年 3月31日
消防相互応援に関する協定書	新見市 (岡山県)	平成17年10月 1日 (改)
	真庭市 ( " )	
	雲南広域連合 (島根県)	平成23年 9月 1日改)



# 事 務 分 掌

## 1. 消防局事務分掌

平成26年4月1日現在

総 務 課	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 人事、給与、服務及び例規に関する事。</li> <li>(2) 総合計画及び企画に関する事。</li> <li>(3) 予算及び経理に関する事。</li> <li>(4) 消防用財産に関する事。</li> <li>(5) 職員の研修に関する事。</li> <li>(6) 他の課に属さない事。</li> </ul>
予 防 課	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 火災の予防に関する事。</li> <li>(2) 危険物の規制に関する事。</li> <li>(3) 火災原因及び損害の調査に関する事。</li> <li>(4) 建築同意事務に関する事。</li> <li>(5) 消防用設備等の指導に関する事。</li> <li>(6) 火薬類の譲渡、譲受け及び消費の許可に関する事。</li> <li>(7) 液化石油ガス設備工事の届出に関する事。</li> </ul>
警 防 課	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防計画に関する事。</li> <li>(2) 救急及び救助業務に関する事。</li> <li>(3) 消防機械器具及びその装備に関する事。</li> </ul>
指 令 課	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防指令業務に関する事。</li> <li>(2) 消防関係情報の処理に関する事。</li> <li>(3) 通信機器の管理に関する事。</li> </ul>

## 2. 消防署事務分掌

庶務係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 署内人事及び賞罰に関すること。</li> <li>(2) 署員の教養訓練及び服務に関すること。</li> <li>(3) 経理に関すること。</li> <li>(4) 各種統計に関すること。</li> <li>(5) 他の分掌に属さないこと。</li> </ul>
予防係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 災害の調査に関すること。</li> <li>(2) 予防査察に関すること。</li> <li>(3) 危険物の規制に関すること。</li> <li>(4) 建築同意に関すること。</li> <li>(5) 火災予防の啓発、宣伝に関すること。</li> <li>(6) 火災原因及び損害の調査に関すること。</li> <li>(7) 液化石油ガス設備工事の届出に関すること。</li> </ul>
消防第一係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 水火災の警戒、防ぎよに関すること。</li> <li>(2) 水火災の警防計画に関すること。</li> <li>(3) 消防訓練の実施に関すること。</li> <li>(4) 災害の情報の処理に関すること。</li> <li>(5) 救助業務に関すること。</li> <li>(6) 消防用器具の維持管理に関すること。</li> </ul>

消防 第二 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防機械に関する教養及び訓練に関すること。</li> <li>(2) 消防機械の整備、保全及び検査に関すること。</li> <li>(3) 消防用地理、水利の点検、調査及び情報に関すること。</li> <li>(4) 通信指令機器の維持管理に関すること。</li> </ul>
救 急 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 救急隊業務に関すること。</li> <li>(2) 救急指定医療機関との連携調整に関すること。</li> <li>(3) 救急統計、報告等に関すること。</li> </ul>

### 3. 出張所事務分掌

	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 火災その他災害防ぎよに関すること。</li> <li>(2) 文書の收受、発送及び記録の整備保全に関すること。</li> <li>(3) 庁舎の維持管理及び諸物品の保管に関すること。</li> <li>(4) 所属職員の教養訓練に関すること。</li> <li>(5) 予防査察に関すること。</li> <li>(6) 火災予防条例による届出に基づく調査指導に関すること。</li> <li>(7) 火災予防の啓発、宣伝に関すること。</li> <li>(8) 火災原因及び損害の調査に関すること。</li> <li>(9) 消防用地理、水利の点検及び調査に関すること。</li> <li>(10) 消防用器具及び消防機械の整備保全に関すること。</li> <li>(11) 水火災その他災害情報連絡及び消防通信に関すること。</li> <li>(12) 救急業務に関すること。</li> <li>(13) 救助業務に関すること。</li> <li>(14) その他出張所に関すること。</li> </ul>
--	---

# 消 防 職 員

(1-1) 職員配置状況

平成26年4月1日現在

区 分	条 例 定 員	実 員	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員
昭51. 5. 1	143	112		1	4	5	14	30	7	48	3
昭51. 7. 1	143	143		1	4	5	14	30	7	79	3
昭52. 4. 1	208	206	1	2	2	3	18	40	5	132	3
昭53. 4. 1	208	207	1	2	2	4	25	43	7	120	3
昭54. 4. 1	220	220	1	1	3	5	25	50	5	127	3
昭55. 4. 1	232	232	1	2	2	10	22	50	16	126	3
昭56. 4. 1	242	242	1	2	3	8	22	48	16	140	2
昭57. 4. 1	246	246	1		7	8	23	53	11	141	2
昭58. 7. 1	246	246	1	2	5	9	31	48	31	117	2
昭59. 7. 1	246	246	1	2	6	9	30	51	28	117	2
昭60. 7. 1	246	245	1	1	7	9	30	52	28	115	2
昭61. 3. 31	246	245	1	1	7	6	32	52	28	116	2
昭62. 3. 31	246	245	1	1	7	7	31	52	28	116	2
昭63. 3. 31	246	245	1	2	6	7	33	51	28	115	2
平元. 4. 1	253	253	1	2	6	7	33	52	28	112	2
平 2. 4. 1	258	258	1	2	6	7	36	57	32	115	2
平 3. 4. 1	262	262	1	2	6	11	38	59	33	110	2
平 4. 4. 1	264	264	1	2	6	11	43	63	33	103	2
平 5. 4. 1	277	277	1	2	6	13	48	63	43	99	2
平 6. 4. 1	284	284	1	1	7	14	49	66	53	91	2
平 7. 4. 1	284	284	1	2	8	12	54	67	55	83	2
平 8. 4. 1	287	284	1	2	8	12	60	71	53	75	2
平 9. 4. 1	287	287	1	2	8	12	63	72	53	74	2
平10. 4. 1	287	287	1	2	8	12	64	74	56	68	2
平11. 4. 1	287	287	1	2	8	12	64	74	56	68	2
平12. 4. 1	287	286	1	2	8	13	63	74	56	67	2
平13. 4. 1	287	287	1	2	8	14	63	74	57	66	2
平14. 4. 1	287	287	1	2	8	15	63	82	51	63	2
平15. 4. 1	287	287	1	2	8	15	64	91	38	66	2
平16. 4. 1	287	287	1	2	9	33	59	91	37	53	2
平17. 4. 1	292	290	1	3	11	38	63	90	36	46	3
平18. 4. 1	292	291	1	2	12	47	72	91	29	34	3
平19. 4. 1	292	292	1	2	14	45	77	89	28	33	3
平20. 4. 1	292	292	1	2	14	47	78	89	27	31	3
平21. 4. 1	292	292	1	5	11	49	77	110	3	34	2
平22. 4. 1	304	303	1	3	14	54	79	113	11	26	2
平23. 4. 1	313	313	1	3	15	62	102	81	4	43	2
平24. 4. 1	322	321	1	3	16	68	99	76	0	56	2
平25. 4. 1	327	327	1	1	19	75	99	64	14	52	2
平26. 4. 1	319	318	1	3	17	64	95	63	20	51	2

## (1-2) 職員配置状況

平成26年4月1日

		実 員	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員
消 防 局	消防局長	1	1								
	次 長	2		2							
	総務課	7(1)		(1)	1	1	3				2
	予防課	5			2	2	1				
	警防課	7			3	2	2				
	指令課	17		1	1	5	7	3			
	派遣中の者	24				1	1	2		20	
米 子 消 防 署	本 署	58(1)		(1)	2	14	17	13	4	8	
	皆生出張所	27			1	3	8	14	1		
	南部出張所	14				3	5	2	2	2	
	伯耆出張所	14				3	6	1	2	2	
境 港 消 防 署	本 署	44		1	2	8	11	13	3	6	
	弓浜出張所	14				2	3	4	3	2	
大 山 消 防 署	本 署	28		1	2	7	11	2	1	4	
	中山出張所	14				3	5	4	1	1	
江 府 消 防 署	本 署	28			3	7	9	3	2	4	
	生山出張所	14				3	6	2	1	2	
合 計		313	1	5 (2)	17	64	95	63	20	51	2

( )は兼務

## (2) 職員在職年数

平成26年4月1日現在

	計	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員
人数	318	1	5	17	64	95	63	20	51	2
平均年数	20	41	39	37	35	27	11	3	1	
1年未満	22								20	2
1年	15								15	
2年	18							2	16	
3年	19						1	18		
4年	13						13			
5年	5						5			
6年	3						3			
7年	2						2			
8年	2						2			
9年	8						8			
10年	1						1			
11年	3						3			
12年	3						3			
13年	6						6			
14年										
15年	1						1			
16年	1						1			
17年	5					2	3			
18年										
19年	2						2			
20年	11					8	3			
21年	14					10	4			
22年	4					4				
23年	11				1	10				
24年	5				1	4				
25年	11				1	10				
26年	3					3				
27年	5				1	3	1			
28年	3					3				
29年	5			1		4				
30年	4				2	2				
31年	3					3				
32年	12				5	7				
33年	10			2	3	5				
34年	12			1	8	3				
35年	11				9	2				
36年	2				2					
37年	52		3	8	28	12	1			
38年	6			3	3					
39年										
40年										
41年	5	1	2	2						
42年										
43年										
44年										
45年										



## (3) 職員年齢構成

平成26年4月1日現在

	計	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	事務 職員	年齢 合計
人数	318	1	5	17	64	95	63	20	51	2	13,132
平均年齢	41.3	59.0	58.6	56.6	54.7	47.2	33.0	25.1	22.8	43.0	41.3
18歳未満											
18歳	4								4		72
19歳	4								4		76
20歳	7								7		140
21歳	9							5	4		189
22歳	9							1	8		198
23歳	8							1	7		184
24歳	7						5		2		168
25歳	10						2	4	4		250
26歳	12						4	3	5		312
27歳	6						2	2	2		162
28歳	3						2	1			84
29歳	6						5		1		174
30歳	4						1	1	2		120
31歳	7						4	2	1		217
32歳	6						6				192
33歳	4						4				132
34歳	3						3				102
35歳	5						5				175
36歳	5						5				180
37歳	3						3				111
38歳	6					5	1				228
39歳	12					10	2				468
40歳	6					2	4				240
41歳	12				1	7	3			1	492
42歳	6					6					252
43歳	8					8					344
44歳	6				1	5					264
45歳	7					6				1	315
46歳	3				1	2					138
47歳	3				1	2					141
48歳	1					1					48
49歳	5				1	3	1				245
50歳	5				1	4					250
51歳	6			1	2	3					306
52歳	8			1	5	2					416
53歳	8				6	2					424
54歳	8				5	3					432
55歳	24			2	12	9	1				1,320
56歳	13			2	5	6					728
57歳	15		1	4	5	5					855
58歳	18			3	12	3					1,044
59歳	16	1	4	4	6	1					944
60歳											

## (4) 職員研修

## ア. 委託研修

平成26年4月1日現在

年度別 教育内容		計	年度別																									
			元 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	8 年	9 年	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	
消 防 大 学 校	本 科	10	5		1		1			1			1			1												
	幹 部 科	3		1																	1	1						
	上 級 幹 部 科	2	1																		1							
	予 防 科	16	10				1			1		1												1	1	1	1	
	警 防 科	13	7				1		1	1			1							1					1			
	救 急 科	8	4		1																2							1
	救 助 科	7	1	1			1					1			1								1			1		
	危 険 物 ( 保 安 ) 科	2	1																	1								
	火 災 原 因 調 査 科	2	2																									
	機 械 技 術 者 養 成 科	1	1																									
	火 災 調 査 科	1																1										
	火 災 調 査 講 習 会	5		1		1						1	1	1														
	危 機 管 理 セ ミ ナ ー	3															1	1	1									
	緊 急 消 防 援 助 隊 教 育 科 ( N B C 対 策 コ ー ス )	1																			1							
	緊 急 消 防 援 助 隊 教 育 科 ( 部 隊 指 揮 コ ー ス )	2																			1						1	
高 度 救 助 コ ー ス	1																							1			1	
防 災 講 習 会	1							1																				
危 機 管 理 講 習 会	1								1																			
島 根 県 消 防 学 校	1																1											
救 急 救 命 東 京 研 修 所	40			1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	3	2	2	2	1	1	1	1	
救 急 救 命 九 州 研 修 所	34							2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	1	2	2	2	1	1	1	1		
救 急 救 命 士 業 務 実 地 修 練	11					1	1	1	1	1	1	1			1		1	1									1	
海 上 自 衛 隊 第 一 術 科 学 校	4									2	1	1																
独 立 行 政 法 人 海 洋 研 究 開 発 機 構 ( 潜 水 技 術 研 修 )	9													2	2	2	1	1	1									
海 上 自 衛 隊 舞 鶴 潜 水 技 術 研 修																									1	1		
陸 上 自 衛 隊 化 学 学 校	1											1																
鈴 鹿 サ ー キ ッ ト 交 通 教 育	6													1	1	1	1	1	1									
鳥 取 県 消 防 学 校	初 任 教 育	195	37	7	11	4	15	11	3		5	1	1		7	3	3		8	2	2	3	5	14	20	18	15	
	現 任 教 育	38	28	10																								
	幹 部 教 育	112	30	5	5	5	4	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	4						5			
	上 級 中 級 幹 部 教 育																										5	
	中 級 幹 部 教 育	25																			5	5	5	5		5		
	課 ・ 署 長 研 修 会	5															5											
	救 急 I 課 程	68		12			15	15	15	11																		
	救 急 II 課 程	180			11	11	11	11	11	25	20	20	8	12	7	21	12											
	救 急 科	128											6	4	7		12	11		6	8	7		14	20	18	15	
	救 急 実 務 研 修 会	14											3		3	3	5											
	救 急 救 命 士 講 習 ( 挿 管 )	42																8	22	12								
	救 急 救 命 士 講 習 ( 薬 剂 )	44																		6	16	8	14					
	外 傷 研 修	25																	5	10	10							
	危 険 物 科	20		5		5							5													5		
	救 助 科	89	20		5	5			5	5	5			5	5	5	5	5	5				4		5	5	5	
	特 殊 災 害 科	19																5	5	4							5	
	無 線 通 信 科	19		5						14																		
	機 関 科	10			5							5																
	火 災 調 査 科	49				5			5	4	5	5		5	5	5		5									5	
	電 気 設 備 科	14	9		5																							
	予 防 査 察 科	39	10				4											5		5		5	5				5	
	警 防 科	28					4	5			4					5		5									5	
	予 防 科	25			5			5				5									5							
梯 子 自 動 車 講 習 会	12					12																						
昇 任 者 研 修	11																						6	5				
指 揮 研 修	45																				5		10	10	10	10		
管 理 職 研 修	15																						5	5	5			
警 防 研 修	4																									1	3	
救 助 研 修	8																									3	5	

イ. 局内教養研修及び訓練

平成26年3月31日現在

研修内容	研修回数	延人員
予防研修	205	1,240
警防研修及び訓練	1,077	7,214
救助研修及び訓練	695	5,073
水難救助研修及び訓練	51	457
救急研修及び訓練	25	851
一般教養研修	3	221
計	2,056	15,056

- 日本臨床救急医学会 5名
- 日本救急医学会中国四国地方会 5名
- 日本集団災害医学会 7名
- 全国救急隊員シンポジウム 18名
- 山陰救急医学会 17名

(5) 職員採用試験(平成26年4月1日採用)

第1次	教養試験 適性検査 体力試験	} 平成25年9月22日	消防局 鳥取県消防学校
第2次	作文試験 面接試験		

	総数	高校卒	短大卒	大学卒
応募者	98	35	20	43
合格者	20	6	3	11



# 消防予算の状況





## 消 防 予 算 の 状 況

### (1) 平成26年度当初予算額の対前年度比較

(単位:千円)

科	目	平成26年度予算	平成25年度予算	比 較 増 減
(款) 消 防 費		3,855,674	3,560,593	295,081
(項) 消 防 費		3,855,674	3,560,593	295,081
(目) 1 常備消防費		3,023,544	3,318,666	△ 295,122
(節) 1 報	酬	1,620	1,620	0
2 給	料	1,220,010	1,326,059	△ 106,049
3 職 員 手 当 等		1,028,628	1,314,984	△ 286,356
4 共 済 費		412,567	455,775	△ 43,208
5 災 害 補 償 費		10	10	0
8 報 償 費		342	360	△ 18
9 旅 費		2,578	2,216	362
10 交 際 費		10	10	0
11 需 用 費		102,424	101,555	869
12 役 務 費		28,445	25,969	2,476
13 委 託 料		66,647	54,846	11,801
14 使 用 料 及 び 貸 借 料		9,994	11,900	△ 1,906
16 原 材 料 費		180	180	0
18 備 品 購 入 費		1,501	1,043	458
19 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金		21,873	17,648	4,225
22 補 償 補 填 及 び 賠 償 費		300	300	0
25 積 立 金		124,414	2,086	122,328
27 公 課 費		2,001	2,105	△ 104
(目) 2 消防施設費		832,130	241,927	590,203
(節) 11 需 用 費		13,293	13,702	△ 409
13 委 託 料		9,902	7,890	2,012
15 工 事 請 負 費		5,822	14,619	△ 8,797
17 公 有 財 産 購 入 費		83,467	0	83,467
18 備 品 購 入 費		717,414	203,148	514,266
19 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金		2,232	2,568	△ 336

## (2) 平成26年度当初予算額の財源内訳

(単位:千円)

区 分 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			
		特定財源			一般財源
		国・県支出金	地 方 債	そ の 他	
(款) 消 防 費	3,855,674	41,814	1,053,900	13,165	2,746,795
(項) 消 防 費	3,855,674	41,814	1,053,900	13,165	2,746,795
(目) 常備消防費	3,023,544	5,223	376,000	11,162	2,631,159
(目) 消防施設費	832,130	36,591	677,900	2,003	115,636

## (3) 平成25年度決算額

(単位:円)

科 目	当初予算額	予算現額	決算見込額
(款) 消 防 費	3,560,593,000	3,598,593,000	3,589,642,385
(項) 消 防 費	3,560,593,000	3,598,593,000	3,589,642,385
(目) 1 常備消防費	3,318,666,000	3,368,633,000	3,360,961,577
(節) 1 報 酬	1,620,000	1,620,000	1,620,000
2 給 料	1,326,059,000	1,253,938,000	1,253,662,528
3 職 員 手 当 等	1,314,984,000	1,457,751,000	1,453,432,715
4 共 済 費	455,775,000	430,514,000	430,235,758
5 災 害 補 償 費	10,000	10,000	0
8 報 償 費	360,000	360,000	305,600
9 旅 費	2,216,000	2,370,000	2,263,045
10 交 際 費	10,000	10,000	0
11 需 用 費	101,555,000	107,638,909	107,154,746
12 役 務 費	25,969,000	26,360,000	25,311,628
13 委 託 料	54,846,000	56,316,000	56,116,415
14 使 用 料 及 び 貸 借 料	11,900,000	10,374,091	10,374,091
16 原 材 料 費	180,000	180,000	87,103
18 備 品 購 入 費	1,043,000	1,043,000	751,515
19 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	17,648,000	16,103,000	16,055,763
22 補 償 補 填 及 び 賠 償 費	300,000	300,000	79,170
25 積 立 金	2,086,000	1,653,000	1,653,000
27 公 課 費	2,105,000	2,092,000	1,858,500
(目) 2 消防施設費	241,927,000	229,960,000	228,680,808
(節) 11 需 用 費	13,702,000	19,782,000	19,176,090
13 委 託 料	7,890,000	7,550,000	7,549,500
15 工 事 請 負 費	14,619,000	14,451,000	14,119,980
18 備 品 購 入 費	203,148,000	185,609,000	185,364,165
19 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	2,568,000	2,568,000	2,471,073



# 消 防 施 設





# 消 防 施 設 等 の 状 況

## (1) 消防庁舎の位置・構造

平成26年4月1日現在

名 称	所 在 地	構 造	建物延面積	敷地面積
消 防 局		鉄骨鉄筋コンクリート造6階建	3,972.30	
主 訓 練 塔	米子市両三柳5452番地	鉄骨鉄筋コンクリート造7階建	637.00	6,865.23
副 訓 練 塔		鉄骨造2階建	141.00	
米 子 消 防 署	米子市富士見町一丁目103番地1	鉄筋コンクリート造3階建	2,305.35	2,211.85
米 子 消 防 署 皆 生 出 張 所	米子市皆生五丁目8番5号	鉄筋コンクリート造平屋建	489.08	1,015.04
米 子 消 防 署 南 部 出 張 所	西伯郡南部町清水川3番地1	"	285.81	749.18
米 子 消 防 署 伯 耆 出 張 所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	"	281.67	900.96
境 港 消 防 署	境港市中野町2116番地	鉄筋コンクリート造2階建	1,565.70	5,560.00
境 港 消 防 署 弓 浜 出 張 所	米子市大篠津町2913番地1	鉄筋コンクリート造平屋建 鉄骨造平屋建(自動車車庫)	199.88 52.00	746.00
大 山 消 防 署	西伯郡大山町末吉403番地2	鉄筋コンクリート造平屋建 鉄骨造2階建	503.50	1,884.87
大 山 消 防 署 中 山 出 張 所	西伯郡大山町長野880番地3	鉄筋コンクリート造平屋建 (一部鉄骨造)	330.29	1,136.38
江 府 消 防 署	日野郡江府町大字武庫1390番地3	鉄筋コンクリート造 鉄骨造2階建	513.66	1,051.00
江 府 消 防 署 生 山 出 張 所	日野郡日南町生山349番地1	鉄筋コンクリート造平屋建	229.70	782.20
古 峠 山 無 線 中 継 所	西伯郡伯耆町二部字間地山2143番地1	鉄骨造平屋建ALC板 付属設備(送受信塔)鉄骨造 16.5m	28.73	100.00
日 南 前 進 基 地	日野郡日南町萩原字原林490番地2	鉄骨造平屋建ALC板 付属設備(送受信塔)鉄骨造 15m	6.18	25.00
鬼 林 山 無 線 中 継 所	日南町神福字塩滝山2069番地	鉄骨造平屋建	20.00	93.10
一 息 坂 無 線 中 継 所	大山町羽田井字大谷1420番地	鉄骨造平屋建 付属設備(送受信塔)鉄骨造 17.3m	20.00	107.75

## (2) 消防吏員待機宿舎概要

名 称	所 在 地	構 造	建物延面積	敷地面積
生山北寮(独身寮) 消防待機宿舎北寮	日野郡日南町生山349番地	鉄筋コンクリート造平屋建	107.00	365.14

(3) 消防車輛等配置数

平成26年4月1日現在

推 移	車 種 別			総 数	消 防 ポ ン プ 自 動 車	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	化 学 消 防 自 動 車	は し ご 付 消 防 自 動 車	救 助 工 作 車	高 発 泡 車	救 急 自 動 車 ( 2 B )	救 急 自 動 車 ( 高 規 格 )	指 揮 車	査 察 ・ 広 報 車	作 業 車	消 防 艇	電 源 ・ 照 明 車	資 機 材 搬 送 車	そ の 他 車 輛
	昭	平	元																
昭 51.	10.	1	28	10	3	2	1				6		2	3	1				
昭 52.	4.	1	36	15	3	2	2				7		2	4	1				
昭 54.	4.	1	51	21	4	3	2	1			8		2	9	1				
昭 57.	4.	1	58	21	4	3	2	2			10		2	13	1				
昭 62.	4.	1	56	19	4	2	2	2			11		3	12	1				
昭 63.	4.	1	59	19	4	2	2	2			11		5	10	1		1	1	1
平 元.	4.	1	60	20	4	2	2	2			11		5	10	1		1	1	1
平 2.	4.	1	61	20	4	2	2	2			12		5	10	1		1	1	1
平 3.	4.	1	67	21	4	2	2	2			12		5	15	1		1	1	1
平 4.	4.	1	68	21	4	3	2	2			12		5	16	1		1		1
平 5.	4.	1	70	21	4	3	2	2			12	1	5	17	1		1		1
平 6.	4.	1	72	21	4	3	2	2			12	1	5	19	1		1		1
平 7.	4.	1	75	21	4	3	2	2			12	2	5	21	1		1		1
平 8.	4.	1	76	21	4	3	2	3			12	2	5	21	1		1		1
平 9.	4.	1	78	21	4	3	3	3			12	2	5	22	1		1		1
平 10.	4.	1	80	21	4	3	3	3			11	3	5	22	1		1	1	2
平 11.	4.	1	80	21	4	3	3	3			10	4	5	21	1		1	1	3
平 12.	4.	1	81	21	4	3	3	3			9	5	5	22	1		1	1	3
平 13.	4.	1	81	21	4	3	3	3			9	5	5	21	1		1	1	4
平 14.	4.	1	81	21	4	3	3	3			9	5	5	21	1		1	1	4
平 15.	4.	1	81	21	4	3	3	3			9	5	5	21	1		1	1	4
平 16.	4.	1	81	21	4	3	3	3			7	7	5	21	1		1	1	4
平 17.	4.	1	81	21	4	3	3	3			5	9	5	21	1		1	1	4
平 18.	4.	1	81	21	5	3	3	3			3	11	5	21	1		1	1	4
平 19.	4.	1	82	20	6	3	3	3			2	12	5	21	1		1	1	4
平 20.	4.	1	78	18	6	3	3	3			1	13	5	21	1			1	3
平 21.	4.	1	78	18	6	3	3	3				14	5	21	1			1	3
平 22.	4.	1	78	18	6	3	3	3				14	5	21	1			1	3
平 23.	4.	1	78	18	6	3	3	3				14	5	21	1			1	3
平 24.	4.	1	77	18	6	3	3	3				14	5	20	1			1	3
平 25.	4.	1	80	18	6	3	3	3				14	5	22	1			1	4
平 26.	4.	1	80	18	6	3	3	3				14	5	21	1			1	4

平 成 26 ・ 4 ・ 1	消 防 局			14							2	1	6	1					4	
	米 消 防 子 署	本 署			16	4	1	1	1			2	1	5					1	
		皆生出張所			6	1	1		1	1		1		1						
		南部出張所			4	2						1		1						
		伯耆出張所			4	1	1					1		1						
	境 消 防 港 署	本 署			13	2	1	2	1	1		2	1	2						1
		弓浜出張所			4	2						1		1						
	大 消 防 山 署	本 署			5	1	1					1	1	1						
		中山出張所			4	2						1		1						
	江 消 防 府 署	本 署			6	1	1			1		1	1	1						
生山出張所			4	2						1		1								
計				80	18	6	3	3	3	0	0	14	5	21	1	0	0	1	5	

## (4) 消防車両概況

平成26年4月1日現在

所属	車号	登録番号	車名	機装	購入年月日	摘要
消防局	局救急1号車	鳥取88に3544	トヨタ	高規格車4WD	平成9.9.18	消防庁補助
	局救急2号車	鳥取800さ1286	トヨタ	高規格車4WD	平成13.1.15	消防庁補助
	局指揮車	鳥取800さ4412	ニッサン		平成19.3.29	
	機動連絡車	鳥取800さ6630	トヨタ		平成26.2.20	総務省より無償使用
	広報2号車	鳥取45せ3407	マツダ		平成6.5.26	
	広報3号車	鳥取500ね325	ニッサン		平成18.11.24	寄贈 米子危保協会
	局査察1号車	鳥取40ほ8367	ホンダ		平成3.7.12	
	局査察2号車	鳥取40む2123	三菱		平成5.5.24	
	局査察3号車	鳥取40む2124	三菱		平成5.5.24	
	局査察5号車	鳥取580た3212	三菱		平成24.7.23	
	支援車	鳥取800は512	日野	支援車I型	平成23.1.12	総務省より無償使用
	人員輸送車	鳥取800さ6302	トヨタ	マイクロバス	平成25.3.11	総務省より無償使用
	連絡車	鳥取300た1821	ニッサン		平成16.5.27	
	作業車	鳥取800さ5938	いすゞ	2t	平成23.12.21	
米子消防署	1号車	鳥取800さ6632	日野	CD-I・A2	平成26.2.21	消防庁補助
	2号車	鳥取88に4492	いすゞ	CD-I・A2	平成11.1.25	消防庁補助
	3号車	鳥取88さ654	三菱	CD-I・A2	平成12.1.24	消防庁補助
	5号車	鳥取88に3128	三菱	CD-I・A2	平成9.1.31	消防庁補助
	タンク車	鳥取88に4491	日野	I-A	平成11.1.25	消防庁補助
	化学車	鳥取800は387	日野	II型	平成19.12.14	
	梯子車	鳥取800は110	ニッサンD	40m級	平成13.3.16	消防庁補助
	救急1号車	鳥取800さ3901	トヨタ	高規格車4WD	平成17.11.20	
	救急2号車	鳥取800さ5065	トヨタ	高規格車4WD	平成21.2.19	
	指揮車	鳥取88に4603	トヨタ		平成11.3.10	
	資材搬送車	鳥取88に3730	三菱	2t	平成9.12.25	
	米子広報1号車	鳥取800さ2987	ニッサン		平成15.10.15	
	米子広報2号車	鳥取88に1311	トヨタ		平成4.9.16	寄贈 日本防火協会
	米子査察1号車	鳥取40ほ8366	ホンダ		平成3.7.12	
米子査察2号車	鳥取40め3582	スズキ		平成6.5.10		
江府査察車	鳥取40ほ2022	三菱		平成3.2.22		
皆生出張所	1号車	鳥取800さ5365	日野		平成22.2.15	
	タンク車	鳥取800は292	日野	I-A	平成18.2.28	消防庁補助
	救助工作車	鳥取800は641	日野	III型	平成26.3.10	消防庁補助
	屈折梯子車	鳥取800は556	日野	15m級	平成24.3.21	消防庁補助
	救急車	鳥取800さ3939	トヨタ	高規格車4WD	平成17.12.21	寄贈 損害保険協会
	広報車	鳥取800さ2543	ニッサン		平成14.12.20	
南部出張所	1号車	鳥取800さ5955	日野	CD-I・A2	平成23.12.19	
	2号車	鳥取88に3129	三菱	CD-I・A2	平成9.1.31	消防庁補助
	救急車	鳥取800さ6647	トヨタ	高規格車4WD	平成26.3.5	消防庁補助
	広報車	鳥取88す969	マツダ		平成5.6.3	

所属	車 号	登 録 番 号	車 名	機 装	購 入 年 月 日	摘 要
伯耆出張所	1 号 車	鳥取800さ5956	日野	CD-I・A2	平成23. 12. 19	
	タンク車	鳥取88に3633	日野	I-B	平成 9. 11. 7	消防庁補助
	救急車	鳥取800さ3508	トヨタ	高規格車 4WD	平成16. 11. 29	消防庁補助
	広報車	鳥取88す 968	マツダ		平成 5. 6. 3	
境港消防署	1 号 車	鳥取800さ3555	日野	CD-I・A2	平成17. 1. 12	消防庁補助
	2 号 車	鳥取800さ6234	日野	CD-I・A2	平成24. 12. 17	
	タンク車	鳥取800さ 656	日野	I-B	平成12. 1. 24	消防庁補助
	救助工作車	鳥取800は 51	日野	II型	平成12. 2. 21	防衛庁補助
	ボートトレーラ	鳥取800る 15	イージーホーラー		平成12. 2. 21	防衛庁補助
	化学1号車	鳥取88は107	日野	IV型・A1	平成13. 2. 28	防衛庁補助
	化学2号車	鳥取800は 584	日野	II型・A2	平成25. 2. 13	防衛省補助
	梯子車	鳥取88ゆ 689	日野	25m級	平成 8. 12. 19	防衛庁補助
	救急1号車	鳥取800さ5432	ニッサン	高規格車 4WD	平成22. 3. 26	防衛省補助
	救急2号車	鳥取800さ4415	ニッサン	高規格車4WD	平成19. 3. 27	防衛庁補助
弓浜出張所	指揮車	鳥取800さ2633	ニッサン		平成15. 3. 20	
	境港広報車	鳥取880あ95	ダイハツ		平成18. 8. 7	
	境港査察車	鳥取80あ653	ダイハツ		平成 8. 12. 25	
	1 号 車	鳥取800さ5713	日野	CD-I・A2	平成23. 2. 25	消防庁補助
大山消防署	2 号 車	鳥取88に4493	いすゞ	CD-I・A2	平成11. 1. 25	消防庁補助
	救急車	鳥取800さ3595	トヨタ	高規格車 4WD	平成17. 2. 23	防衛庁補助
	広報車	鳥取88す1119	マツダ		平成 6. 5. 25	
	1 号 車	鳥取800さ6233	日野	CD-I・A2	平成24. 12. 17	
	タンク車	鳥取800は 337	日野	CD-I・A2	平成19. 2. 23	
中山出張所	救急車	鳥取800さ4747	ニッサン	高規格車 4WD	平成20. 1. 31	
	指揮車	鳥取800さ3175	ニッサン		平成16. 3. 17	
	広報車	鳥取800さ2988	ニッサン		平成15. 10. 15	
	1 号 車	鳥取800さ5714	日野	CD-I・A2	平成23. 2. 25	消防庁補助
江府消防署	2 号 車	鳥取88に3638	三菱	CD-I・A2	平成 9. 11. 7	消防庁補助
	救急車	鳥取800さ6026	トヨタ	高規格車 4WD	平成24. 3. 22	消防庁補助
	広報車	鳥取80あ1132	ダイハツ		平成16. 3. 5	
	1 号 車	鳥取800さ6232	日野	CD-I・A2	平成24. 12. 17	
	タンク車	鳥 800さ2061	日野	I-B	平成14. 1. 31	寄贈 日本消防協会
生山出張所	救助工作車	鳥取800さ2568	日野	II型	平成15. 3. 20	消防庁補助
	救急車	鳥取800さ5350	トヨタ	高規格車 4WD	平成22. 1. 26	消防庁補助
	指揮車	鳥取800さ3174	ニッサン		平成16. 3. 17	
	江府広報車	鳥取800さ6282	日産		平成25. 2. 27	
生山出張所	1 号 車	鳥取88に2668	三菱	CD-I・A2	平成 8. 3. 26	消防庁補助
	2 号 車	鳥取800さ5044	日野	CD-I・A2	平成21. 1. 28	消防庁補助
	救急車	鳥取800さ5708	トヨタ	高規格車 4WD	平成23. 2. 26	消防庁補助
	広報車	鳥取80あ1133	ダイハツ		平成16. 3. 5	

消防ポンプ自動車18 タンク車6 救助工作車3 化学車3 梯子車3  
救急車14 指揮車5 広報車13 査察車8 作業車1 人員輸送車1  
支援車1 資機材搬送車1 連絡車1 ボートトレーラ-1 機動連絡車1  
総数80台

(5) 救急・救助

(5-1) 救急隊配置場所

平成26年4月1日現在

配置場所	車両区分	隊数
米子消防署	高規格救急車	2隊
皆生出張所	高規格救急車	1隊
南部出張所	高規格救急車	1隊
伯耆出張所	高規格救急車	1隊
境港消防署	高規格救急車	2隊
弓浜出張所	高規格救急車	1隊
大山消防署	高規格救急車	1隊
中山出張所	高規格救急車	1隊
江府消防署	高規格救急車	1隊
生山出張所	高規格救急車	1隊

## (5-2) 高規格救急車積載一覧

積載器具名		数量	積載器具名		数量
心電図伝送装置		1式	ドーナツ型まくら		1
半自動式除細動器		1式	感染防止用資材セット		3式
ベッドサイドモニター		1式	舌 庄 子		3
自動式人工呼吸器		1式	舌 鉗 子		1
心 電 計		1式	マギール鉗子	大・小	各 1
全身固定用具		1式	ステイッフネック	大・中・小	各 1
在宅医療セット		1式	万能ハサミ		2
頭 部 固 定 具		1式	フェイスマスク	大・中・小	各 2
新生児用資器材		1式	輸液セット	三方活栓付チューブ	4
携 帯 電 話		1	乳酸リンゲル液		5
携 帯 無 線 機		1	留 置 針	18・20・22	適量
電 動 吸 引 器		1式	経口エアウェイ	大・中・小・極小	各 1
バキュームスプリント		1式	経鼻エアウェイ	6・7・8・9	適量
バ ッ ク ボ ード		1式	鼻カニューレ		1
バッグマスクセット		1式	ク リ ー ン ネット		1
喉 頭 鏡 セ ッ ト		1式	洗 面 器		1
メインストレッチャー		1	尿 器		1
スクープストレッチャー		1	開 口 器		1
サブストレッチャー		1	吸引カテーテル		適量
ユニオン担架		1	お は り 箱		1
布 担 架		1	洗 眼 器		1
酸素ボンベ	10リットル	2	気管内挿管チューブ	4・5・7・8・9	適量
減 圧 弁		2	気管切開カニューレ		適量
酸素加湿流量計	二連	1	〃 マスク		適量
血 圧 計	アネロイド・ハンド式	各 1	ピ ン セ ッ ト		1
聴 診 器		3	ス タ イ レ ッ ト		4
温 ・ 冷 蔵 庫		1	プラスチックグローブ		適量
浮 環		1	手 術 用 手 袋		適量
ガラスマスター		1	デ ィ ス ポ 電 極	心電計用	適量
万 能 斧		1	三 角 布		適量
レスキューン		1	ハ イ ゼ ガ ー ゼ		適量
バ ー ル		1	ケ ー パ イ ン		適量
サーチライト		4	各 種 テ ー プ		適量
水中めがね		2	紙 マ ス ク		適量
トリアージタッグ		適量	消 毒 綿		適量
毛 布		2	シ ー ネ	大・中・小	各 1
食道閉鎖式エアウェイ		適量	砂 の う		3
酸素マスク		適量	固定用ベルト		2
救急シート		1	シ リ ン ジ	10・20・30mm	各 1
雨 覆 い シ ー ト		1	冷 却 パ ッ ク		2
駆 血 帯		3	患者搬送記録・搬送証		適量
止 血 帯	ケース入	1	救命処置記録票		適量
体 温 計		1	住 宅 地 図		1式
ま くら		1			



(5-3) 救助隊配置場所

平成26年4月1日現在

配置場所	隊区分	車両区分
米子消防署	救助隊	化学消防自動車(Ⅱ型)
境港消防署	救助隊兼水難救助隊	救助工作車(Ⅱ型)
大山消防署	救助隊兼特殊災害隊	水槽付消防自動車
江府消防署	救助隊	救助工作車(Ⅱ型)
皆生出張所	高度救助隊	救助工作車(Ⅲ型)

(5-4) 高度救助用資機材一覧

機材名	規格
画像探索機Ⅰ型	オリンパス IV8675L1-SV90セット(一式)
画像探索機Ⅱ型	オリンパス IPLX-UltraLife(一式)
地中音響探知機	ハイブラフォンASB-10(一式)
熱画像直視装置	エボリューション6000(MSA)(一式)
夜間用暗視装置	24065NV5X60(ケンコートキナー)(一式)
地震警報器	サクラQアラートマークⅡ(一式)

(5-5) 救助工作車(Ⅲ型)積載一覧表

積載器具名			数量	積載器具名			数量
かぎ付き梯子	3.1m		1	耐電衣(上下)			2
三連梯子	8.7m		1	耐電ヘルメット			2
三連梯子用キット	クレーン、水平2法		1 式	耐電長靴			2
折りたたみ梯子	4.6m		1	ハイブリット対応セット			1 式
救命索発射銃	レステックエアー		1 式	安全帯			5
救助用縛帯	クイックストラップ		1	防塵メガネ			5
救助用縛帯	ピタゴール		1	信号機付投光器			1 式
救助用縛帯	エバックハーネス		1	携帯投光器			2
救助用縛帯	レスキュースリング		1	ランタン	大、小		2
検索用バッグ	ザイル、簡易縛帯		1 式	ケミカルライト			適量
バスケット担架			1	携帯拡声器			2
スケッドストレッチャー			1	携帯GPS	ガーミン		1
バックボード一式			2	双眼鏡	測距計		1
ナイロンロープ	小綱、巻ロープ		適量	双眼鏡	双眼鏡		1
カラビナ			適量	点滅棒			2
滑車	ワイドプーリー		適量	カラーコーン			5
都市型救助資機材	ザイル、ギア他		1 式	消火器			1
油圧ジャッキ	ブランジャーラム		1 式	デジカメ			1
電動油圧スプレッダー	ルーカス		1 式	張力計	ダイナホール5t型		1
可搬ウインチ	チルホールT35		1 式	救急バック			1 式
ワイヤーロープ	1.6m、4m、5m		5	要救助者用ヘルメット			2
Vスリング	3m、5m		8	要救助者用毛布			2
救助用三脚	テラダプター		1 式	プライバシー保護シート			1
マット型空気ジャッキ	ズムロ23t、58t		1 式	毛布			適量
マット型空気ジャッキ	リフトバック1t、3t、5t		1 式	発電機			1
大型油圧スプレッダー	ホルマトロ		1 式	予備燃料	混合ガソリン		適量
電動油圧切断機	ルーカスカッター		1	予備電池			適量
エンジンカッター			1	鳶口			1
ガス溶断機	ペトロカッター		1	レスキューシザー			1
チェーンソー			1	グラスマスター			2
レシプロソー	ヒルティ		1 式	バール			1
鉄筋カッター	オグラ		1 式	アングルカッター			2
ペダルカッター	ホルマトロ		1 式	工具セット			2 式
空気鋸	タイガーエアソー		1 式	絶縁工具セット			1 式
大型油圧切断機	ホルマトロカッター		1 式	パイプレンチ			1
空気切断機	パクハンマー		1 式	検電器			1
万能斧	レスキューアックス		1	ステップチョーク			2 式
大斧			1	レスキューブロック			適量
大ハンマー	防爆ハンマー		1	あて木			適量
コンクリート破壊器具	レッドワン		1 式	エアーバックセーフ	運転席用		1
ハンマードリル	ヒルティ		1 式	指揮板			1
可燃ガス測定器	GX8000		1	サルベージシート			2
可燃ガス測定器	コスモス		1	トランスポートバック			2
有毒ガス測定器	マルチレイプロ		1	水難救助バック	救命胴衣		1 式
熱画像直視装置	エボリューション		1	吸着マット			適量
空気呼吸器	M30		3	ACライト			適量
レスマスク			3	竹ぼうき			1
予備ボンベ	4.7ℓ		5	デッキブラシ			2
簡易呼吸器	パラートC		2	のこぎり			1
送排風機	ダクト10m		1 式	なた			1

## (6) 通信施設

### 指令施設

指令台	3式	各台は、指令用ディスプレイ、 地図用ディスプレイ、 支援情報ディスプレイを装備
指揮台	1式	
無線統制台	1式	
署所端末装置	12式	
各種表示盤	1式	支援情報表示盤・車両運用表示盤
指令用ホストコンピューターシステム	1式	
発信地照会端末装置	1式	
携帯・IP電話等位置情報通知システム	1式	

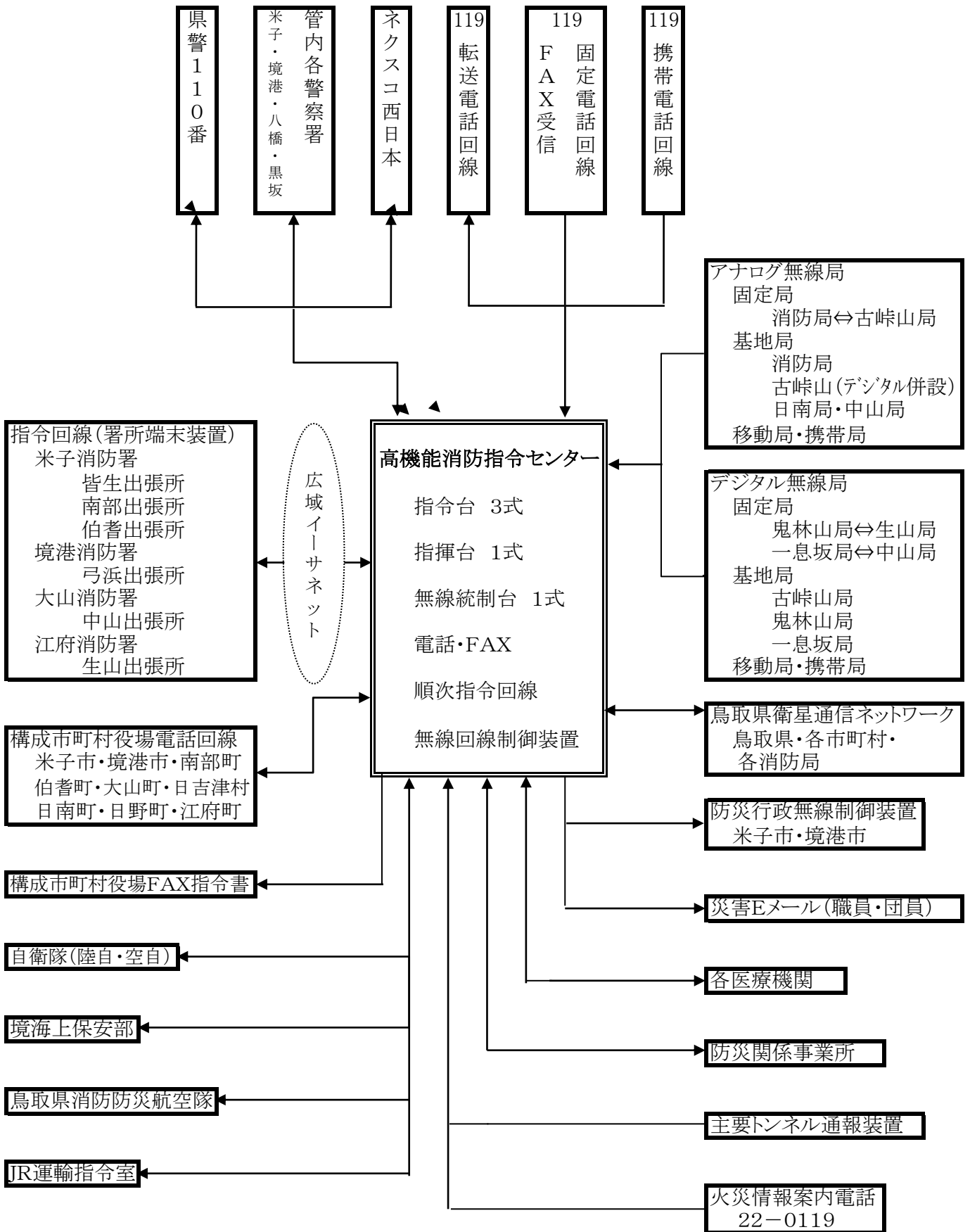
### 有線通信設備

119番専用回線	15回線	
固定電話回線 (ISDN回線)	12回線	IP電話重畳・FAX119
固定電話回線 (アナログ回線)	1回線	
携帯電話回線	2回線	
一般加入電話	23回線	
火災情報案内電話	10回線	
専用線		
署所指令専用線	10回線	
防災関係機関専用線	5回線	
広域イーサネット		
広域事務局・広域各施設		事務局・リサイクルプラザ・エコスラグセンター・米子浄化場 白浜浄化場・桜の苑
消防局・10署所		消防局・米子消防署・皆生(出)・南部(出)・伯耆(出)・境港消防 署・弓浜(出)・大山消防署・中山(出)・江府消防署・生山(出)

### 無線通信設備

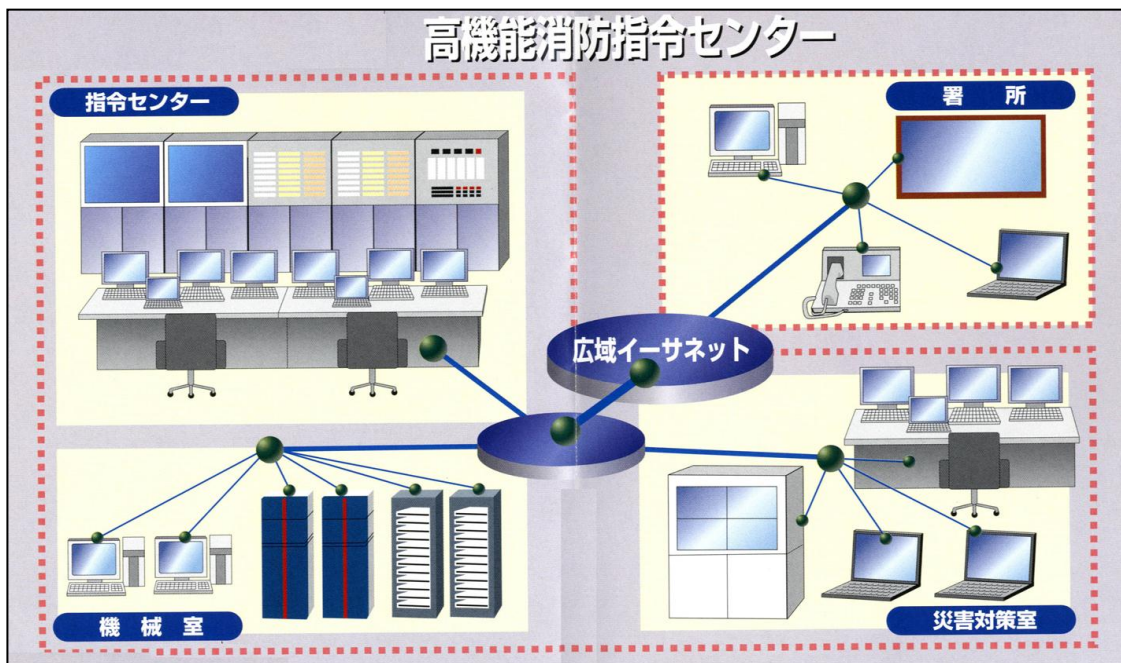
無線回線制御装置	1式	デジタル無線設備用		
固定局	VSAT地球局	1局	鳥取県地域衛星通信ネットワーク	
	多重	消防局	1局	マイクロ7.5G(デジタル併用)
		古峠山局	1局	マイクロ7.5G(デジタル併用)
	デジタル	鬼林山局	1局	簡易マイクロ(FWA18G)
		一息坂局	1局	簡易マイクロ(FWA18G)
		生山局	1局	簡易マイクロ(FWA18G)
		中山局	1局	簡易マイクロ(FWA18G)
基地局	アナログ	消防局	1局	
		古峠山局	1局	*デジタル併設
		中山局	1局	
		日南局	1局	
	デジタル	古峠山局	1局	
		鬼林山局	1局	
陸上移動局	消防波(アナログ、デジタル活動波)		56局	車載型(デュアル53局 デジタル1局 アナログ2局)
		救急波(アナログ、デジタル活動波)	14局	車載型(デュアル14局)
	携帯局	1W	77局	携帯型(デジタル無線機)
		5W	78局	携帯型(アナログ77局) 可搬型(デジタル1局)
	10W	19局	可搬型(アナログ4局 デュアル15局)	

# 鳥取県西部消防局通信系統図





指令センター全景



高機能消防指令センター ネットワーク構成イメージ



# 予 防







# 予 防

## (1) 防火対象物の現況

平成26年3月31日現在

種 別	(1)		(2)				(3)		(4)	(5)		(6)				(7)	(8)
	イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ		
対 象 物 種 別	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	公会堂又は集会場	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等	遊技場又はダンスホール	性風俗関連特殊営業店舗	カラオケボックス等	待合、料理店その他これらに類するもの	飲食店	百貨店、マーケット、店舗又は展示場	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	寄宿舎、下宿又は共同住宅	病院、診療所、又は助産所	老人短期入所施設、養護老人ホーム	老人デイサービスセンター等	幼稚園、特別支援学校	小中学校、高校、大学、各種学校等	図書館、博物館、美術館等
延べ面積150㎡以上のもの	18	132		25		6	1	192	384	196	1,857	181	89	219	24	339	28
防火管理者を選任すべきもの	17	117		25		6	1	191	252	115	174	54	62	126	16	95	14

種 別	(9)		(10)	(11)	(12)		(13)		(14)	(15)	(16)		16の2	16の3	(17)	(18)	
	イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ					
対 象 物 種 別	蒸気浴場、熱気浴場等	イに掲げる以外の公衆浴場	停車場、船舶又は航空機の発着場	神社、寺院、教会等	工場又は作業場	映画スタジオ又はテレビスタジオ	自動車車庫又は駐車場	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	倉庫	前項号に該当しない事業所	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	イに掲げる以外の複合用途防火対象物	地下街	準地下街	重要文化財・重要美術品等の建築物	延長五十メートル以上のアーケード	合 計
延べ面積150㎡以上のもの	16	7	3	159	1,049		126	8	869	1,097	458	149			37	9	7,678
防火管理者を選任すべきもの	5	3	2	76	80				13	196	284	20			1		1,945

## (2) 各種届出事務処理の状況

項目	消防計画作成（変更）届出書	防火管理者選任（解任）届出書	防火対象物点検結果報告書	防火対象物点検報告特例認定申請書	防災管理点検結果報告書	煙火打上げ仕掛け届出書	圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱開始届出書	消防用設備等点検結果報告書	炉・厨房・ボイラー等設置届	変・発・蓄電池等設置届	少量危険物・指定可燃物等の貯蔵又は取扱開始届出書	防火対象物使用開始届
受理数	572	456	135	8	7	41	212	3,166	70	172	129	216

## (3) 防火対象物の用途別査察状況

査察件数

用途	査察件数		
1 イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	5	
1 ロ	公会堂又は集会場	31	
2 ロ	遊技場又はダンスホール	12	
2 ニ	カラオケボックス等	7	
3 ロ	飲食店	113	
4	百貨店、マーケット、店舗又は展示場	130	
5 イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	30	
5 ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	984	
6	イ	病院、診療所、又は助産所	103
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム	28
	ハ	老人デイサービスセンター等	93
	ニ	幼稚園、特別支援学校	10
7	小中学校、高校、大学、各種学校等	137	
8	図書館、博物館、美術館等	19	
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	14
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	3
10	停車場、船舶又は航空機の発着場	2	
11	神社、寺院、教会等	61	
12	工場又は作業場	420	
13	イ	自動車車庫又は駐車場	60
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	1
14	倉庫	346	
15	前項号に該当しない事業所	394	
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	263
	ロ	イに掲げる以外の複合用途防火対象物	111
17	重要文化財・重要美術品等の建築物	32	
18	延長五十メートル以上のアーケード	4	
合計		3,413	

## (4) 建築同意の用途別事務処理状況

平成25年4月1日～平成26年3月31日

区 分		合 計	新築	増築	その他	
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等	0	0	0	0
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	4	4	0	0
2	イ	キ ャ バ レ ー 等	0	0	0	0
	ロ	遊 技 場 等	0	0	0	0
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗	0	0	0	0
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	0	0	0	0
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等	0	0	0	0
	ロ	飲 食 店	6	6	0	0
4		百 貨 店 ・ 店 舗 等	16	13	2	1
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	0	0	0	0
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎	5	4	0	1
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	9	2	5	2
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	10	4	6	0
	ハ	老 人 デ ィ サ ー ビ ス 等	16	6	5	5
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	2	0	2	0
7		学 校	7	3	4	0
8		図 書 館 ・ 美 術 館	0	0	0	0
9	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 等	0	0	0	0
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場	2	0	2	0
10		車 両 の 停 車 場 等	0	0	0	0
11		神 社 ・ 寺 院 等	5	2	2	1
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	28	14	12	2
	ロ	テ レ ビ ス タ ジ オ 等	0	0	0	0
13	イ	車 庫 ・ 駐 車 場	4	2	2	0
	ロ	飛 行 機 の 格 納 庫	0	0	0	0
14		倉 庫	17	12	3	2
15		前 各 号 に 該 当 し な い 事 業 所	42	28	13	1
16	イ	特 別 防 火 対 象 物 が 存 する 複 合 用 途 防 火 対 象 物	11	6	4	1
	ロ	イ 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	1	1	0	0
17		重 要 文 化 財	0	0	0	0
18		50m 以 上 の ア ー ケード	0	0	0	0
		対 象 物 外	21	18	3	0
一 般 住 宅		専 用 住 宅	51	38	13	0
		長 屋 住 宅	63	63	0	0
合 計			320	226	78	16

(5) 危険物製造所等の地区別施設件数

平成26年3月31日現在

施設 市町村名	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
			屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売	移 送	一 般
米 子 市	472	1	68	22	12	136		65	9	92	1		66
境 港 市	399		22	69	4	58		133	41	42		1	29
日 吉 津 村	10		1			1		1	1	6			
大 山 町	131		5	5	5	71		11	4	18			12
南 部 町	39		7	2	1	13		6		6			4
伯 耆 町	84		4	4	3	44		5		14			10
日 南 町	42		2	3	1	11		7	1	14			3
日 野 町	28		2	2	1	11		2	1	4			5
江 府 町	26		1			8		3		8			6
合 計	1,231	1	112	107	27	353		233	57	204	1	1	135

(6) 危険物製造所等の事務処理件数

施設 区 分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
			屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売	移 送	一 般
設 置 許 可	22		1	3		5		9		1			3
変 更 許 可	88			8		7		17		37			19
設 置 完 成 検 査	20		1	2		5		9		1			2
変 更 完 成 検 査	87			8		8		17		36			18
仮 使 用 承 認	55			5		2				35			13
完 成 検 査 前 検 査	72												
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱	71												
品 名 ・ 数 量 等 変 更 届	7												
譲 渡 引 渡 届	5												
設 置 者 等 変 更 届	56												
廃 止 届	49												
保 安 監 督 者 選 解 任 届	67												
使 用 休 止 再 開 届	9												

(7) 危険物施設査察状況

製造所	貯蔵所							取扱所				計		
	屋 貯 蔵 内 所	屋 タ ン 貯 蔵 外 タ ン 貯 蔵 所	屋 タ ン 貯 蔵 内 タ ン 貯 蔵 所	地 タ ン 貯 蔵 所	下 タ ン 貯 蔵 所	簡 タ ン 貯 蔵 所	易 タ ン 貯 蔵 所	移 タ ン 貯 蔵 所	動 タ ン 貯 蔵 所	屋 貯 蔵 外 所	給 取 扱 所		油 取 扱 所	移 送 取 扱 所
	25	28	8	104			14	5		79			46	309

(8) 火薬類取締法関係

	区 分	件 数
許 可	譲 渡 許 可	4
	譲 受 許 可	4
	譲 受 ・ 消 費 許 可	14
	煙 火 消 費 許 可	45
	合 計	67

	区 分	件 数	
立 入 検 査	消 費 場 所	採 石	16
		土 木	
		そ の 他	2
	煙 火 消 費 許 可	45	
	火 薬 庫 外 貯 蔵 場 所	9	
	合 計	72	

(9) 液化石油ガス法関係

処 理 内 容	件 数
液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届 受 理	13



# 火災概況







# I 火災概況

(平成25年1月～12月)

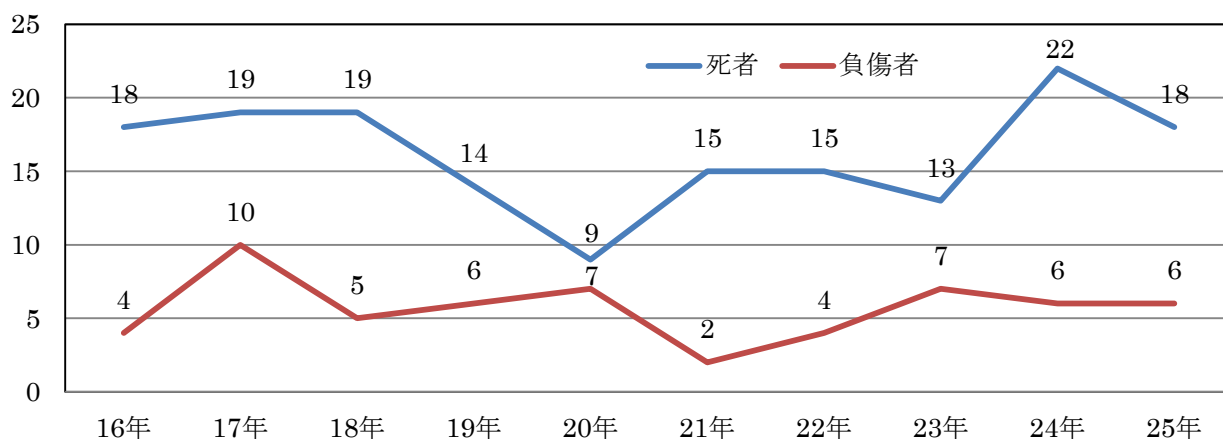
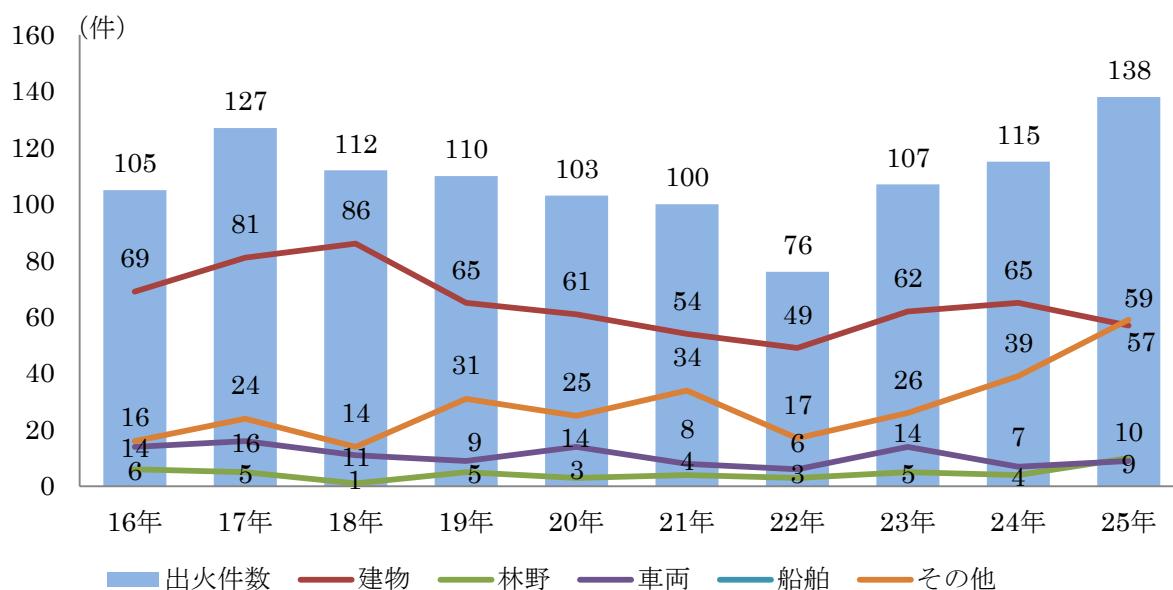
## 1 火災の現況と最近の動向

この10年間の出火件数をみると、年間平均出火件数は109.3件で、西部広域消防発足以来最も少ない76件を記録した平成22年と近年で一番多い平成25年の138件を除き、おおむね平均値に近い件数となっています。

平成25年中の火災件数は138件と前年に比べ23件（20%）の増加となっています。

また、火災による死者数は過去10年間の平均は5.7人で、平成17年に10人の最多を記録した後、平成21年には2人まで減少しましたが、平成25年は前年と同じ6人の死者が発生しています（別図I-1、別表I-1参照）。

別図I-1 火災件数の推移と傾向図



別表 I - 1 火災概況比較表

区 分 (単 位)	平成24年	平成25年	増 減	増 減 率
出 火 件 数 (件)	115	138	23	20.0
建物火災	65	57	-8	△ 12.3
林野火災	4	10	6	150.0
車両火災	7	9	2	28.6
船舶火災	0	3	3	—
その他火災	39	59	20	51.3
焼 損 棟 数 (棟)	97	88	-9	△ 9.3
全 焼	22	28	6	27.3
半 焼	3	3	0	0.0
部 分 焼	29	31	2	6.9
ぼ や	43	26	-17	△ 39.5
建物焼損床面積 (㎡)	4,422	2,740	-1,682	△ 38.0
建物焼損表面積 (㎡)	143	250	107	74.8
林野焼損面積 (a)	17	143	126	741.2
死 者 (人)	6	6	0	0.0
負 傷 者 (人)	22	18	-4	△ 18.2
り 災 世 帯 数 (世帯)	56	46	-10	△ 17.9
全 損	17	12	-5	△ 29.4
半 損	2	3	1	50.0
小 損	37	31	-6	△ 16.2
り 災 人 員 (人)	125	130	5	4.0
損 害 額 (千円)	97,851	108,628	10,777	11.0
建物火災	95,686	102,584	6,898	7.2
林野火災	295	446	151	51.2
車両火災	1,753	4,315	2,562	146.1
船舶火災	0	71	71	—
その他火災	117	1,212	1,095	935.9
爆 発	0	0	—	—
出 火 率 (件/万人)	4.72	5.69	0.96	—

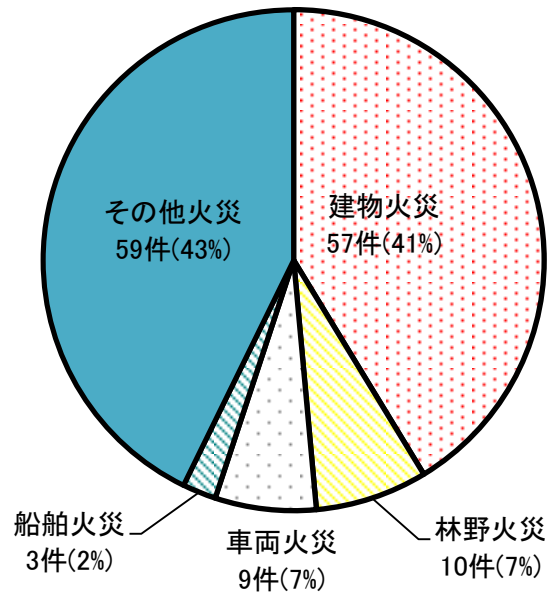
## 2 出火状況

別図 I - 2 火災種別ごとの件数と構成比率

### (1) 建物火災は火災全体の 41%

総出火件数 138 件について、その構成比率をみると、その他火災が全体の 43% で最も高い比率を占め、その次に建物火災が 41% となっています。

(別図 I - 2 参照)



### (2) 建物火災 1 件当たりの損害は増加、焼損面積は減少

建物火災の 1 件当たりの損害額は前年比の 22.2% 増加し、焼損面積は 38% の減少となっています。

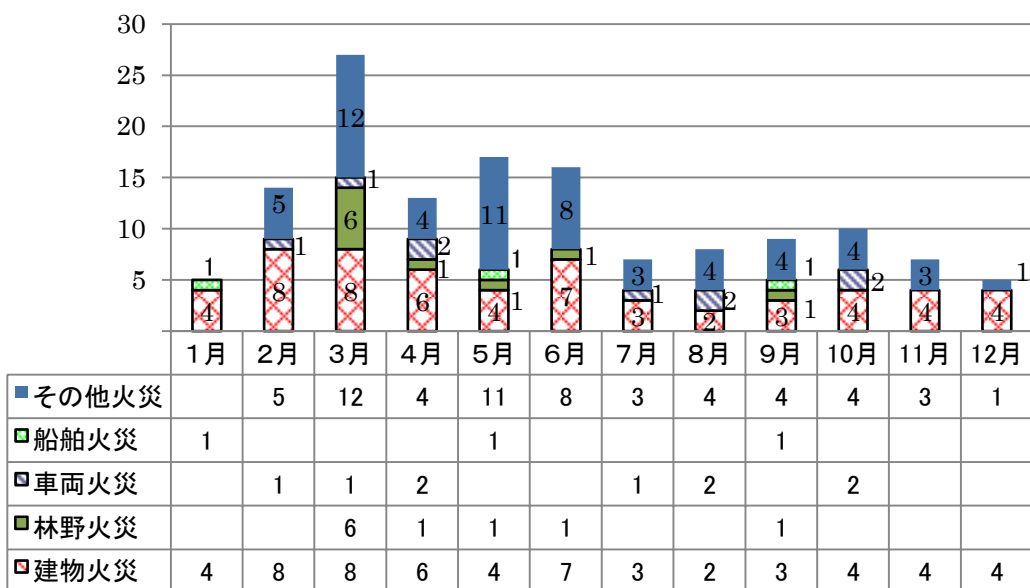
(別表 I - 1 参照)

### (3) その他火災は 2 月から 6 月の間に多く発生

月別の火災種別ごとの出火件数をみると、その他火災については 59 件のうち 2 月から 6 月の 5 ヶ月間で 40 件 (67.8%) 発生しています。出火箇所は田畑、空地、敷地内で 23 件 (58.9%) を占めています。

建物火災は 2 月・3 月の 8 件 (14%) が最多で、8 月の 2 件が最小となっています。(別図 I - 3 参照)

別図 I - 3 月別の火災種別ごと出火件数

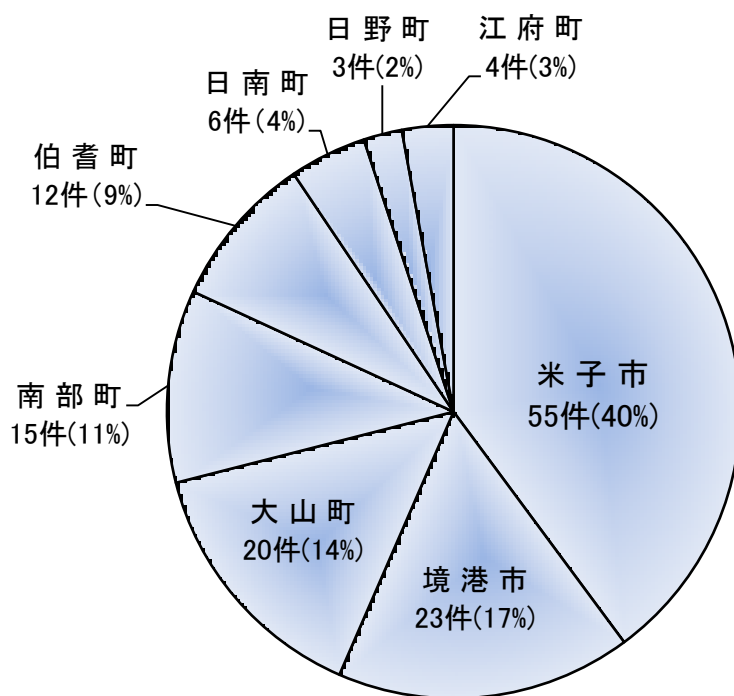


#### (4) 市町村別火災状況

火災件数を市町村別で見ると、米子市が最も多く55件(40%)、次いで境港市23件(17%)、大山町の20件(14%)となっています。最も少なかったのは日吉津村の0件です。(別図I-4参照)

(市町村別火災概況一覧表は別表I-3、I-4については文末に添付)

別図I-4 市町村別火災件数と構成比



### 3 火災による死傷者の状況

#### (1) 死者の状況

火災による死者数は6人で、前年と同じで、火災種別では建物火災による死者が5人(83.3%)となり、1人は車両火災によるものです。

死に至った経過は、逃げ遅れ5人(83.3%)、次いでその他不明1人(16.7%)となっています。

#### (2) 負傷者の状況

負傷者は18人で前年に比べ4人(18.2%)減少しました。

負傷者のうち12人(66.7%)が建物火災で発生し、その他火災で5人発生しています。(別表I-2参照)

別表I-2 火災種別死傷者発生状況

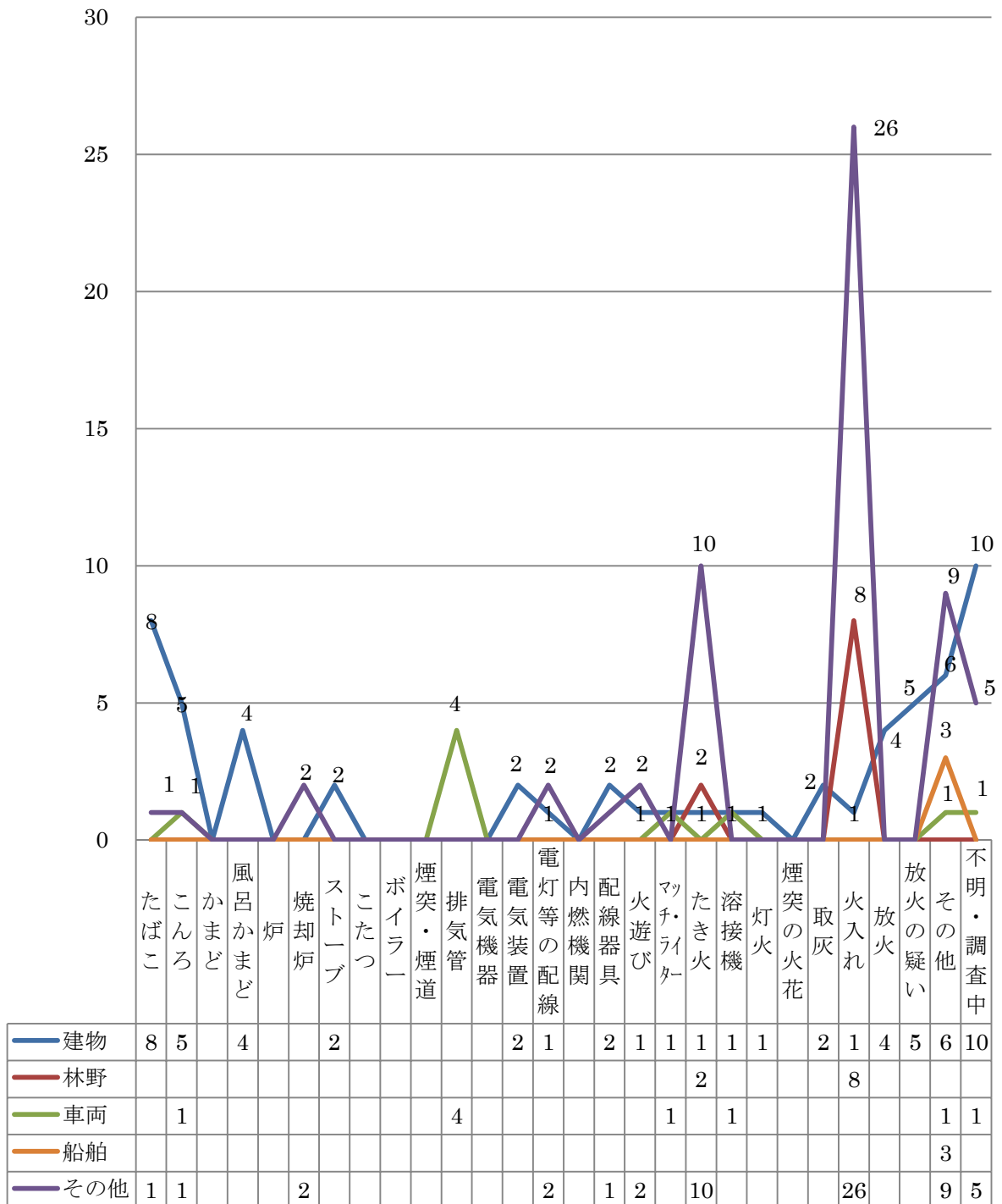
	合計	建物火災						車両火災	林野火災	その他火災
		小計	住宅	併用住宅	共同住宅	飲食店	その他			
死者	6	5	4		1			1		
死者(0~5歳)	0	0								
死者(6~64歳)	2	2	1		1					
死者(65歳~)	4	3	3					1		
負傷者	18	12	9		1		2		1	5

#### 4 出火原因

出火件数 138 件の出火原因を見ると、火入れが 35 件（25.4%）、次いでたき火 13 件（9.4%）、たばこが 9 件（6.5%）、放火又は放火の疑いの合計数が 9 件（6.5%）、となっています。

建物火災の主な原因をみると、放火又は放火の疑い、たばこ、こんろ、風呂かまどなどで、火気の取り扱いの不注意や不始末から発生しています。（別図 I-5 参照）

別図 I-5 火災種別ごとの火災原因



別表 I - 3

市町村別火災状況

(平成25年1月～平成25年12月)

消防本部名 鳥取県西部広域行政管理組合

消防局

市町村名	火災件数				焼損面積		焼損棟数	り災世帯数	り災人員	死傷者		損害額 (千円)		
	合計	前(年)内件数は	建物	林野	車両	船舶				その他	床面積㎡		表面積㎡	林野
米子市	55 (66)	28	1	1	1	25	1,396	152	43	26	72	3	7	57,583
境港市	23 (13)	12		2	3	6	448	43	17	11	36	1	5	18,139
日吉津村	0 (2)													
大山町	20 (16)	8	1	2		9	328	15	17	3	6	1	1	6,297
南部町	15 (5)	2	4	1		8	268	4	84	2	4		1	10,684
伯耆町	12 (6)	5	1	1		6	119	31	5	2	7	1	4	12,296
日南町	6 (2)	2	2	1		1	181	5	17	2	5			3,496
日野町	3 (4)			1		2								133
江府町	4 (1)		2			2			25					
合計	138 (115)	57	10	9	3	59	2,740	250	143	88	46	6	18	108,628

前年同期管内合計

115	65	4	7	39	143	17	97	56	125	6	22	97,851
-----	----	---	---	----	-----	----	----	----	-----	---	----	--------

出火原因 (管内合計)

	合計	たばこ	こんろ	かまど	風呂	炉	焼却炉	ストーブ	こたつ	ボイラー	煙突	排気管	電気機器	電気装置	電灯配線	内燃機関	配線器具	火あそび	マッチ等	たき火	溶接機器	灯火	衝突火花	取灰	火入れ	放火	放火疑	その他	調査中等
平成25年	138	9	7	4	4	2	2	2				4	2	3	3	3	3	3	2	13	2	2	1	3	35	4	5	18	16
平成24年	115	10	10	0	2	0	2	5	0	0	0	3	1	1	3	0	1	3	0	8	0	1	0	1	12	11	1	24	16

過去5年間の市町村別火災件数

鳥取県西部広域行政管理組合

別表I-4

	平成25年				平成24年				平成23年				平成22年				平成21年												
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他					
米子市	55	28	1	1		25	66	42	4	4		20	52	35	4	4		13	35	24	2	3	1	5	54	28	4		22
境港市	23	12	2	3	6		13	6	1	1	6	18	9	3	3	1	1	6	7	4	1	1	2	22	14			8	
日吉津村	0						2	1	1	1		1	1	1	1				1	1			1	0					
大山町	20	8	1	2	9		16	6	1		9	12	4	1	5	2	2	15	9				6	12	7	1	1	3	
南部町	15	2	4	1	8		5	3	1		1	5	3	1	1	1	10	7	1				2	1	1				
伯耆町	12	5	1		6		6	2	2		2	4	2	1	1	3	3		3	3				3	2	1			
日南町	6	2	2	1	1		2	2				8	6	1		1	0	1	8	6	1			5	1	2	2		
日野町	3		1		2		4	2	1	1	1	3	1	1		2	1	1	2	1	1	1		0					
江府町	4		2		2		1	1				4	2	1	1	3	1	1	3	1	1	1	1	3	1	1	1	1	
合 計	138	57	10	9	3	59	115	65	4	7	39	107	62	5	14	26	76	49	3	6	1	17	100	54	4	8	34		





# 救急・救助





## II 救急概況

(平成25年1月～12月)

### 1 救急出動件数、救急搬送状況

平成25年中の救急出動件数は、前年に比べて67件増の10,018件、搬送人員は91人減の9,340人でした。

(別図Ⅱ-1、Ⅱ-2、Ⅱ-3参照)

### 2 市町村別救急活動状況

救急出動件数は増加しましたが搬送人員はやや減少しました。米子市と伯耆町では出場件数が減少しましたがその他の市町村では増加傾向があります。

(別図Ⅱ-4参照)

### 3 傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員では、中等症が4,491人(48.1%)で最も多く、次いで軽症が3,487人(37.3%)となっています。

(別図Ⅱ-5参照)

### 4 年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員では、65歳以上の高齢者が5,622人(60.2%)と最も多くなっています。

(別図Ⅱ-6参照)

### 5 署所別救急活動状況

署所別では、米子消防署の出動件数及び搬送人員がそれぞれ3,954件(39.5%)、3,247人(34.8%)と最も多くなっています。

(別図Ⅱ-7参照)

### 6 月別救急活動状況

月別の出動件数は、12月が911件(9.1%)、続いて11月の909件(9.1%)となっています。

搬送人員は、11月が855人(9.2%)で最も多く、続いて12月の837人(9.0%)となっています。

(別図Ⅱ-8参照)

### 7 現場到着所要時間、収容所要時間

平均現場到着所要時間は7分30秒で前年と変わらず、平均収容所要時間は33分28秒で前年より2分44秒短縮しました。

(別図Ⅱ-9、Ⅱ-10参照)

### 8 応急手当実施状況

心肺停止傷病者286人のうち、家族等により応急手当を受けた人は、152人(53%)でした。

(別図Ⅱ-11参照)

### 9 高度救命処置状況

心肺停止傷病者286人のうち207人が救急救命士による高度救命処置を受け、そのうち26人に回復が見られました。

(別図Ⅱ-12、Ⅱ-13参照)

### 10 救急講習件数の推移

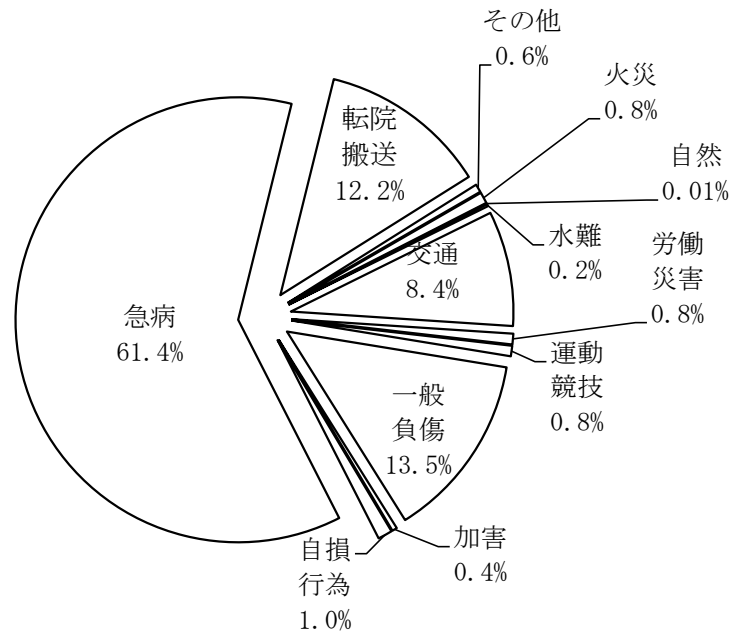
救急講習には、毎年10,000人以上の方が受講され、圏域住民の応急手当に対する意識の高さがうかがえます。

(別図Ⅱ-14、Ⅱ-15、別表Ⅱ-1参照)

### 11 市町村別救急活動の推移

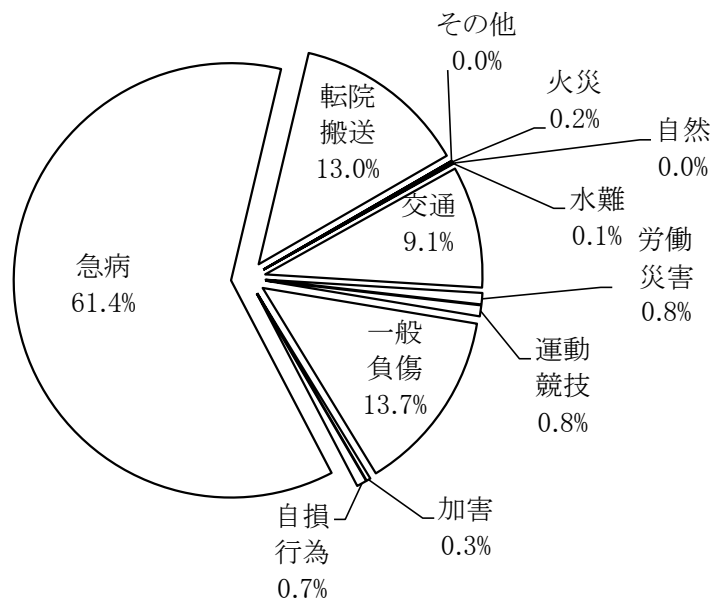
(別表Ⅱ-2参照)

別図Ⅱ-1 事故種別救急出動状況



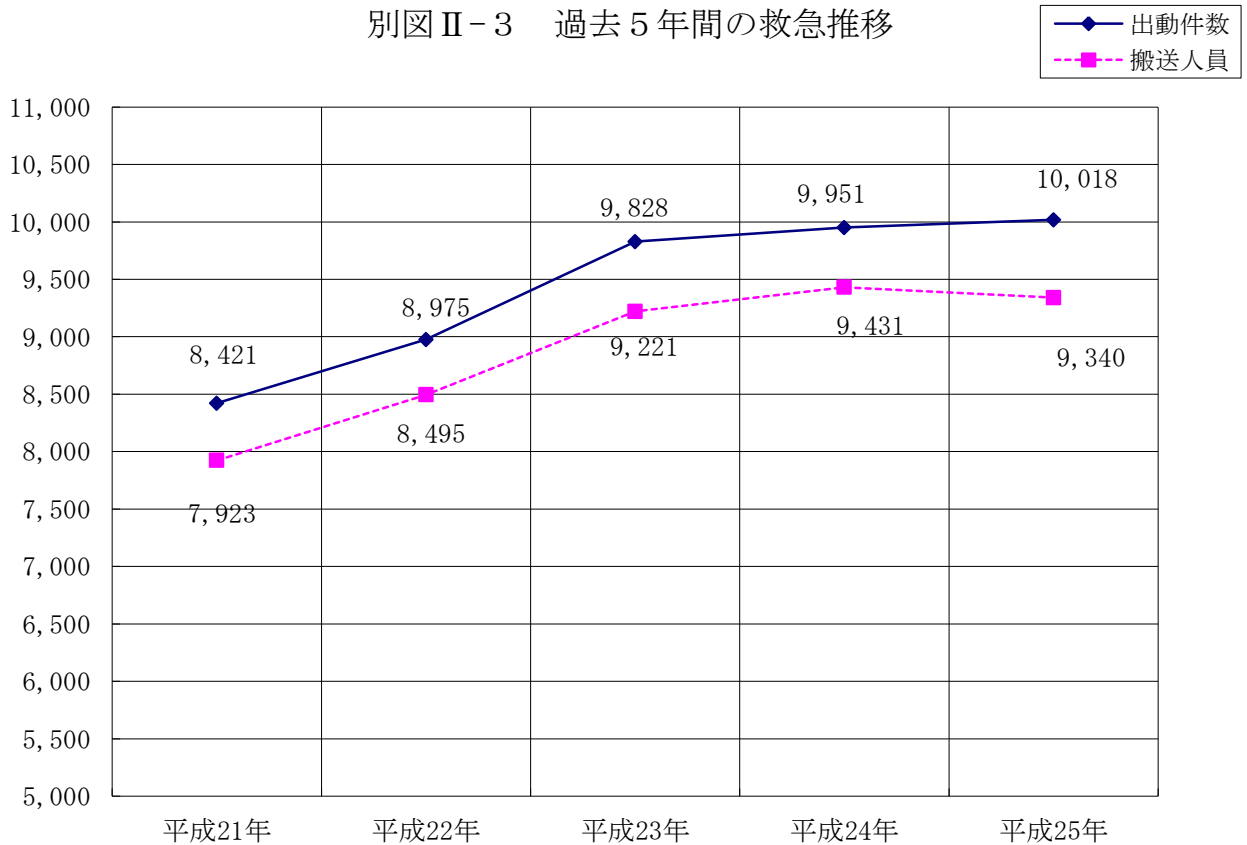
事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
出動件数	82	3	17	837	78	76	1,354	36	105	6,147	1,224	59	10,018

別図Ⅱ-2 事故種別救急搬送状況

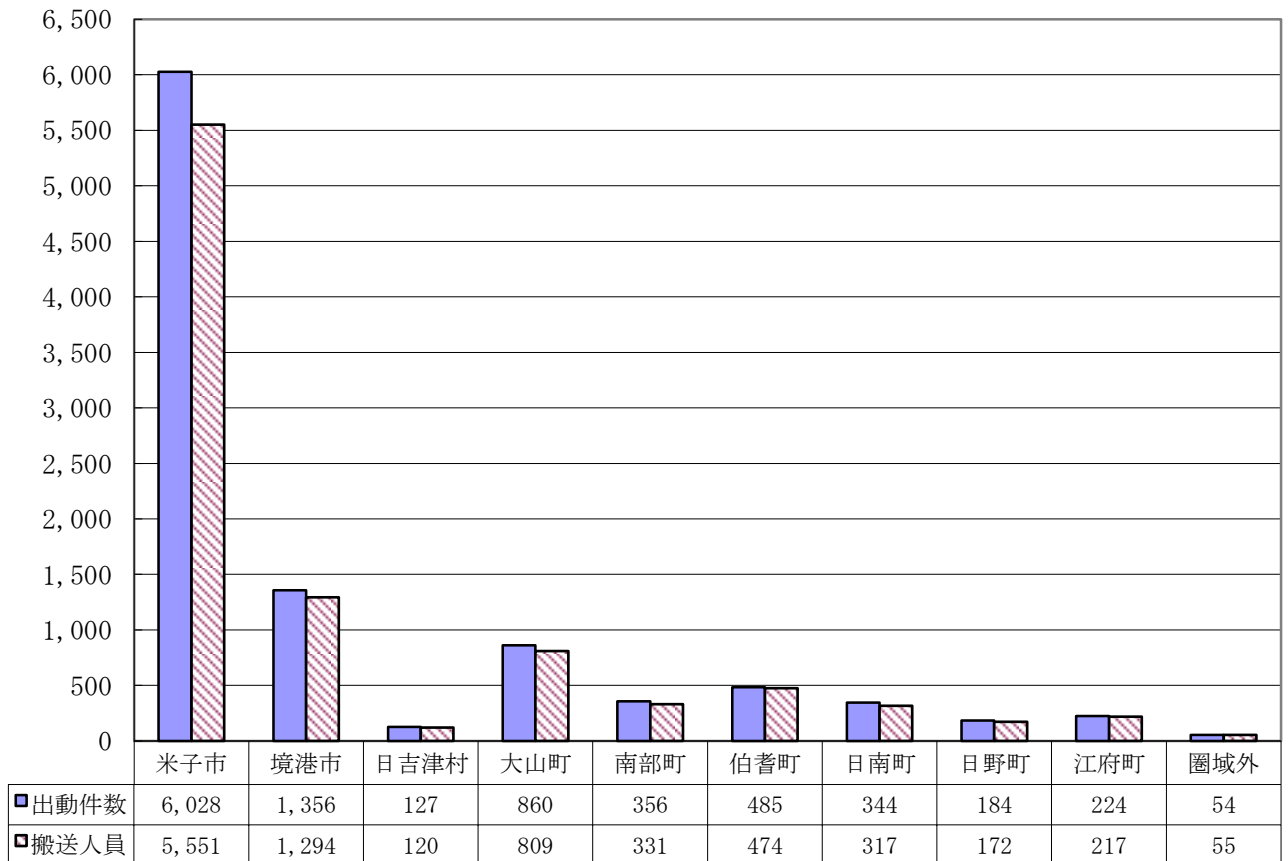


事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
搬送人員	15	2	5	847	79	76	1,275	29	70	5,731	1,211	0	9,340

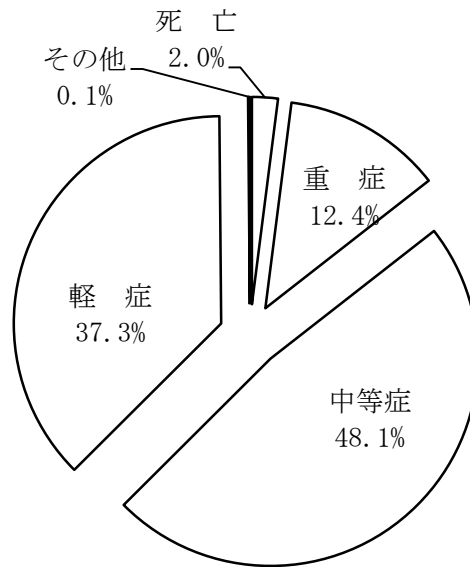
別図Ⅱ-3 過去5年間の救急推移



別図Ⅱ-4 市町村別救急活動状況

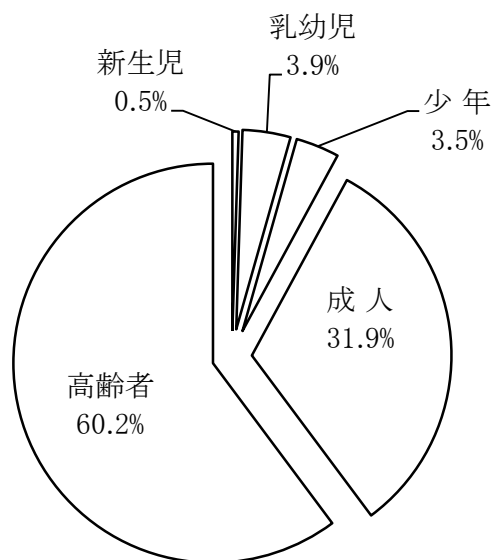


別図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況



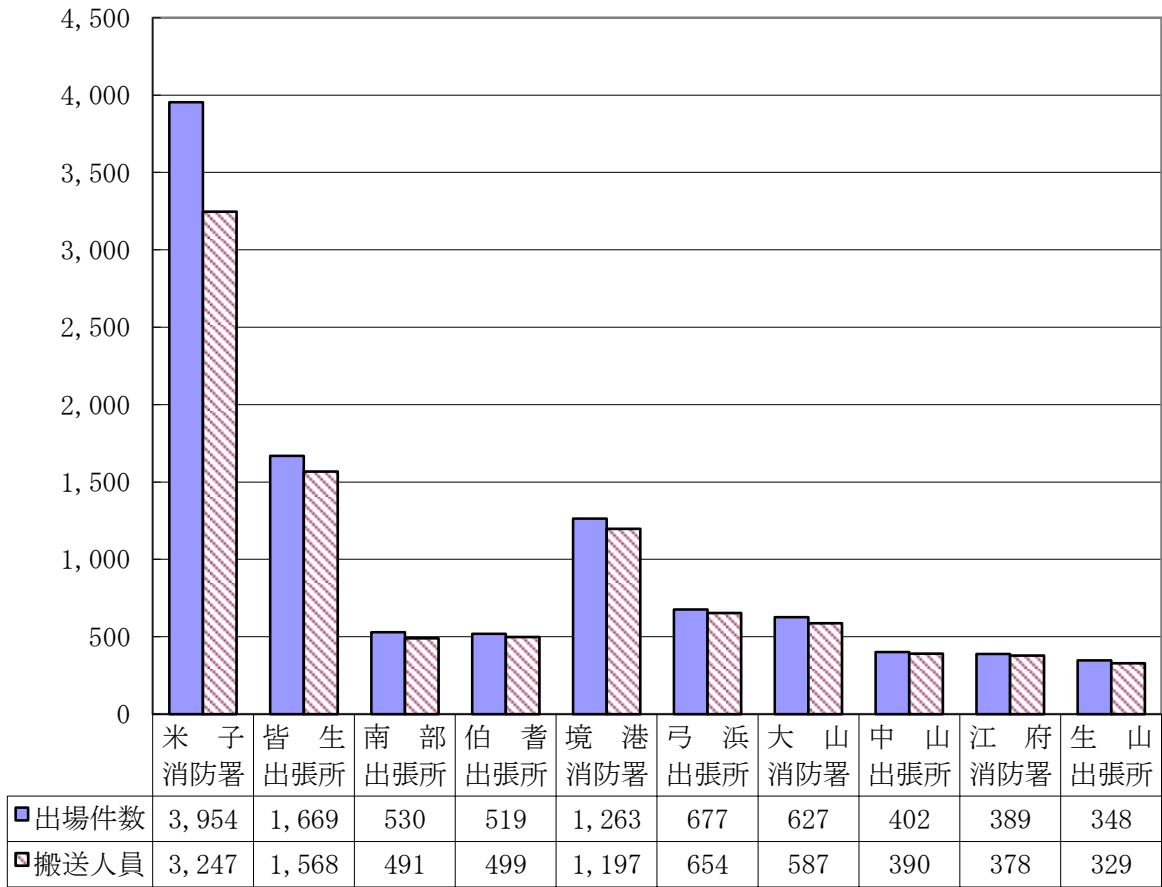
程 度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
搬送人員	188	1,161	4,491	3,487	13	9,340

別図Ⅱ-6 年齢別搬送状況

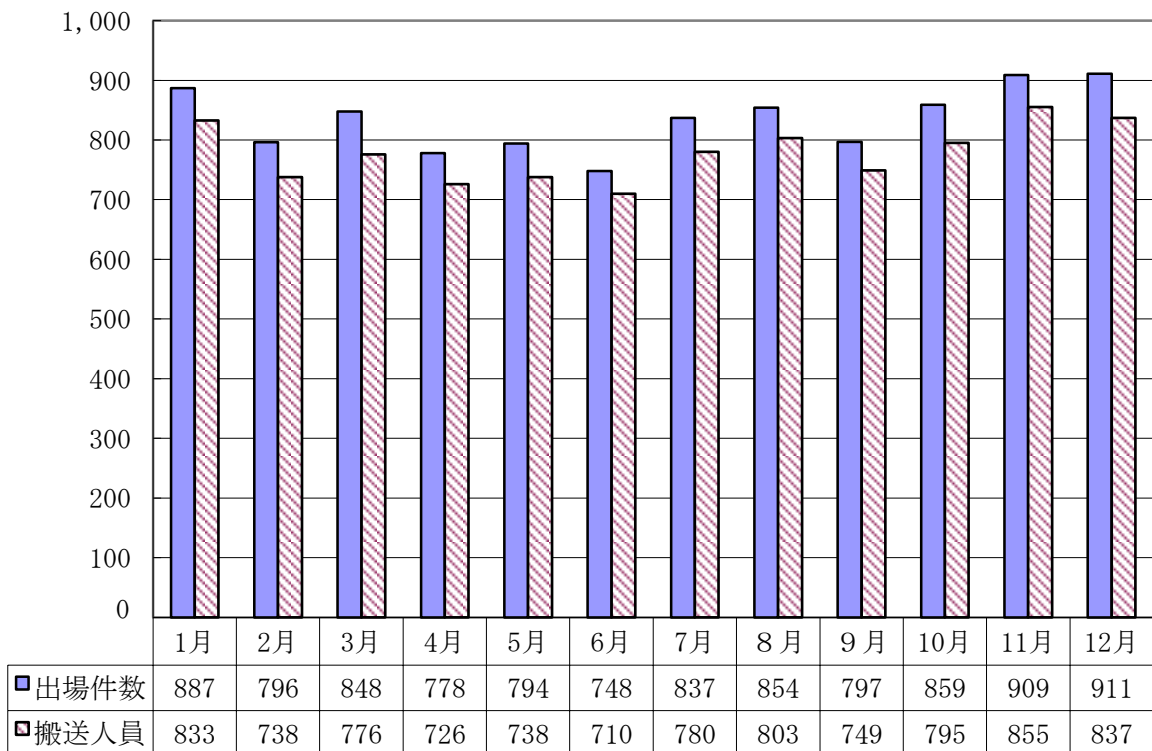


	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合 計
搬送人員	47	363	328	2,980	5,622	9,340

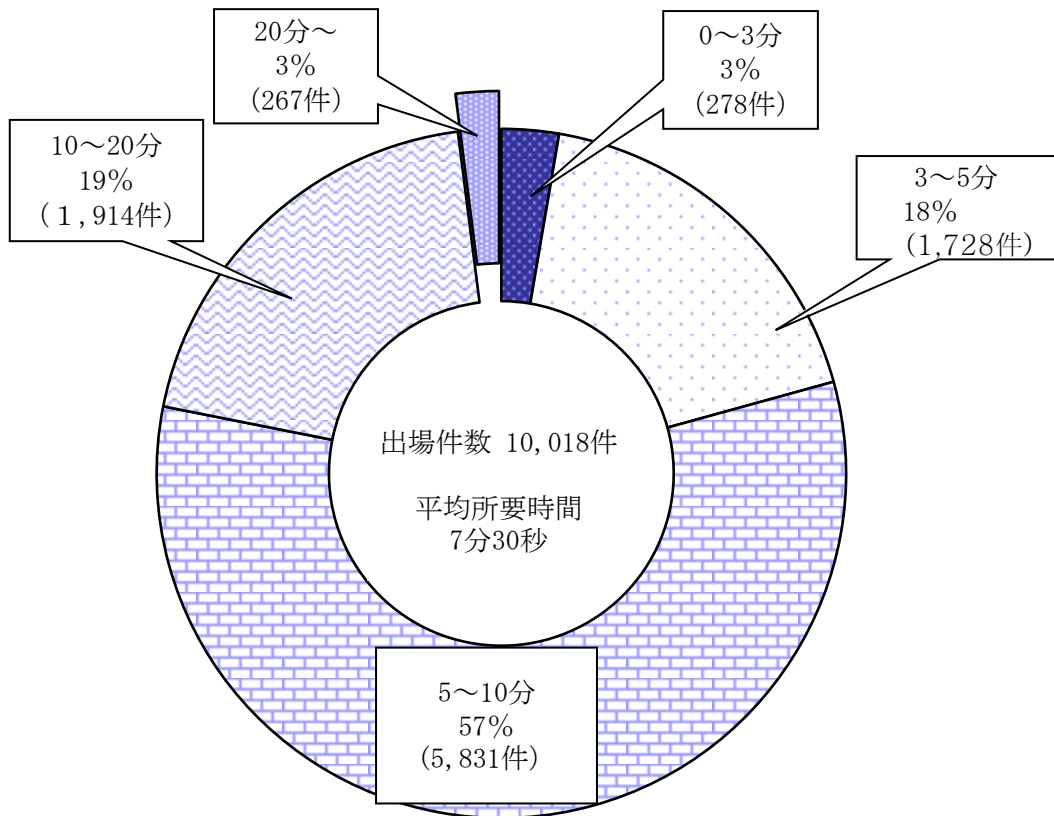
別図Ⅱ-7 署所別救急活動状況



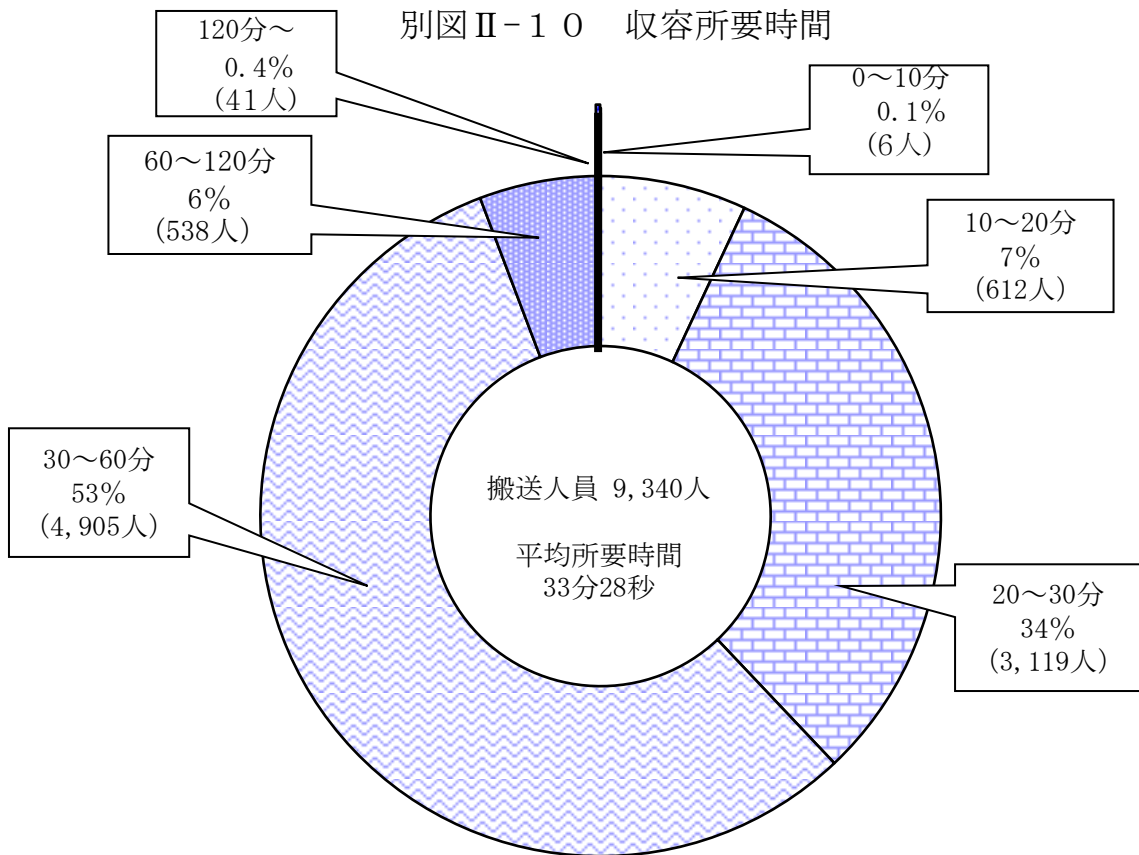
別図Ⅱ-8 月別救急活動状況



別図Ⅱ-9 現場到着所要時間

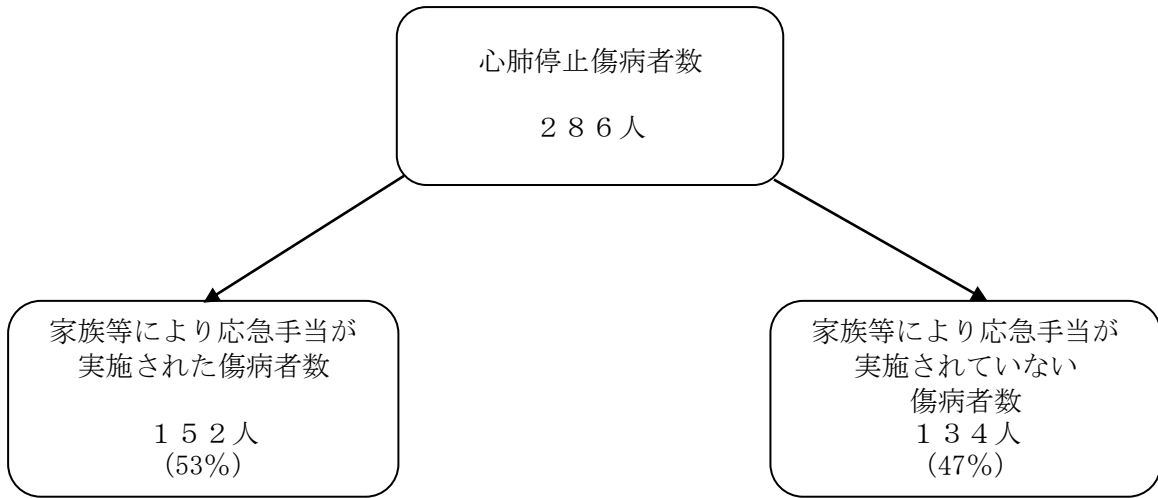


別図Ⅱ-10 収容所要時間

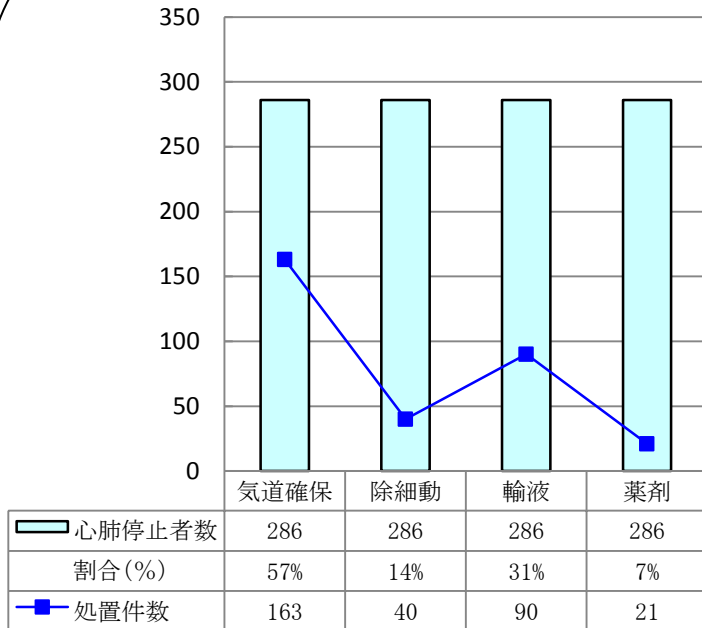




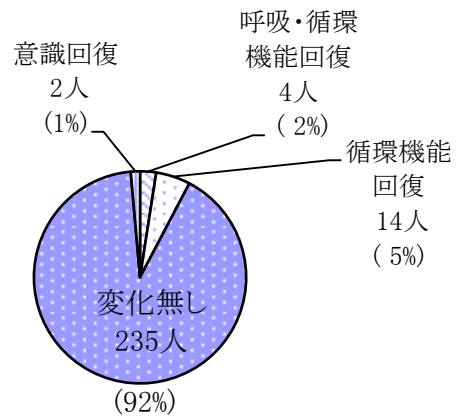
別図Ⅱ-1 1 応急手当実施状況



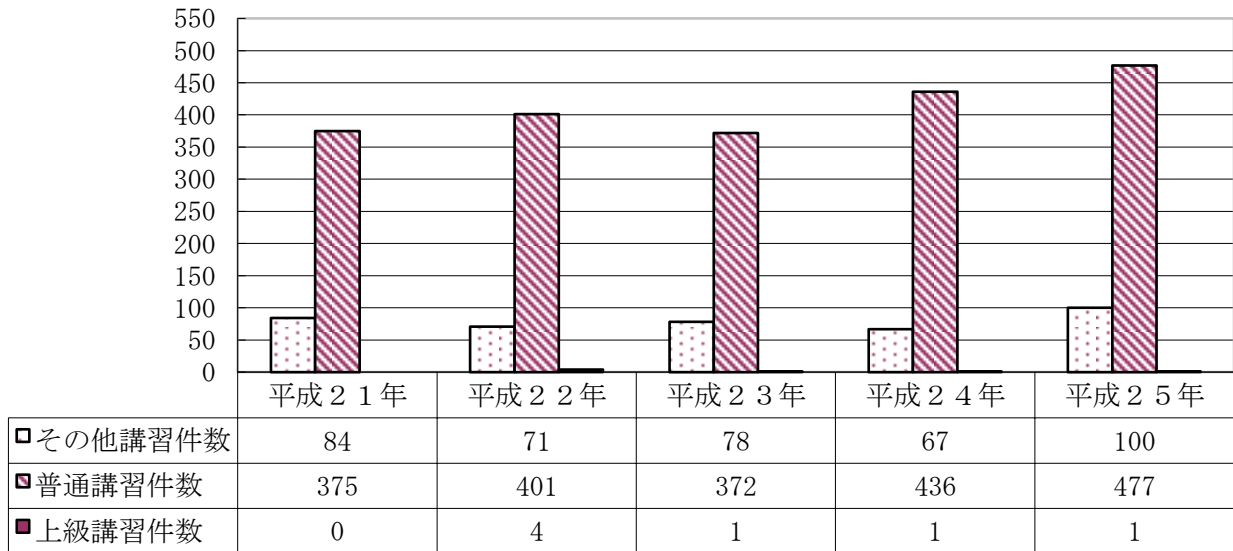
別図Ⅱ-12  
高度救命処置状況



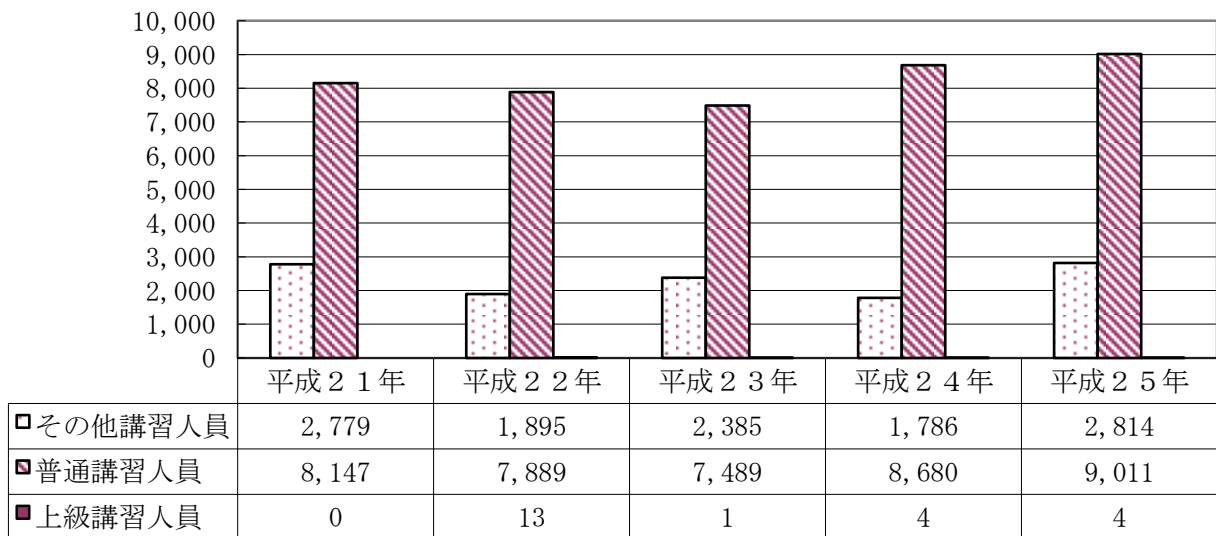
別図Ⅱ-1 3  
医師引き継ぎ時の状況



別図Ⅱ－１４ 過去５年間の救急講習件数推移



別図Ⅱ－１５ 過去５年間の救急講習人員推移



別表Ⅱ－１ 応急手当指導員・普及員の養成

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
応急手当指導員	0	0	0	19	20
応急手当普及員	15	0	1	0	25

別表Ⅱ-2 過去5年間の市町村別救急件数

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
米子市	5,019	5,407	5,817	6,092	6,028
境港市	1,105	1,143	1,357	1,344	1,356
日吉津村	120	145	156	119	127
大山町	711	729	836	766	860
南部町	290	297	365	360	331
伯耆町	380	442	447	435	474
日南町	351	362	370	349	344
日野町	168	204	177	179	184
江府町	225	179	208	217	224
圏域外	23	31	54	48	54
合計	7,923	8,495	9,221	9,341	9,340

### Ⅲ 救助概況

(平成25年1月～12月)

#### 1 事故種別救助出動状況

救助出動件数は152件あり、そのうち交通事故が68件(44.7%)、その他の事故が41件(27.0%)、火災が25件(16.4%)、水難事故が9件(5.9%)、建物等による事故が6件(3.9%)、機械による事故が3件(2.0%)等の順となっています。

(別図Ⅲ—1参照)

#### 2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は91件あり、そのうち交通事故が34件(37.3%)、火災が25件(27.5%)、その他の事故が23件(25.3%)、水難事故が4件(4.4%)、建物等による事故が4件(4.4%)、機械による事故1件(1.1%)等の順となっています。

(別図Ⅲ—2参照)

#### 3 事故種別救助人員状況

救助活動により救助された人員は65人あり、そのうち交通事故が35人(53.8%)と最も多く、次いでその他の事故が23人(35.4%)、建物等による事故4人(6.2%)、水難事故が2人(3.1%)、機械による事故が1人(1.5%)等となっています。

(別図Ⅲ—3参照)

#### 4 管轄別救助活動状況

消防署の管轄別に出動件数を見ると、米子消防署が77件(50.3%)と最も多く、次いで境港消防署が24件(15.7%)、大山消防署が31件(20.3%)、江府消防署が21件(13.7%)の順となっています。

(別図Ⅲ—4参照)

#### 5 市町村別救助活動状況

市町村別に救助活動状況を比較して見ると、出動件数、活動件数、救助人員ともに、米子市が最も多く出動件数57件(37.5%)、次いで大山町が30件(19.7%)、境港市が16件(10.5%)、伯耆町が11件(7.2%)、日南町が8件(5.3%)の順となっており、他米子道に10件、山陰道に7件出動しています。

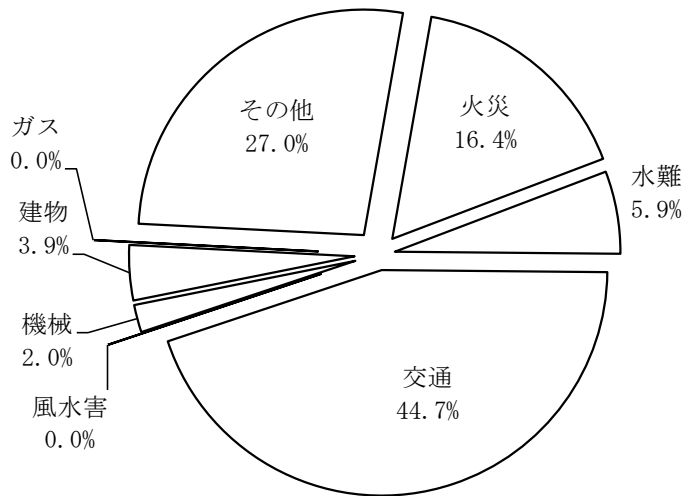
(別図Ⅲ—5参照)

#### 6 月別救助活動状況

月別の救助出動件数を見ると、11月が18件(11.8%)と最も多く、次いで3月と6月が17件(11.1%)、9月が15件(9.8%)等の順となっています。

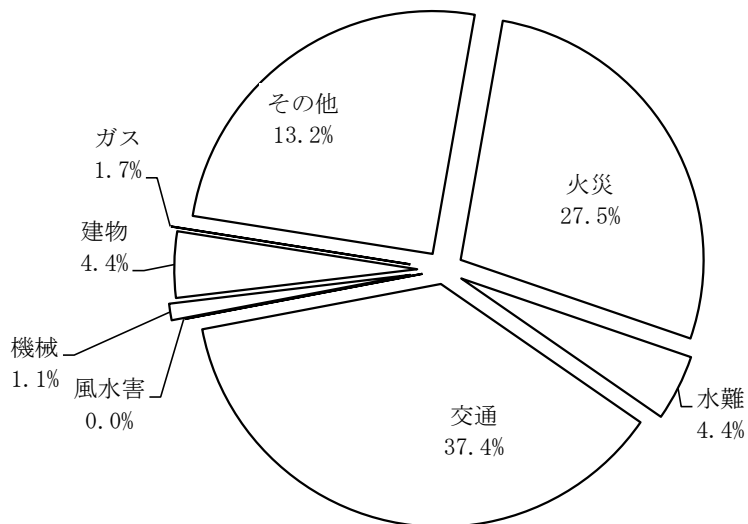
(別図Ⅲ—6参照)

別図Ⅲ-1 事故種別救助出動状況



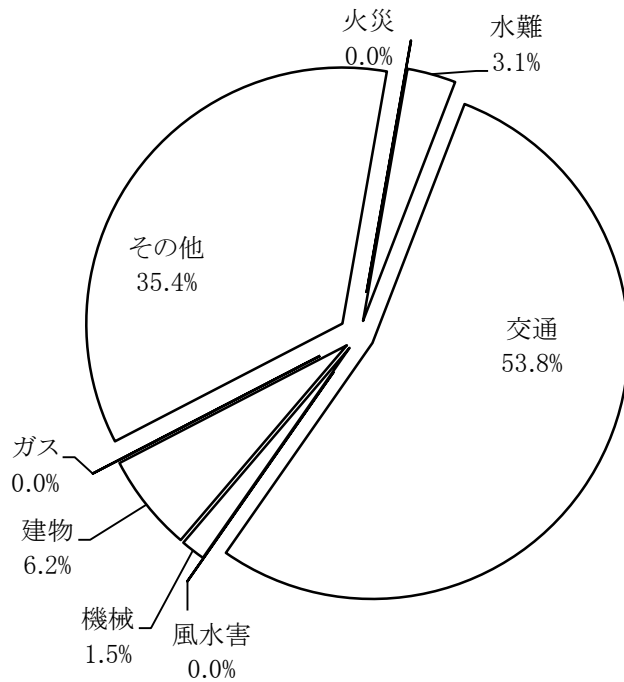
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出場件数	25	9	68	0	3	6	0	0	41	152

別図Ⅲ-2 事故種別救助活動状況



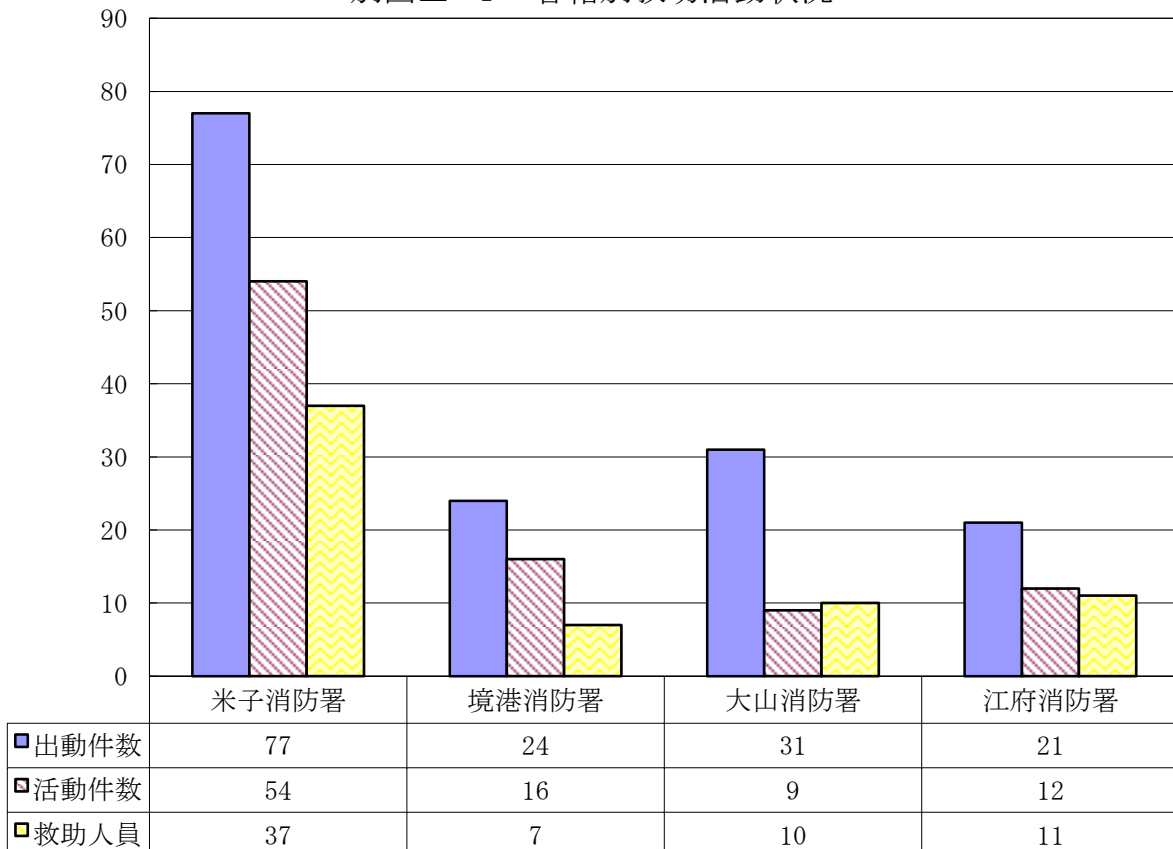
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	25	4	34	0	1	4	0	0	23	91

別図Ⅲ-3 事故種別救助人員状況

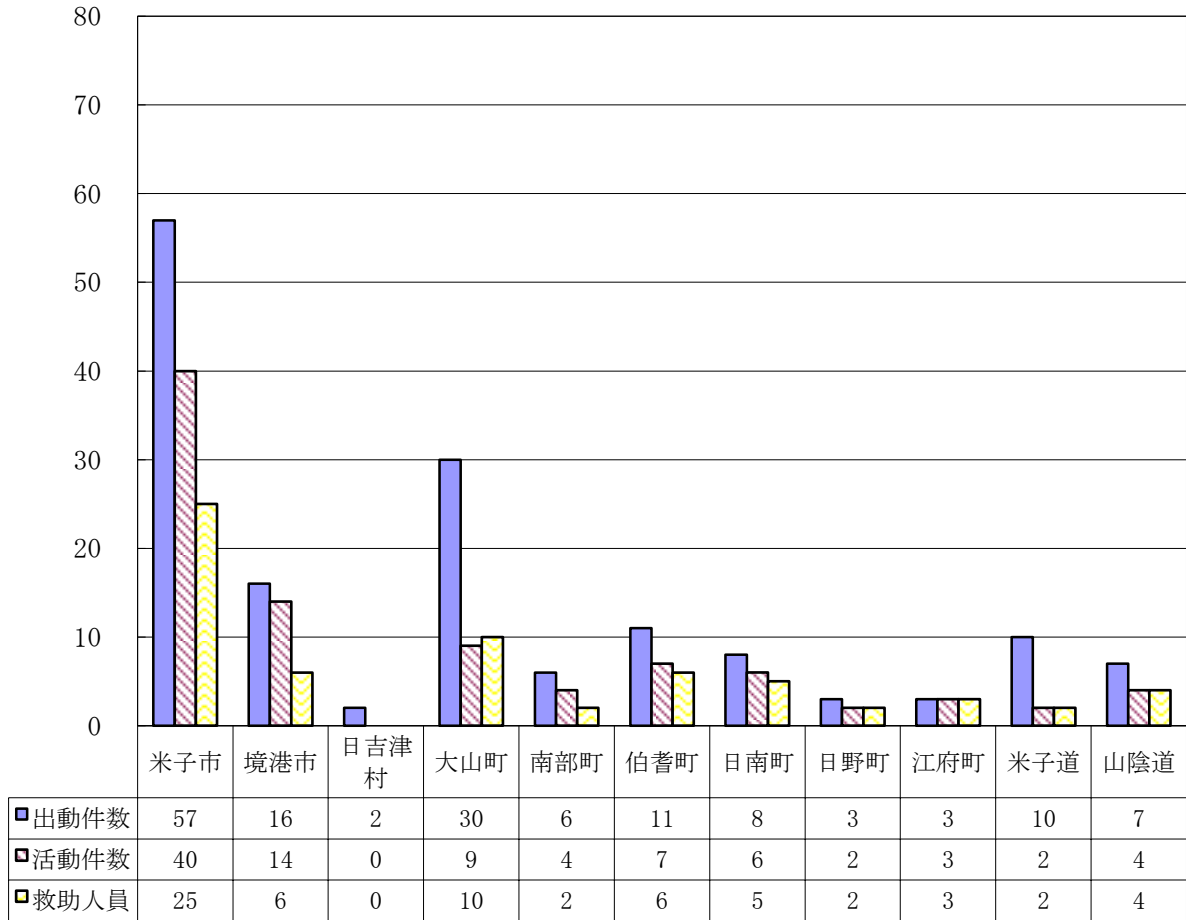


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	0	2	35	0	1	4	0	0	23	65

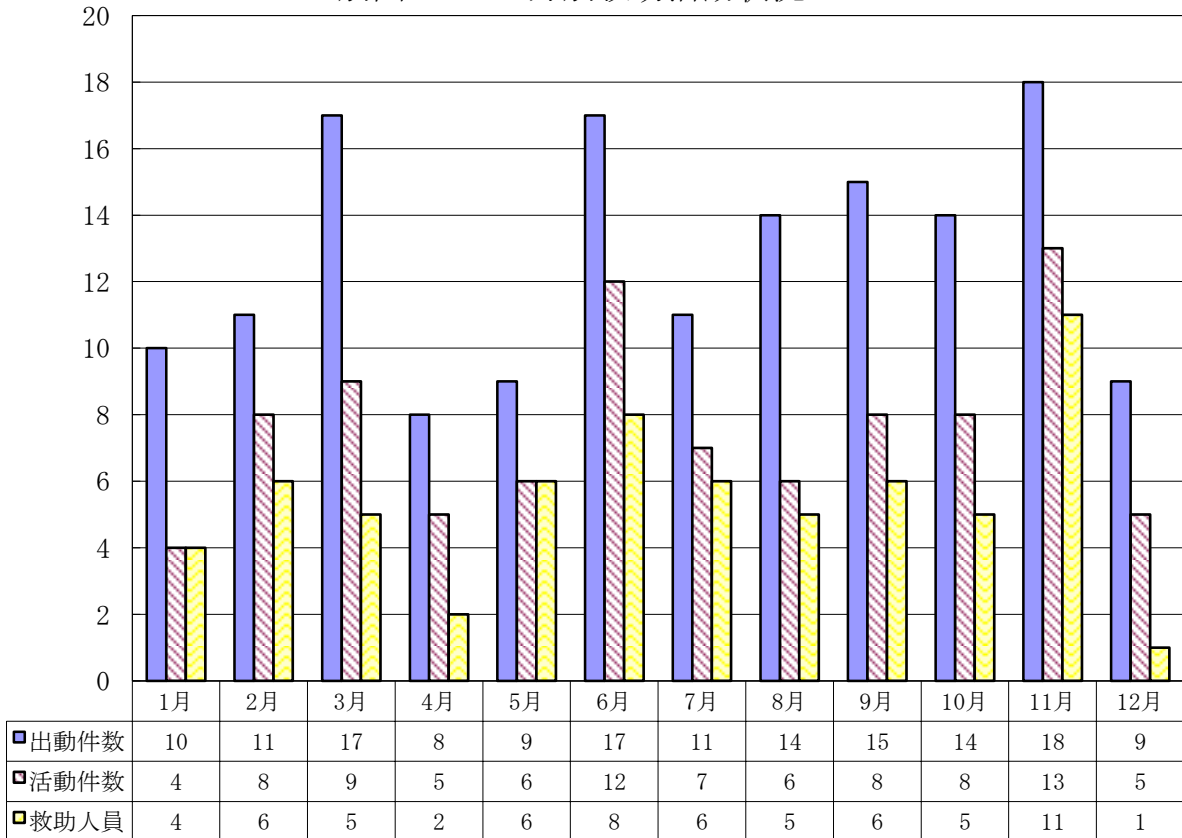
別図Ⅲ-4 管轄別救助活動状況



別図Ⅲ-5 市町村別救助活動状況



別図Ⅲ-6 月別救助活動状況







# 119番着信概況





## IV 119番着信概況

(平成25年1月～12月)

### 1 着信件数の概況

平成25年中の119番通報は、総着信件数13,862件で昨年に比べ504件(3.6%増)多くなっています。1ヶ月平均にすると約1,155件、1日平均では約38件の着信となります。通報種別としては、救急が最も多く9,708件(70.0%)でした。火災は217件(1.6%)、救助72件(0.5%)、警戒129件(0.9%)、間違い817件(5.1%)、通報訓練等1,669件(12.0%)、病院などに関する問い合わせ等1,124件(8.1%)となっており、悪戯と思われるものが126件(1.2%)でした。(別表IV-1参照)

### 2 月別の119番着信状況

月別で着信件数の最も多かったのは12月の1,247件、最も少なかったのは4月の1,019件でした。救急通報で最も多かったのは12月の884件、最も少なかったのは6月の719件で、月平均約809件でした。火災通報で最も多かったのは3月の50件、最も少なかったのは1月の3件で、月平均約18件でした。(別表IV-2参照)

### 3 電話種別による119番着信状況

電話種別ごとに着信件数を見ますと、固定電話5,999件で431件の減、IP電話3,252件で328件増、携帯電話4,611件で607件の増加でした。固定電話からの通報の減少、IP電話、携帯電話からの通報の増加傾向は近年継続して見られる傾向です。

災害別に電話種別による通報状況を見ると、火災、救助、警戒など衆人に発見されやすいものについては携帯電話での通報比率が約60%と高く、救急など屋内での発生が多いものについては固定電話とIP電話での通報比率が約70%と高くなっています。(別表IV-3、IV-4参照)

### 4 携帯電話からの着信状況

携帯電話からの119番通報は4,611件で、全着信件数の約33%でした。また、携帯電話からの問合せ、間違いなどの通報が多くみられます。

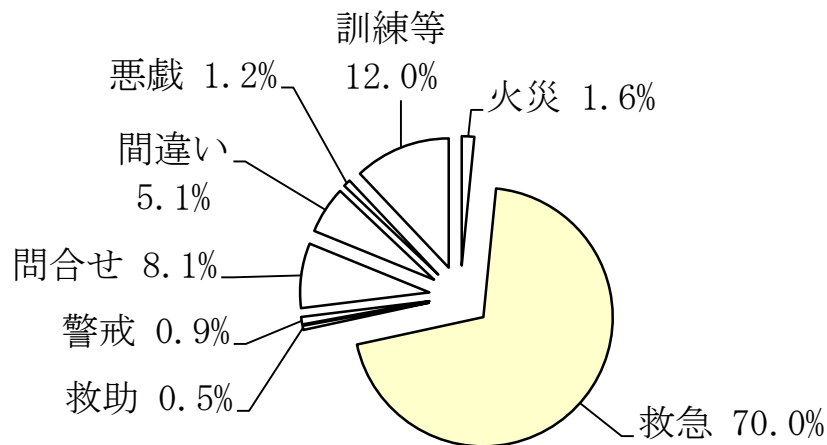
隣県などの管轄地区以外からの携帯電話による通報を、他の消防機関へ転送処理した件数は42件で、逆に他の消防機関から転送受信した件数は33件ありました。(別表IV-5、IV-6参照)

### 5 時間帯別119番通報の着信状況

時間帯別に119番通報の着信比率を見ると、一般的な活動時間帯(午前8時～午後9時台)では全体の約79%で、睡眠時間帯(午後10時～午前7時台)では約21%でした。(別図IV-7参照)

別表Ⅳ-1 119番着信件数

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
平成 21 年	193	8,126	62	102	1,110	766	139	1,311	11,809
平成 22 年	159	8,663	54	102	1,206	769	107	1,662	12,722
平成 23 年	300	9,435	57	116	1,301	693	162	1,651	13,715
平成 24 年	199	9,564	74	89	1,000	616	120	1,696	13,358
平成 25 年	217	9,708	72	129	1,124	817	126	1,669	13,862

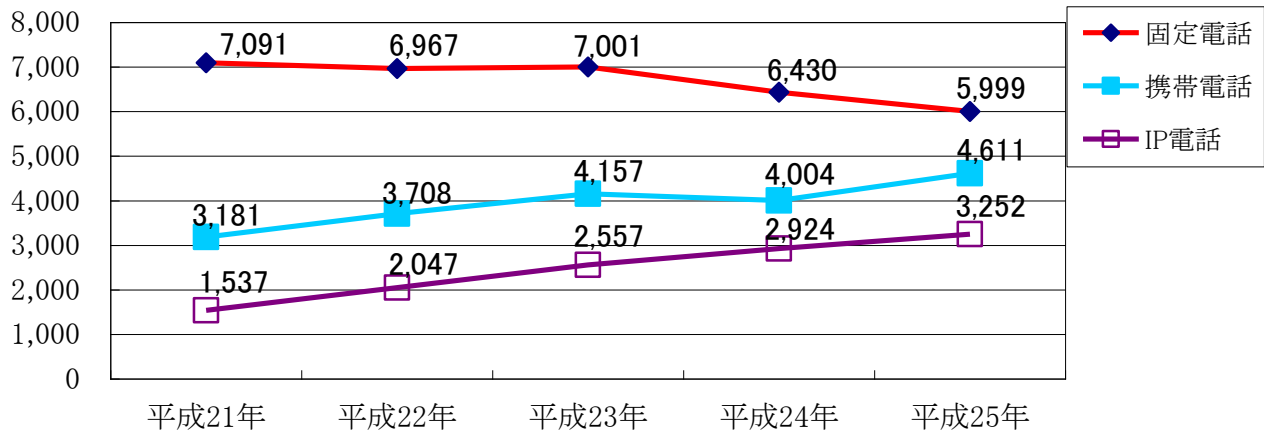


別表Ⅳ-2 月別119番着信状況

	火災	救急	救助	警戒等	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
1月	3	871	5	2	103	48	8	75	1,115
2月	43	766	5	8	96	48	7	107	1,080
3月	50	826	5	8	94	63	11	189	1,246
4月	14	751	4	7	67	59	7	110	1,019
5月	23	772	1	13	85	54	9	166	1,123
6月	20	719	5	7	80	57	9	150	1,047
7月	11	831	4	21	123	119	12	100	1,221
8月	6	825	11	12	122	94	12	82	1,164
9月	10	776	6	11	98	72	24	134	1,131
10月	13	825	14	13	81	72	9	209	1,236
11月	10	862	9	11	84	57	4	196	1,233
12月	14	884	3	16	91	74	14	151	1,247
合計	217	9,708	72	129	1,124	817	126	1,669	13,862
月平均	18.1	809.0	6.0	10.8	93.7	68.1	10.5	139.1	1,155.2

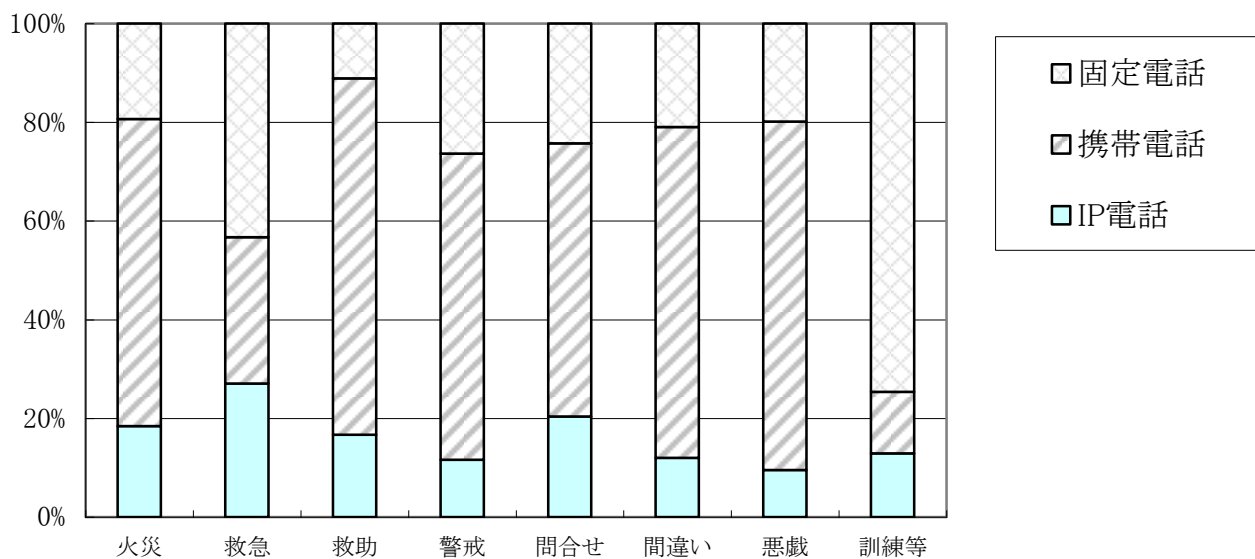
別表Ⅳ－３ 電話種別による１１９番着信件数の推移

	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年
固定電話	7,091	6,967	7,001	6,430	5,999
携帯電話	3,181	3,708	4,157	4,004	4,611
IP 電話	1,537	2,047	2,557	2,924	3,252
合計	11,809	12,722	13,715	13,358	13,862



別表Ⅳ－４ 電話種別による１１９番着信状況

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
固定電話	42	4,201	8	34	273	171	25	1,245	5,999
携帯電話	135	2,877	52	80	622	548	89	208	4,611
IP 電話	40	2,630	12	15	229	98	12	216	3,252
合計	217	9,708	72	129	1,124	817	126	1,669	13,862



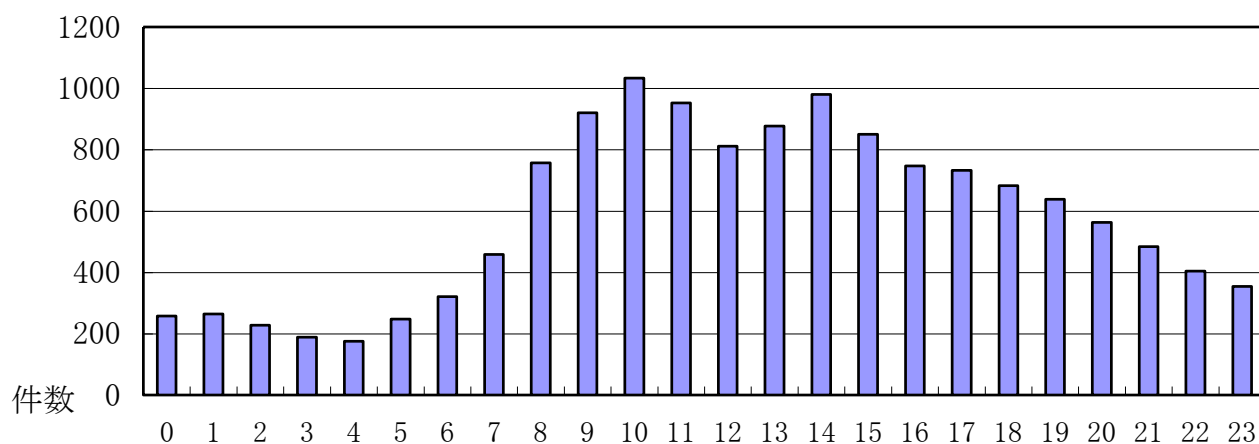
別表Ⅳ－５ 携帯電話からの着信状況

西部消防局管内の災害などの着信件数			他の消防機関に転送をした件数
直接通報を受けた件数	他の消防機関から転送受信した件数	総着信件数	
4,578	33	4,611	42

別表Ⅳ－６ 携帯電話の消防機関別転送状況

他の消防機関から転送を受信した件数					他の消防機関に転送した件数				
消防	火災	救急	その他	合計	消防	火災	救急	その他	合計
松江	0	8	4	12	松江	0	29	1	30
安来	0	5	4	9	安来	1	11	0	12
雲南	0	0	0	0	雲南	0	0	0	0
東部	0	0	1	1	東部	0	0	0	0
中部	1	7	2	10	中部	0	0	0	0
新見	0	0	0	0	新見	0	0	0	0
美作地区	0	1	0	0	美作地区	0	0	0	0
備北	0	0	0	0	備北	0	0	0	0
合計	1	21	11	33	合計	1	40	1	42

別図Ⅳ－１ 時間帯別着信状況



# 消防団・水利 大火災記録







# 消 防 団 の 人 員 と 装 備

平成26年4月1日現在

人 員		人 員								消 防 車 輛 等				
市町村別		定員	実員	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	消自防ポンプ車	小ポンプ型積載力車	小ポン型エンジンカブ	手ポン引エンジンカブ
合 計		1,404	1,287	9	18	76	74	74	210	826	50	25	9	0
米 子 市		544	503	1	4	28	28	56	119	267	15	9	-	-
境 港 市		116	96	1	2	8	6	7	14	58	6	-	-	-
西 伯 郡	日 吉 津 村	35	31	1	2	1	1	-	5	21	2	-	-	-
	大 山 町	171	155	1	3	11	11	11	22	96	8	3	-	-
	南 部 町	148	139	1	2	7	7	-	14	108	5	3	-	-
	伯 耆 町	163	147	1	2	7	7	-	14	116	4	4	5	-
日 野 郡	日 南 町	103	103	1	1	7	7	-	7	80	5	3	-	-
	日 野 町	64	59	1	1	4	4	-	6	43	3	2	3	-
	江 府 町	60	54	1	1	3	3	-	9	37	2	1	1	-

# 水 利 状 況

平成26年4月1日現在

区 分  市町村別		水 利				
		基 準 数	現 有 数			
			公 設 消 火 栓 (150mm以上)	公 設 水 槽 (40t以上)	そ の 他	計
合 計		4,233	1,406	961	2,593	4,960
米 子 市		1,749	1,061	205	344	1,610
境 港 市		465	290	5	20	315
西 伯 郡	日 吉 津 村	72	55	5	21	81
	大 山 町	389	0	265	366	631
	南 部 町	216	0	161	240	401
	伯 耆 町	248	0	136	421	557
日 野 郡	日 南 町	508	0	72	761	833
	日 野 町	218	0	39	246	285
	江 府 町	368	0	73	174	247

# 大 火 災 記 録

## 1. 米 子 市(建物焼失面積1,000㎡以上)

### ・昭和30年4月8日(美保少年院火災)

午前11時30分、大篠津町美保少年院から出火し、9棟延2,577㎡を焼失した。

損害額約1,218万円、原因……煙草吸殻。

### ・昭和31年12月21日(田中木工所火災)

午後9時0分、富士見町二丁目155番地田中木工所から出火し、周囲の民家にも延焼して9棟延1,793㎡を焼失した。損害額約1,325万円、原因……こたつの過熱。

### ・昭和34年7月22日(石垣木工所火災)

午前4時25分、米原1,496番地石垣木工所から出火し、全焼7棟、半焼2棟延2,027㎡を焼失した。損害額約2,215万円、原因……不明。

### ・昭和37年12月11日(山一ベニヤ火災)

午前0時10分、角盤町四丁目30番地有限会社山一ベニヤ製作所から出火し、周囲の民家にも延焼して全焼7棟、半焼2棟延1,828㎡を焼失した。

損害額約2,192万円、原因……電気アイロンの過熱。

### ・昭和40年4月7日(義方小学校火災)

午前1時38分、立町四丁目義方小学校から出火し、延1,301㎡を焼失した。

損害額約1,973万円、原因……不明。

### ・昭和43年8月4日(米子木工株式会社火災)

午後1時43分、米原1,491番地米子木工株式会社から出火し、延1,470㎡を焼失した。

損害額約4,894万円、原因……熔断の火の粉が塗料かすに着火。

## 2. 境 港 市(建物焼失面積1,000㎡以上及び特殊火災)

### ・昭和10年1月12日(栄町大火)

午後7時55分、栄町三勇庵(置屋業)から出火し、全焼381戸の大火となった。

損害額約180万円、原因……灯明の火、以後1月12日を火災記念日とする。

### ・昭和10年11月24日(中町火災)

午前1時50分、中町墓地からの飛火により共有地から出火し、全焼11戸、半焼3戸の大火災となった。原因……不明。

### ・昭和18年12月30日(石橋造船火災)

午前8時頃、岬町石橋造船所から出火し、造船工場・事務所・製材所など6棟を焼失した。

損害額70万円、原因……焚火。

### ・昭和20年4月23日(玉栄丸爆発)

午前7時40分、陸軍徴用船玉栄丸積載の火薬が爆発し、全焼76戸、全壊355戸、被災面積1,426㎡に及び、消防団員5名が殉死した。

### ・昭和24年4月18日(京町火災)

午前10時30分、京町置屋業真木方から出火し、全焼5棟、半焼4棟、延1,426㎡を焼失した。

原因……不明。

### ・昭和35年2月2日(日の丸窯業火災)

午前6時4分、弥生町日の丸窯業から出火し、延1,266㎡を焼失した。

損害額約 905 万円、原因……乾燥機過熱。

・昭和 38 年 4 月 10 日(日の出館火災)

午後 11 時 45 分、日の出町映画館日の出館から出火し、延 443 m<sup>2</sup>を全焼した。

損害額 615 万円、原因……不明。

・昭和 39 年 2 月 24 日(中浜小学校火災)

午後 11 時頃、小篠津町中浜小学校給食室から出火し、138 m<sup>2</sup>を焼失した。

損害額 85 万円、原因……取灰。

・昭和 41 年 8 月 28 日(第一水産火災)

午後 4 時 5 分、上道町水産加工場から出火し、延 1, 589 m<sup>2</sup>を焼失した。

損害額約 1, 599 万円、原因……魚油の自然発火。

・昭和 45 年 6 月 24 日(石橋造船火災)

午前 0 時 35 分、岬町石橋造船所から出火し、延 1, 980 m<sup>2</sup>を焼失した。

損害額約 1, 292 万円、原因……不明。

・昭和 48 年 11 月 18 日(丸神海産火災)

午後 9 時 35 分、栄町の水産加工場から出火し、延 2, 953 m<sup>2</sup>を焼失した。

損害額約 8, 015 万円、原因……不明。

3. 広域消防発足後(建物焼失面積 1, 0000 m<sup>2</sup>以上)

・昭和 51 年 9 月 6 日(朝日座火災)

午後 2 時 6 分、米子市朝日町 65 番地映画館朝日座から出火し、延 1, 302 m<sup>2</sup>を焼失した。

損害額約 1, 353 万円、原因……不明。

・昭和 58 年 6 月 4 日(米子林産工業株火災)

午前 1 時頃、米子市錦町 3 丁目 24 番地米子林産工業株から出火し、延 2, 502 m<sup>2</sup>を焼失した。

損害額約 4, 780 万円、原因……不明。

・平成 3 年 4 月 4 日(尙景山商店火災)

午前 4 時 9 分頃、境港市中野町官有無番地尙景山商店加工場より出火し、延 1, 168 m<sup>2</sup>を焼失した。損害額 3, 217 万円、原因……不明。

・平成 16 年 10 月 27 日(山陰食鶏)

午前 9 時 30 分頃、西伯郡淀江町中間 16 山陰食鶏より出火し、延 1, 068 m<sup>2</sup>を消失した。

損害額 5, 978 万円、原因……溶接機の火粉。

・平成 17 年 8 月 25 日(阿部木工所)

午後 7 時 20 分頃、米子市富益町 1268 阿部木工所より出火し、延 1, 605 m<sup>2</sup>を消失した。

損害額 5, 805 万円、原因……不明。

・平成 22 年 1 月 24 日(三光株式会社昭和工場)

午後 5 時 5 分頃、境港市昭和町 5-1 三光株式会社昭和工場より出火し、延 3, 021 m<sup>2</sup>を消失した。損害額 1, 251 万円、原因……不明。

・平成 24 年 6 月 13 日(名和食鶏 倉谷北鶏舎)

午後 7 時 50 分頃、西伯郡大山町豊成 241 名和食鶏 倉谷北鶏舎より出火し、延 1,051 m<sup>2</sup>を焼失した。

損害額 341 万円、原因……不明。

# 関 係 団 体





[米子地区防火安全協会]

## 平成25年度 事業報告書

### 1. 調査研究の部

- (1) 危険物保安技術協会保安講習会（東京）  
平成25年7月18日（木）～19日（金） 事務局 1名参加

### 2. 研修会の部

- (1) 実務研修会  
平成26年3月18日（火） 米子ワシントンホテルプラザ 44名参加
- (2) 新入社員防災研修会  
平成25年6月21日（金） 西部消防局 140名参加
- (3) 鳥取県危険物取扱者保安講習（法定講習）  
平成25年9月5日（木）～6日（金） 西部総合事務所  
講師として事務局より1名参加
- (4) 消火競技会  
平成25年10月17日（木） 境港消防署 3事業所参加
- (5) 危険物保安技術協会保安講習会（大阪）  
平成25年8月1日（木）～2日（金） 事務局より1名参加

### 3. 講習会の部

- (1) 第1回危険物取扱者試験準備講習会  
【乙種第4類】 平成25年5月20日（月）～21日（火） 25名参加  
【丙種】 平成25年5月17日（金） 23名参加
- (2) 第2回危険物取扱者試験準備講習会  
【乙種第4類】 平成25年9月20日（金）～21日（土） 34名参加  
【丙種】 平成25年9月19日（木） 7名参加
- (3) 第3回危険物取扱者試験準備講習会  
【乙種第4類】 平成26年1月14日（火）～15日（水） 19名参加

### 4. 斡旋事業の部

- (1) 図書の発行  
「消防計画の作成例」 平成25年4月 発行
- (2) 標識・掲示板の斡旋
- (3) 防火管理者講習会等の図書斡旋  
【甲種防火管理 新規講習】  
第1回 平成25年 5月13日（月）～14日（火） 85冊  
第2回 平成25年 9月10日（火）～11日（水） 99冊

第3回	平成25年11月26日(火)～27日(水)	98冊
第4回	平成26年3月13日(木)～14日(金)	78冊
<b>【防災管理 新規講習】</b>		
	平成25年9月13日(金)	16冊
<b>【甲種防火管理 再講習】</b>		
第1回	平成25年5月16日(木)	33冊
第2回	平成25年11月28日(木)	26冊

## 5. 会報発刊の部

会報(第4号)	8月	作成、発刊
会報(第5号)	3月	作成、発刊

## 6. 防火協力の部

- (1) 住宅用火災警報器の普及活動協力
- (2) 消防行事に協賛
- (3) 図書の寄贈
- (4) 防火ビデオ・DVD購入
- (5) 防火ビデオ・DVD等の貸し出し
- (6) 表彰記念品の購入
- (7) その他

## 7. 会議の部

- (1) 定期総会、役員会 平成25年5月29日(水)
- (2) 新年役員会 平成26年1月28日(火)

## 8. その他

- (1) 鳥取県危険物保安協会連合会理事会及び安全大会

平成25年6月7日(金) ホテルセントパレス倉吉

### 【県知事・危険物優良事業所表彰】

JR西日本米子支社 後藤総合車両所 様

### 【県危連・危険物保安功労者表彰】

大場 英之 様(王子製紙株式会社米子工場 工場長)

上田 博久 様(株式会社米子青果 代表取締役社長)

### 【県危連・感謝状】

桑名 強 様(元 米子市危険物保安協会 事務局長)

末次 厚子 様(前 米子市危険物保安協会 事務局員)



## 平成25年度 事業報告

### 1 会報の発行

3月1日 会報第55号発行

### 2 消火訓練会の開催

事業所、自治会を対象に消火訓練を開催

### 3 防火ビデオの貸し出し

事業所、保育園等に防火ビデオの貸し出し

### 4 住宅用火災警報器設置対策の協力

### 5 消火協議会の開催

10月17日 第34回事業所対抗消火競技会を開催

優勝 境港海陸運送チーム

第2位 堀田石油チーム

第3位 山陰アシックスBチーム

特別賞 済生会なでしこチーム

### 6 講習会の開催

危険物取扱者試験準備講習会

5月、9月、1月に米子協会と合同で実施

### 7 会議関係

(1) 境港市消防保安協会関係

5月10日 役員会

5月24日 第54回 定期総会

(2) 鳥取県危険物保安協会連合会関係

4月12日 事務局会議 (倉吉市)

6月 7日 理事会・安全大会 (倉吉市)

### 8 表彰関係

5月24日 定例表彰 個人3、事業所3

### 9 その他

(1) 6月9日 境港市消防団ポンプ操法大会に協力 (優勝 中浜分団)

(2) 危険物取扱者試験実施案内

(3) 危険物取扱者保安講習実施案内

## 平成25年版 消防年報

---

---

平成26年12月 発行

編集・発行 鳥取県西部広域行政管理組合消防局

〒683-0853鳥取県米子市両三柳5452番地

TEL ( 0 8 5 9 ) 3 5 - 1 9 5 1

FAX ( 0 8 5 9 ) 3 5 - 1 9 6 1

---

---